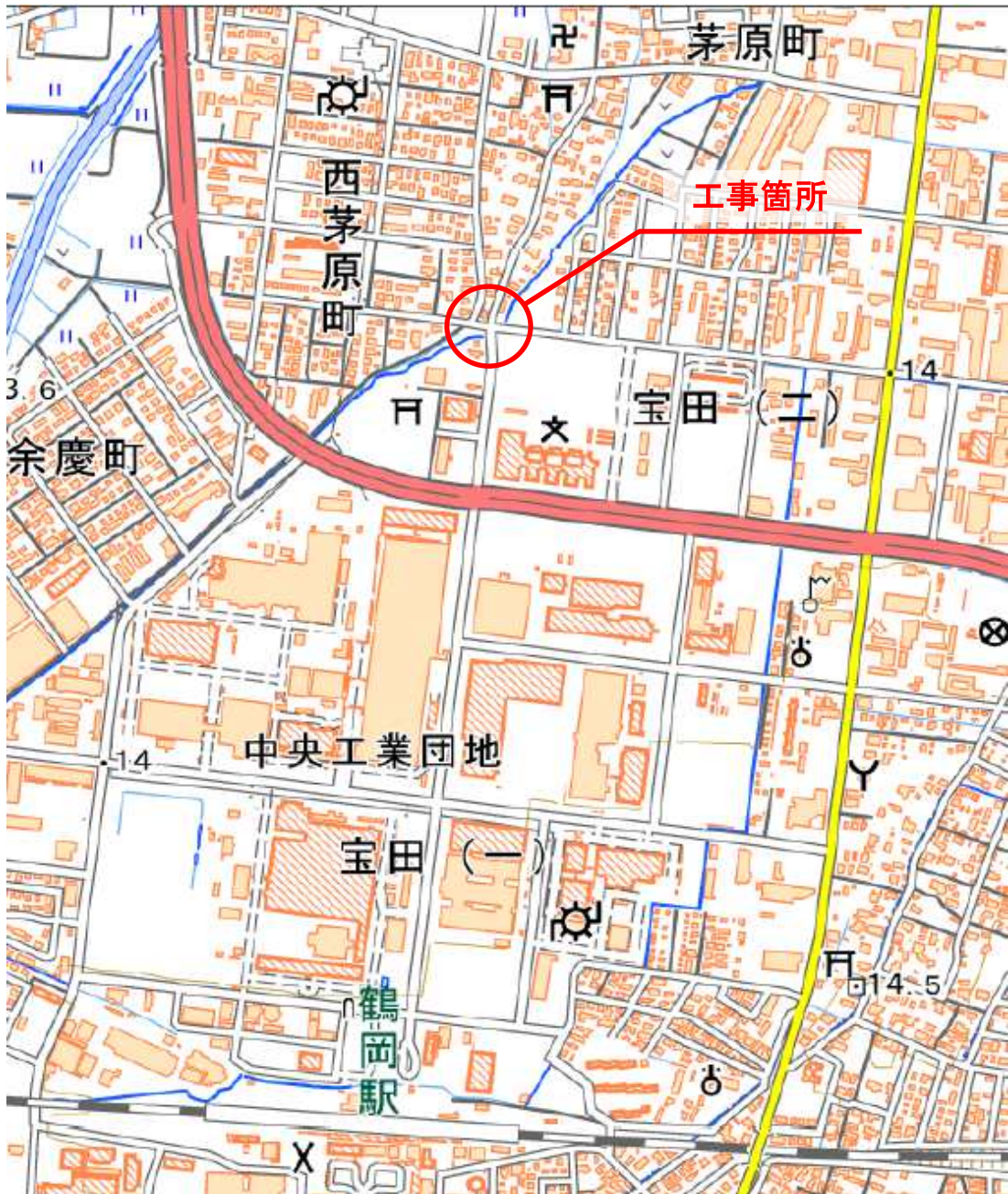
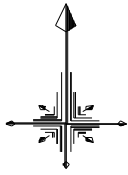


令和 8 年 度

鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事設計書

位置図



国土地理院地図を加工して作成

照 査	設 計

工 事 番 号		施 工 年 度	令和8年度
工 事 名 称	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事		
工 事 場 所	鶴岡市宝田一丁目地内		
施 工 主	鶴岡市	工事概要 施工延長 L=47.0m 函渠工（オープンシールド工法） L=38.2m 既設函渠改良工 N=1箇所 車道舗装工（表層） A=57㎡ 歩道舗装工（表層） A=34㎡ 地盤改良工（薬液注入） N=23本	
設 計 区 分	実施		
路 線 名			
工 事 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工 事 日 数	日		
部 課 名	下水道部雨水事務室		
積 算 担 当			
合 計 額			
工 事 価 格			
消費税相当額			

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費	下水道工事（１）					週休２日 月 単 位	労務費 1.02	場所区分：一般交通影響有り（２）
	雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事							
	地盤改良工			式	1			
		薬液注入工		式	1			第 1号明細書
	函渠工（オーブンシールド工法）			式	1			
		作業土工		式	1			第 2号明細書
		掘進工		式	1			第 3号明細書
		仮設備工		式	1			第 4号明細書
		空伏工		式	1			第 5号明細書
		裏込注入廃材処理工		式	1			第 6号明細書
		函体費		式	1			第 7号明細書
		目地・モルタル工		式	1			第 8号明細書
		立坑工	発進立坑	式	1			第 9号明細書

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		立坑工	到達立坑	式	1			第 10号明細書
		仮設盛土工		式	1			第 11号明細書
		特許料		式	1			第 12号明細書
	排水構造物工			式	1			
		作業土工		式	1			第 13号明細書
		現場打水路工		式	1			第 14号明細書
		接続工		式	1			第 15号明細書
		分水工		式	1			第 16号明細書
		既設函渠改良工		式	1			第 17号明細書
		側溝工		式	1			第 18号明細書
	道路土工			式	1			
		掘削工		式	1			第 19号明細書
		法面整形工		式	1			第 20号明細書

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	舗装工			式	1			
		車道舗装工		式	1			第 21号明細書
		歩道舗装工		式	1			第 22号明細書
	道路付属施設工			式	1			
		道路付属物工		式	1			第 23号明細書
	構造物撤去工			式	1			
		構造物取壊し工		式	1			第 24号明細書
		運搬処理工		式	1			第 25号明細書
	仮設工			式	1			
		路面覆工		式	1			第 26号明細書
		仮締切工		式	1			第 27号明細書
		仮排水工		式	1			第 28号明細書
		水替え工		式	1			第 29号明細書

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		交通管理工		式	1			第 30号明細書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
	運搬費			式	1			第 9号内訳書
	安全費			式	1			第 12号内訳書
	技術管理費			式	1			第 14号内訳書
	共通仮設費			式	1			
	現場環境改善費			式	1			第 16号内訳書
	純工事費							
	現場管理費			式	1			
工事原価								
	一般管理費		(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								

本 工 事 内 訳 書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第 17号				1式当たり			明細書	
既設函渠改良工								
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
函渠底版調整				箇所	1			第 34号単価表
函渠復旧				箇所	1			第 35号単価表
計								

[illegible]

第 27号				1式当たり				明細書	
仮締切工									
名 称		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
大型土のう				袋	63			第 65号単価表	
普通土のう				m ²	2			第 66号単価表	
廃プラ運搬処理				t	0.13			第 67号単価表	
計									

[illegible]

第 30号

1式当たり

明細書

交通管理工

[illegible]

[illegible]

第 34号		試験費					1式当たり	明細書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
六価クロム溶出試験分析費		環境庁告示 4 6 号溶出試験における 検液作成による		検体		2						第 76号単価表	
キャスポル				箇所		1						第 77号単価表	
計													

[illegible]

第 39号		支圧壁工 設置・撤去					1式当たり	明細書
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
支圧壁工		(設置)		箇所	1			第 100号単価表
敷鉄板賃料		22×1524×3048		枚	2			第 101号単価表
敷鉄板整備費		22×1524×3048		枚	2			第 102号単価表
支圧壁 鋼材費		山留材質料 H-250×250×9×14		t	1.7			第 103号単価表
支圧壁 鋼材費		山留材整備費 H-250×250×9×14		t	1.7			第 104号単価表
支圧壁 鋼材費		等辺山形鋼(全損) L-100×100×10		t	0.08			第 105号単価表
支圧壁 鋼材費		鋼板(全損) PL-12 121×222		t	0.33			第 106号単価表
支圧壁 鋼材部品費		賃料 キリンジャッキ H-250		t	0.48			第 107号単価表
支圧壁 鋼材部品費		整備費 キリンジャッキ H-250		t	0.48			第 108号単価表
スクラップ		ヘビーH1		t	0.41			第 109号単価表
型枠工		無筋構造物		m ²	6			第 110号単価表
コンクリート		無筋構造物 18-8-40		m ³	1			第 111号単価表
支圧壁工		(撤去)		箇所	1			第 112号単価表

[illegible]

[illegible]

第 45号		裏込注入廃材処理設備工					1式当たり	明細書
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
濁水処理設備設置工				回	1			第 129号単価表
濁水処理設備機械器具損料				箇所	1			第 130号単価表
濁水処理設備撤去工				回	1			第 131号単価表
濁水処理材料費				式	1			第 132号単価表
計								

[illegible]

第 51号		機械器具損料 (1)					1式当たり	明細書
		油圧機器						
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
シールドジャッキ		1000kN、1650st		台	102			第 269号単価表
中折れジャッキ		1000kN、400st		台	102			第 270号単価表
スライドジャッキ		500kN、1000st		台	102			第 271号単価表
けん引ジャッキ		200kN、200st		台	68			第 272号単価表
油圧ポンプ		11kW		台	34			第 273号単価表
操作盤 (A)		6S		台	34			第 274号単価表
操作盤 (B)		4S		台	85			第 275号単価表
油圧ホース		L=10m 4本		m	31			第 276号単価表
油圧ホース		L=5m 8本		m	31			第 277号単価表
油圧ホース		L=3m 48本		m	31			第 278号単価表
油圧ポンプ作動油		耐摩耗性型 2台		m	31			第 279号単価表
計								

第 52号		機械器具損料 (2)					1式当たり	明細書	
		重機							
名	称	規	格	単 位	数	量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し用バックホウ		標準型	山積み 0.28㎡	台	17				第 280号単価表
タンパ		質量60～80kg		台	17				第 281号単価表
発動発電機		油圧ポンプ用	60kVA	台	17				第 282号単価表
発動発電機		裏込プラント他用	60kVA	台	17				第 283号単価表
フォークリフト(エンジン駆動)		5.0 t 級		台	17				第 284号単価表
水圧サポート		基本料	770～1300mm	本	20				第 285号単価表
水圧サポート		賃料	770～1300mm	本	340				第 286号単価表
水圧サポート		基本料	1100～1800mm	本	20				第 287号単価表
水圧サポート		賃料	1100～1800mm	本	340				第 288号単価表
水圧手動ポンプ		基本料	水量15～19ℓ	台	1				第 289号単価表
水圧手動ポンプ		賃料	水量15～19ℓ	台	1				第 290号単価表
水槽		一般工事用	3㎡	台	17				第 291号単価表
水中ポンプ		φ50mm、0.75kW		台	34				第 292号単価表

第 52号

1式当たり

明細書

機械器具損料 (2)

重機

[illegible]

鶴岡市下水道部雨水事務室

土木工事特記仕様書

鶴岡市公共下水道事業

雨水道形第 1-1 幹線 1094-A 号新設工事

1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書(土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料)令和 8 年 4 月」にもとづき実施しなければならない。

仕様書の記載内容の優先は「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。

なお、令和 8 年 4 月以降に一部改訂された内容は以下のホームページに掲載されているので、最新版を適用するものとする。

※共通仕様書の一部改訂内容は以下ページから確認できます。

(<http://www.pref.yamagata.jp>)

- 県政情報
- 山形県の紹介
- 組織案内
- 県土整備部
- 建設企画課
- 共通仕様書(土木工事)

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総則

1-1. 余裕期間制度

1-2. 監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い

1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という)の配置を行う場合は、「鶴岡市発注工事における監理技術者及び監理技術者を補佐する者の取扱いについて」によるものとする。
2. 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。

1-3. 工事種別

工事種別は、一般土木工事とする。

1-4. 工事の下請け

受注者は、下請け契約の請負金額によらず工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書、下請け業者一覧表及び当該工事に係る下請け契約書の写しを提出しなければならない。また施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1-5. 技術者の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、落札決定後、監督職員との協議により定める。
2. 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

~~1-6. 舗装技術者の配置~~

~~1-7. 鋼橋塗装技能士の配置~~

1-8. 標準断面での発注

標準断面で発注された工事は現況を測量し、側溝(水路)縦断計画及び舗装面積の展開図等の施工図を作成し、監督職員と協議の上、承諾を得ること。監督職員の承諾を得る前に、工事着工している場合は、工事の一時中止及び改造を命じる場合もありうる。なお、承諾の回答には、発注者側での検討があるため、1週間程度見込むこと。

また、計画時には路面排水を考慮するとともに、上下流の側溝勾配等を必ず調査し、流入、流出先の排水路等も調査すること。

1-9. 設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集(令和7年2月改訂)山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものとする。

1-10. 揚重作業機械について

揚重作業機械は、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

1-11. 沿線住民への周知

工事着工前に施工個所を示した住宅地図を添付した工事のお知らせを作成し、監督職員の承諾後に地元の町内会長と沿線住民に配布すること。また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関(幼稚園、保育園、デイサービス等)に通知すること。

1-12. 官民境界

工事着工前には、境界立会を実施することを原則とする。側溝を設置する場合には、官民境界に設置すること。やむを得ず境界に設置できない場合は、監督職員の承諾と地権者又は住民の了解を得て側溝を設置し境界杭(境界プレート)等で、官民境界を明示すること。境界杭等設置後は、その記録を監督職員に提出すること。

1-13. 工事支障物件について

1. 地下埋設物等

- (1) 現況測量時に周囲の状況(電力、NTTなどの架空電線)を確認し、埋設物に関しては、必ず地下埋設物証明申請書兼証明書により確認すること。
 - (2) 必要に応じて試掘を行い、地下埋設物等の種類、位置等を調査し地下埋設物等との離隔を、図面及び写真等により監督員に報告すること。
 - (3) (2)の結果、施工に支障する場合、監督員より地下埋設物等の施設管理者へ移設依頼し、施設管理者の支障物件移設工事完了後、本工事に着手すること。
2. 施工にともなって支障となる物件(公共汚水桝、量水器など)が判明した場合は、設計図書に関して、すみやかに監督員と協議しなければならない。

1-14. 工事現場発生品(工事現場再使用品)

従来施設の撤去により発生した二次製品等については、監督職員と処理方法及び数量確認について協議を行うこと。協議内容について工事打合簿により記録し提出すること。

1-15. 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材)は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン(RC-40)として再資源化している再資源化施設

【アスファルト塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設(アスファルトプラント)でなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可)

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設(株)	8:00~17:00
○	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業(株)	8:00~17:00

	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	(株)三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	(株)青木建材	8:00～17:00
	鶴岡市田代字広瀬 16-2	(株)渡会電機土木	8:00～17:00

【アスファルト塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00

【舗装版切断時に発生する濁水】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	東田川郡庄内町堤興屋字中島 38	(株)安藤組	8:00～17:00

3. 受注者は、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1-1-12建設副産物第2項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。
4. 受注者は、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、特定建設資材(コンクリート、アスファルト、木材)廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設廃棄物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
5. 受注者は、建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物、土砂、碎石等)を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
6. 受注者は、建設副産物(コンクリート塊、建設発生木材、アスファルトコンクリート塊、建設汚泥、建設混合廃棄物、金属くず、廃プラスチック、建設発生土等)を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
7. 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかに、実施状況を記録した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。
8. 土木共通特記仕様書第1編共通編1-1-11建設副産物第4項に規定する再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)作成は、「コブリス・プラス」((一財)日本建設情報総合センター(JACIC)Web版入力システム)により行う。なお、システムの操作に要する費用は、共通仮設費率分(技術管理費)に含まれている。

1-16. 履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1,000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)により監督職員に提出しなければならない。

1-17. 前金払について

1. 中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書(鶴岡市、様式第10号の2)に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)の写しを添えて提出するものとする。

2. 債務負担行為工事の前払金請求

~~本工事は令和8年度に渡り債務を負担する予算であるため、令和7年度内は前払金を請求することができないものとする。よって、本工事の前払金の請求及び支払は令和8年4月1日以降とする。~~

1-18. 工事名標示板に関する事項(安全確保関係)

工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。なお、本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

工事の種類	(例)雨水排水路工事
工事内容の説明	(例)雨水を流す大きな水路をつくっています

1-19. 交通安全に関する事項(交通安全管理関係)

1. 交通誘導員の配置

交通誘導員の配置計画は、交通管理者との協議によるものとする。

1-20. 事業損失に関する事項(環境対策関係)

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-21. 他工事との関連事項について(工程関係)

1. 別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-22. 施工時期、時間、施工方法に関する事項(工程関係)

1. 本工事の作業時間帯は、8:30～17:00とする。なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して、速やかに監督職員と協議しなければならない。
2. 工期には雨休率0.83※を見込んでいる。

※施工に必要な日数に対し、土日・祝日・年末年始休暇(6日)夏季休暇(3日)を休日とした日数及び天候による作業不能日(1日の降雨・降雪量10mm/日以上及び8時～17時までのWGBT値31以上の時間を合計して換算した日数(過去5年平均))を見込むための係数

1-23. 災害時の協力体制

1. 緊急巡回

- (1) 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。
- (2) 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。
- (3) 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
- (4) 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1-24. 事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書(山形県、参考様式5)を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に関係する「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)

- 県政情報
- 山形県の紹介
- 組織案内
- 県土整備部
- 建設企画課
- 共通仕様書(土木工事)

1-25. 工事写真に関する事項

1. 工事完成後、完成写真のデータを監督職員に提出すること。データの形式は、監督職員と協議すること。
2. 工事写真のデータは、監督職員の指示により提出を求める場合もありうる。

1-26. デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以下「対象工事」という。)とすることができる。対象工事では、以下の第1項から第4項の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以下「使用機器」という)については、共通仕様書 写真管理基準「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、

「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL:<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>)

に記載している技術を使用していること。

また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。なお、使用機器の事例として、

「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」

(URL:https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)

を参照とすること。ただし、この使用機器事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、前項の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、共通仕様書 写真管理基準「2-2 撮影方法」による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、共通仕様書 写真管理基準(デジタル写真管理情報基準)に準ずるが、前項に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-4 写真の編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

1-27. 1日未満で完了する作業の積算

1. 「1日未満で完了する作業の積算」(以下「1日未満積算基準」という。)は、変更積算のみに適用する。
2. 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について発注者と協議することができる。
3. 同一作業員の作業が他工種・細別の作業を組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
4. 受注者は、協議に当って、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要と

なる根拠資料(日報、実際に費用がわかる資料等)を監督職員に提出すること。実際に費用がわかる資料(見積書、契約書、請求書等)により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。

5. 「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。
6. 1日未満積算基準「3. 判定方法 (3)判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う場合は、「1-19 施工箇所が点在する工事の積算」第1項の箇所とする。

1-28. 労働者確保に関する積算方法の試行工事

1. 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用について(以下「実績変更対象間接費」という)、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書(山形県県土整備部)の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終清算変更時点で設計変更する施行工事である。

営 繕 費:労働者送迎費、宿泊費、借上費

(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る)

労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2. 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(土木工事標準積算基準書に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。
 - (1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費
(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合:9.45%
 - (2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費
(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合:1.22%
3. 受注者は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
4. 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
5. 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、すべての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。
6. 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。
7. 受注者は、実績変更対象間接費に係る設計変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

1-29. 不可抗力による損害に関する事項

本工事における天災等は、共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-45第2項の各号に掲げる基準を超えるものとする。

1-30. 建設現場における遠隔臨場について

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、遠隔臨場は、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』（山形県県土整備部）の内容に従い実施する。

ただし通信環境が整わない現場や工種によって不十分、非効率になってしまう恐れのある場合は、この限りではない。

2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することができる。受注者は適用する工種、確認項目に関する協議資料作成にあたり、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』別表 1～3 を参考とする。

3. 実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会いでの確認

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を、Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し、決定するものとする。

(3) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(4) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、技術管理費に積上げ計上する。なお、詳細については、最新の遠隔臨場に関する事務連絡等を参照とすること。

(6) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『山形県建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

1-31. 週休2日確保工事について

●発注者指定型の場合

1. 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
2. 発注者は、当初(発注)時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が完全週休2日(土日)を達成した場合、完全週休2日(土日)の補正係数に変更するものとする。なお、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。
3. 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上又は完全週休2日(土日)の現場閉所を達成した場合、主任(監理)技術者に対して「週休2日確保工事実施証明書」を発行するものとする。
4. 受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休2日(土日)の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。

~~1-32. 週休2日確保工事について~~

1-33. ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めること目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1. 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

2. 作業依頼の配慮

- (1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。
- (2) 休前日(金曜日など)に休日明け日(月曜日など)が期限日の依頼をしない。
- (3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

3. ワンデーレスポンスの再徹底

- (1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

4. 留意事項

- (1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。
- (2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

1-34. 情報共有システム利用の対象工事

1. 本工事は、情報共有システムを利用する対象工事であり、情報共有システムを利用することを原則とする。ただし、契約締結後に受注者が監督職員と協議し、通信回線を確保出来ない等の理由により利用することが困難と判断した場合は、この限りでない。
2. 使用する工事情報共有システムは、LGWAN 環境で利用できるものを選定し、監督員の承諾を得たうえで決定すること。
3. 情報共有システムの利用に関する費用については、共通仮設費の率分に含まれる。 また、登

録料及び利用料については、受注者が支払うものとする。

4. 情報共有システムの利用については、「鶴岡市情報共有システム利用要領」に基づき実施すること。
5. これらに定められていない事項は、監督職員と協議するものとする。
6. 情報共有システムの運用にあたっては、「山形県情報共有システム運用ガイドライン」を準用し実施するものとする。ガイドラインは山形県のホームページから入手できる
山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)
→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課
→ CALS/EC → 山形県の情報共有

1-35. その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督職員に連絡し、指示をあおぐこと。
了解を得ずに増工(増額)したものについては変更の対象としない。
2. 当初工程表より現場着工時期(実作業期間)に遅れが生じた場合は、現場着工前に変更工程表を作成し、監督職員に提出すること。
3. 当該工事期間中に、建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況の確認できる書類を監督職員に提示すること。

第2章 土 工

2-1. 残土受入地

受注後、土砂運搬工着手までに発注者が搬出先を決定する。運搬距離及び処分費については、協議するものとする。なお、発注時の運搬距離は6.8kmとしている。

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

3-1. 配 合

1. 下記工種のコンクリートは、共通仕様書(参考資料) レディーミクストコンクリート標準使用基準の次の規格によるものとする。

工 種	区分番号	呼び強度	摘 要
函渠工 ほか	②	18N/mm ²	
排水構造物工(現場打水路工)	⑨	21N/mm ²	
排水構造物工(既設函渠改良工)	⑫-2	24N/mm ²	

第2編 材料編

第1章 一般事項

1-1. 指定材料の確認

受注者は、下記の工事材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、監督職員の確認を受けなければならない。

区 分	確 認 材 料 名	摘 要

1-2. 工事材料の確認

市が一括承認済みの資材については、承認図等の添付を省略することができる。一括承認済みの資材は発注担当部署にて確認すること。

1-3. 納入時の材料確認

使用材料は、納入された時点で必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は、返却等の処置を施すこと。検査時に不良品を発見した場合、撤去再設置等の手直しを指示する場合がある(例えば二次製品、路盤材料の入替えなど)。

第2章 土木工事材料

2-1. 再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材 料 名	規 格	使用箇所	摘 要
再生クラッシャーラン	80 mm以下	基礎碎石	
〃	40 mm以下	路盤	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As13	表層	
再生改良土	修正 CBR12%以上	土工	埋戻し材

1. 再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破碎、選別、混合物除去、粒土調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料(新材の碎石、ズリ、コンクリートを製造し破碎したもの等)が混合されていない状態のものをいう。
2. 下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生碎石(RC-40)は下記の品質基準を満足するものとする。
3. 修正 CBR
下層路盤材 修正 CBR 値 40%以上
歩道路盤材 修正 CBR 値 20%以上

2-2. 購入土

1. 適用用途に応じた土質区分の再利用土砂の使用を原則とし、監督職員の承諾を得なければならない。
2. 路床に使用する購入土は、CBR12%以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

2-3. セメント

工事に使用するセメントは、高炉セメント(JIS R5211)B種とし、その種類については監督職員の承諾を得なければならない。

2-4. セメントコンクリート製品等

本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。

防音ゴム付側溝蓋を使用する場合は、防音ゴムの一部がコンクリート内に埋設されたアンカータイプを使用すること。鋼製溝蓋についても防音ゴムが容易にはがれないねじ式等を使用すること。

2-5. 建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資 材 名	規 格	調達地域等
碎石	RC-40	庄内地区
碎石	M-40	庄内地区
土砂	山砂	庄内地区

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

1-1. 段階確認

共通仕様書 第3編 共通編 1-1-2 監督職員による確認・立会等により指定された工種に、次の工種を追加するものとする。

種 別	細 別	確認時期
準備工	丁張り確認	丁張り完了時
路盤工	路盤	表層施工前
薬液注入工	薬液注入	発進・到達立坑施工時

1-2. 工事中の安全確保

土木工事にあつては、共通仕様書 第1編 1-1-30 施工管理の規定に加え、以下の規定によらなければならない。請負者は、建設工事公衆災害防止対策要綱(国土交通省告示第496号、令和元年9月2日)を遵守して災害の防止を図らなければならない。なお、詳細については監督職員と協議を行うこと。

また、受注者は鶴岡警察署に申請する道路使用許可申請書の道路使用許可条件に従い、施工すること。

第2章 一般施工

2-1. 濁水処理

1. 舗装版切断時に発生する濁水等については、周囲に流出しないよう、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとし、適正に処理を行わなければならない。なお、回収に要する費用は設計図書に含まれる。
2. 「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(受注業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者(受注業者)は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報(成分や性状等)を把握し処理業者に提供することが必要である。

2-2. 舗装工

道路改良工事等において、排水構造物と接する舗装仕上げ面は、排水構造物天端より低くなつてはならない。

2-3. 瀝青材料の散布

プライムコートの使用量は1.26 L/m²を標準とする。

タックコートの使用量は0.43L/m²を標準とする。

2-4. 工事現場の現場環境改善費

1. 本工事は、工事の現場環境改善費を計上する工事である。
この現場環境改善とは、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ工事関係者の意識を高め、現場労働者の作業環境改善を行うものであり、受注者は、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事の円滑な執行を実施しなければならない。
2. 現場環境改善を行う内容は、下記の4計上費目ごとに1内容ずつ(いずれか1費目のみ2内容)の計5つの内容を選定のうえ、実施するものとする。
3. 上記のほか熱中症・防寒対策を実施するものとし、費用については対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上にて設計変更の対象とする。なお積み上げによる費用は、率分で計上される額の80%を上限とし、設計変更時に費用を証明するもの(領収書等)を提出するものとする。

計上費目	実施する内容(率計上分)
設備関係	1. 昇降設備の充実 2. 環境対策の充実 3. ICT 設備の充実 4. 作業負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の充実 3. 現場休憩所の充実(交通誘導員待機室含む) 4. 衛生設備・厚生施設の充実
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策
地域連携	1. 工法活動等(完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等) 2. 見学会・イベント等の開催(見学施設等の設置・管理運営等含む) 3. 社会貢献・地域対策費等(地域行事等の経費含む) 4. 現場景観向上(美装化・デザイン看板等)

3. 受注者は、具体的な実施内容と実施時期を事前に監督職員と協議し、その結果を報告すること。

4. 以下の項目については、現場環境改善の内容に含まれないことから、実施にあたっては留意すること。

(1) 仮設関係: 仮囲い、模様フェンス、仮歩道マット

(2) 営繕関係: デザインボックス、倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、シャワー施設、ウォータークーラー、観葉植物、意見箱の設置

(3) 安全関係: バリケード、転落防止柵

2-5. 快適トイレの設置

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。なお、快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

◆快適トイレに求める機能

(1) 洋式(洋風)便器

(2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)

(3) 臭い逆流防止機能

(4) 容易に開かない施錠機能

(5) 照明設備

(6) 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

◆付属品として備え付けるもの

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

◆推奨する仕様と付属品

- (12) 内寸法900×900mm以上(面積ではない)
- (13) 擬音装置(機能を含む)
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等)

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用について、当初設計では計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す資料を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、設計変更時に見積書を提出するものとする。上記(1)～(11)の費用については従来品相当額を差し引いた後、51,000円／基・月を上限に設計変更の対象とする。なお、設計変更数量の上限については、男女別で各1基ずつ2基／1工事(施工箇所)までとする。また、運搬費は、共通仮設費(率)に含むものとし、2基／1工事(施工箇所)よりも多く設置する場合や上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)での支出を認めるものとして、別途計上は行わない。

一 般 明 示 事 項

1－1. 提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第3条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1－2. 施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、維持工事や小規模工事(請負金額200万円以下)においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

1－3. 環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

現場説明事項書

鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第 1-1 幹線 1094-A 号新設工事

[共通事項]

1. 現場説明事項書について

現場説明事項は、制約をうける当該工事に関する施工条件を明示することによって工事の円滑な執行に資することを目的としており、当該契約においてやむを得ず施工方法等について仮指定せざるを得ないもの、又は変更が予想されるもの、あるいは制約される工事工程等について現場説明参加業者が十分な見積りができるよう条件明示するものです。

そのため、明示された条件に変更が生じた場合は、契約書の関連する条項に基づき、適切に対応するものである。また、明示されない施工条件、明示事項が不明確な施工条件についても、契約書の関連する条項にもとづき受注者と発注者とが協議できるものである。

2. 自主施工の原則について

施工の明示については、施工方法、機械施設等の仮設、その他目的物を完成するために必要な一切の手段等については、自主施工の原則(契約書第1条第3項)に基づき、施工者の創意工夫を損なわないよう留意している。

そのため、設計図書の他に提示する「参考図」及び「参考資料」、「歩掛」は、現場説明参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、請負契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意すること。

[工事の施工関係]

1. 新設する水路の上流側の接続及び端部処理について、対応方法等を別途協議します。
2. 残土運搬先は庄内田川建設発生土リサイクル協会(要改良土)を予定していますが、条件に変更があった場合は、対応方法について別途協議します。
3. 薬液注入工等で発生する汚泥処理については当初計上しておりません。対応方法等について別途協議の上、設計変更の対象とします。

[工事支障物件関係]

1. 本工事の施工範囲にて道路埋設物(上水道管、ガス管、工業用水道管)が支障となるため、本工事の施工に先立ち、埋設物管理者にて移設工事を実施する予定です。なお、制約条件に変更があった場合は対応方法について別途協議します。

[安全対策関係]

1. 工事期間中の交通整理として 116 名を計上しています。なお、交通管理者等との協議により条件に変更があった場合は、対応方法について別途協議します。

[公害関係]

1. 本工事で必要となる騒音、振動、粉塵等に対する調査及び対策に関しては当初計上していません。調査及び対策方法等を別途協議の上、設計変更の対象とします。

設計数量調書

雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事

上段:当初
下段:変更

工 種	種 別	細 別	単位	数 量	摘 要
地盤改良工					
薬液注入工					
	薬液注入 (発進立坑)	二重管ストレーナ 複相式(2セット)	本	13	13
	薬液注入 (到達立坑)	二重管ストレーナ 複相式(2セット)	本	10	10
	注入設備 据付・解体	二重管ストレーナ工法 複相式(2セット)	現場	1	1
函渠工 (オープンシールド工法)					
作業土工					
	埋戻し	良質土	m ³	5	5
	土砂等運搬		m ³	100	102
掘進工					
	掘進	□1500×1200	式	1	1
	裏込注入資機材		式	1	1
	機械器具損料		式	1	1
	オープンシールド機費	(NOS I 型)	式	1	1
仮設備工					
	支圧壁工		式	1	1
	オープシールド機 据付撤去工	NOS I 型	式	1	1
	オープシールド機 受台工		式	1	1
	油圧機器工		式	1	1
	坑内埋戻し工		式	1	1
空伏工					
	空伏工		m	7	7.105

設 計 数 量 調 書

雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事

上段:当初
下段:変更

工 種					種 別	細 別	単位	数 量	摘 要
					型枠	一般型枠	m ²	7	6.57
					コンクリート	18-8-40	m ³	4	3.81
					裏込注入廃材処理工				
					裏込注入廃材 処理設備設置撤去		式	1	1
					泥土運搬処理		式	1	1
					函体費				
					ボックス カルバート	□1500×1200	m	38.2	38.2
					目地・モルタル工				
					目地設置工	TB工法	箇所	26	26
					クッション材		箇所	22	22
					モルタル工		箇所	21	21
					立坑工（発進立坑）				
					作業土工		式	1	1
					基礎工		式	1	1
					立坑工（到達立坑）				
					作業土工		式	1	1
					基礎工		式	1	1
					仮設盛土工				
					盛土		m ³	40	40
					盛土撤去		m ³	40	40
					支保工設置撤去		箇所	1	1
					特許料				

設 計 数 量 調 書

雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事

上段:当初
下段:変更

工 種					種 別	細 別	単位	数 量	摘 要
					特許実施料	1500×1200 L=31.144m	空m ³	54.8	54.8
排水構造物工									
作業土工									
					掘削	土砂	m ³	20	21.0
					床掘り	土砂	m ³	170	168.0
					埋戻し	良質土	m ³	70	73.0
					埋戻し	流用土	m ³	20	15.3
					土砂等運搬		m ³	170	172.0
					基面整正		m ²	52	51.9
現場打水路工									
					現場打U型水路		m	2	2.4
					グレーチング蓋	SS-400 4枚/組 500kg/m2	組	1	1
接続工									
					L型水路		箇所	1	1
					底版コンクリート		箇所	1	1
					間詰コンクリート		箇所	1	1
					小口止めコンクリート		箇所	1	1
分土工									
					L型水路		箇所	1	1
					底版コンクリート		箇所	1	1
					間詰コンクリート		箇所	1	1
					小口止めコンクリート		箇所	1	1

設 計 数 量 調 書

雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事

上段:当初
下段:変更

工 種					種 別	細 別	単位	数 量	摘 要
					土留めコンクリート		箇所	1	1
既設函渠改良工									
					底版調整		箇所	1	1
					函渠復旧		箇所	1	1
側溝工									
					鉄筋コンクリート フリューム	H800×B900×L2000	m	8	8
道路土工									
掘削工									
					掘削		m ³	5	4.92
					土砂等運搬		m ³	5	4.92
法面整形工									
					法面整形（切土部）		m ²	9	9.1
					法面整形（盛土部）		m ²	1	0.6
舗装工									
車道舗装工									
					不陸整正		m ²	57	56.5
					下層路盤	RC-40 t=13cm	m ²	57	56.5
					上層路盤	M-40 t=20cm	m ²	57	56.5
					表層	再生密粒度As(13) t=5cm	m ²	57	56.5
歩道舗装工									
					路床	砂	m ²	21	20.7
					路盤	RC-40 t=10cm	m ²	21	20.7

設計数量調書

雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事

上段:当初
下段:変更

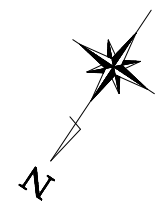
工 種					種 別	細 別	単位	数 量	摘 要
					表層	再生細粒度As(13) t=3cm	m ²	34	33.76
道路付属施設工									
道路付属物工									
					視線誘導標	コックリート建込式 再利用撤去・設置	本	2	2
					道路反射鏡	再利用撤去・設置	基	1	1
					落ち蓋式側溝	250×250 再利用撤去・設置	m	10	9.6
					蓋板	250用 再利用撤去・設置	枚	20	20
					L型側溝	L-500 再利用撤去・設置	m	4	4.1
構造物撤去工									
構造物取壊し工									
					舗装切断	As舗装 t=15cm以下	m	94	94
					舗装版破碎	As舗装 t=15cm以下	m ²	156	156.4
					コンクリート 無筋構造物		m ³	3	2.91
					コンクリート 鉄筋構造物		m ³	6	6.42
					コンクリート切断	既設函渠 t=250mm	m	18	18.40
運搬処理工									
					殻運搬処分	アスファルト殻	m ³	8	8.27
					殻運搬処分	コンクリート殻 無筋構造物	m ³	3	2.91
					殻運搬処分	コンクリート殻 鉄筋構造物	m ³	6	6.42
仮設工									
路面覆工									
					覆工板受桁基礎工	RC-80 t=10cm	m ²	13	13

設計数量調書

雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事

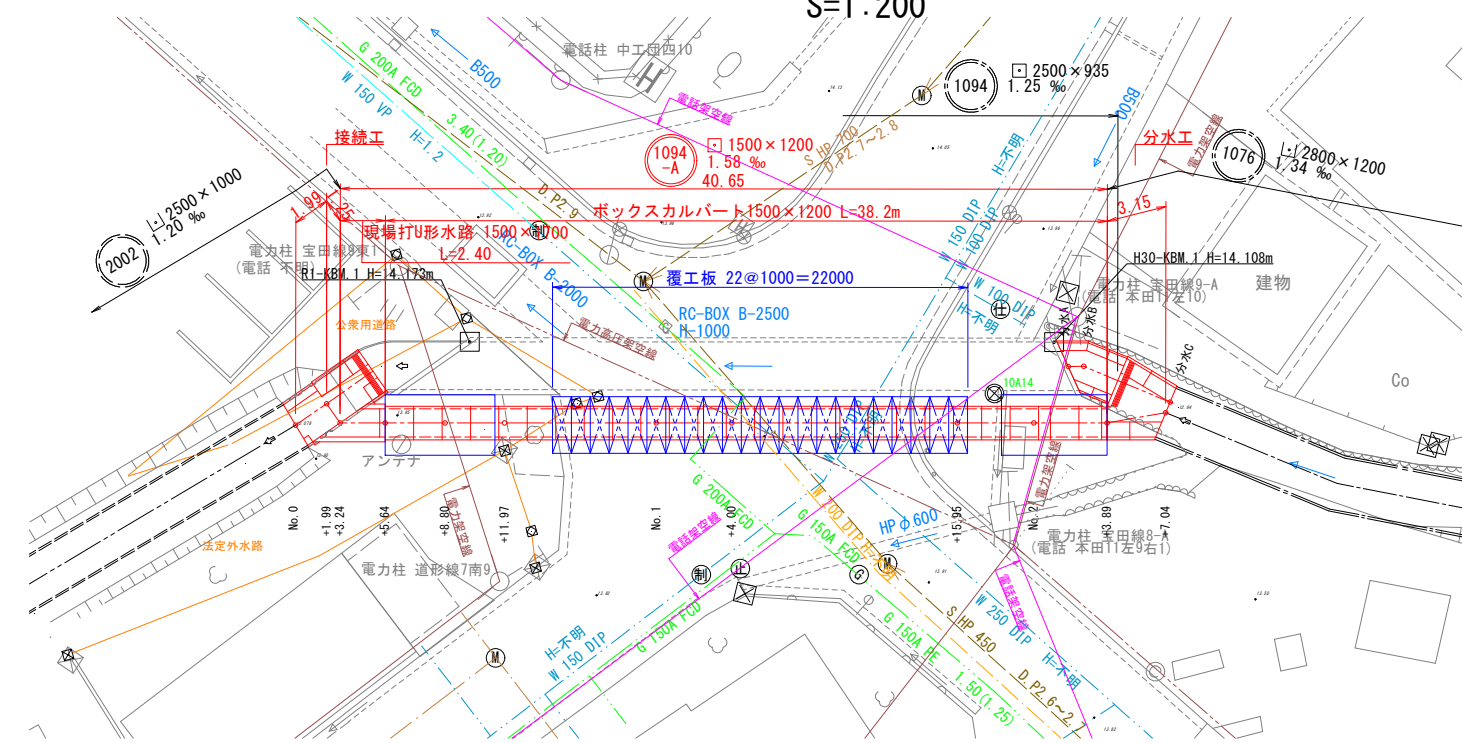
上段:当初
下段:変更

工 種				種 別	細 別	単位	数 量	摘 要
				覆工板、覆工板受桁 設置・撤去		m ²	66	66
				覆工板材料	1000×3000×200	m ²	66	66
				覆工板受桁材料	H-300×300	t	4.40	4.400
				仮締切工				
				大型土のう	製作・据付・撤去	袋	63	63
				普通土のう	小口並べ 仕拵・積立・撤去	m ²	2	2
				仮排水工				
				仮排水管	高密度ポリエチレン管 Φ600（波状）	式	1	1
				水替工				
				ポンプ排水	商用電源	式	1	1
				交通管理工				
				交通誘導警備員		式	1	1
				積上げ共通仮設費				
				運搬費				
				仮設材運搬	往復 仮設部	式	1	1
				建設機械運搬	往復 オープンシート部	式	1	1
				安全費				
				安全施設工		式	1	1
				技術管理費				
				試験費		式	1	1



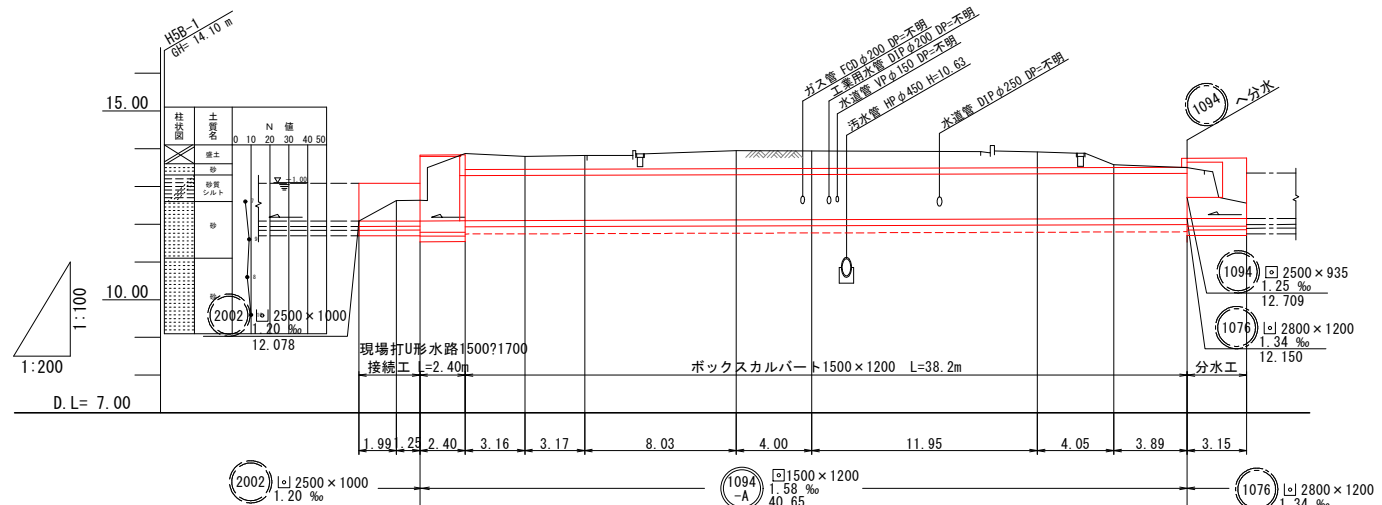
平面図

S=1:200



縦断面図

V=1:100
H=1:200



測点	断面距離 (m)	掘削深 (m)	渠底高 (m)	土層高 (m)	地盤高 (m)
No. 0	0.00	0.39	12.078		12.08
+1.99	1.99	0.93	12.080		12.62
+3.24	3.24	0.94	12.082	-1.20	12.63
+5.64	5.64	2.33	12.086	0.03	13.87
+8.80	8.80	2.05	12.091	0.34	13.79
+11.97	11.97	2.07	12.096	0.36	13.82
No. 1	20.00	2.19	12.108	0.48	13.95
+4.00	24.00	2.17	12.115	0.47	13.94
+15.95	35.95	2.12	12.134	0.42	13.91
No. 2	40.00	1.78	12.140	0.07	13.57
+3.89	43.89	1.70	12.146	-0.01	13.50
+7.04	47.04	0.86	12.150		12.56

座標一覧表

点名	X座標	Y座標
No. 0	-138400.844	-86519.816
No. 0+1.99	-138402.698	-86520.543
No. 0+3.24	-138402.242	-86521.707
No. 0+5.64	-138403.577	-86523.702
No. 0+8.80	-138405.333	-86526.327
No. 0+11.97	-138407.093	-86528.959
No. 1	-138411.560	-86535.637
No. 1+4.00	-138413.784	-86538.961
No. 1+15.95	-138420.429	-86548.893
No. 2	-138422.681	-86552.260
No. 2+3.89	-138424.844	-86555.493
No. 2+7.04	-138427.021	-86557.770
分水A	-138426.174	-86552.124
分水B	-138426.640	-86552.786
分水C	-138427.613	-86557.652

実施

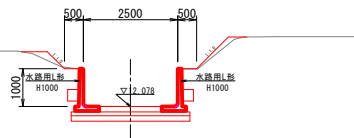
令和 8 年度 図番	19 葉 1
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
平面図・縦断面図 1 葉 1	
縮尺図示	鶴岡市

横断面図

S=1:100

No. 0

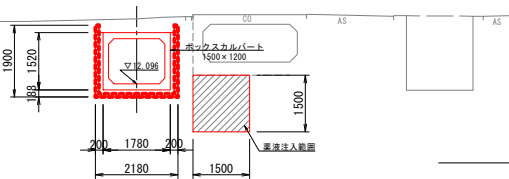
GH=12.08



DL=10.00

No. 0+11.97

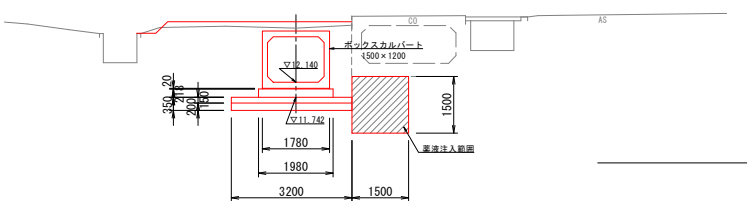
GH=13.82



DL=10.00

No. 2

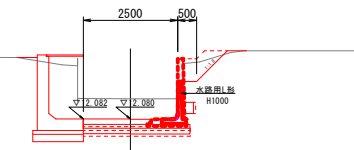
GH=13.57



DL=10.00

No. 0+1.99

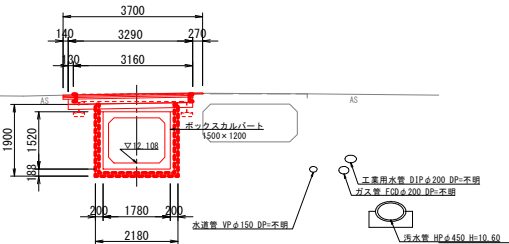
GH=12.62



DL=10.00

No. 1

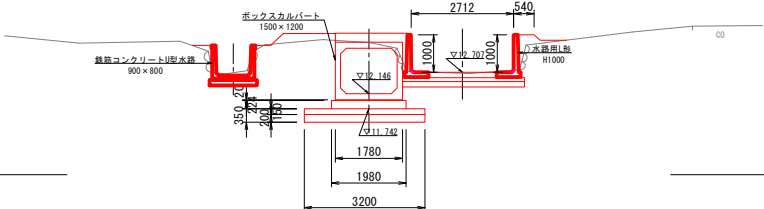
GH=13.95



DL=10.00

No. 2+3.89

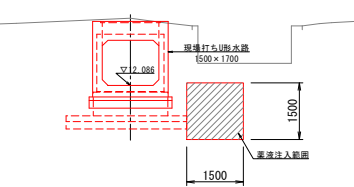
GH=13.50



DL=10.00

No. 0+5.64

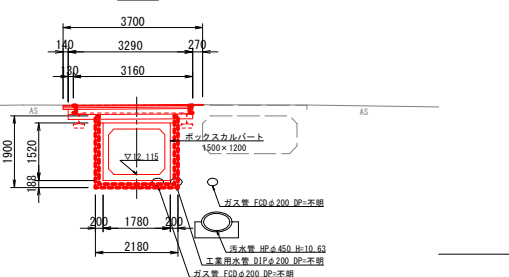
GH=13.87



DL=10.00

No. 1+4.00

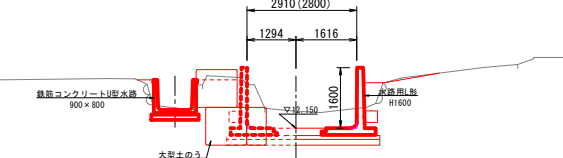
GH=13.94



DL=10.00

No. 2+7.04

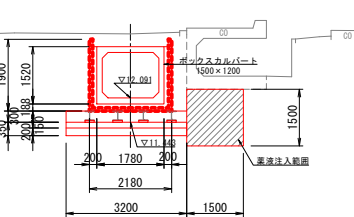
GH=12.60



DL=10.00

No. 0+8.80

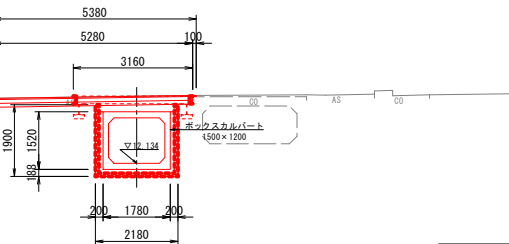
GH=13.79



DL=10.00

No. 1+15.95

GH=13.91



DL=10.00

実施

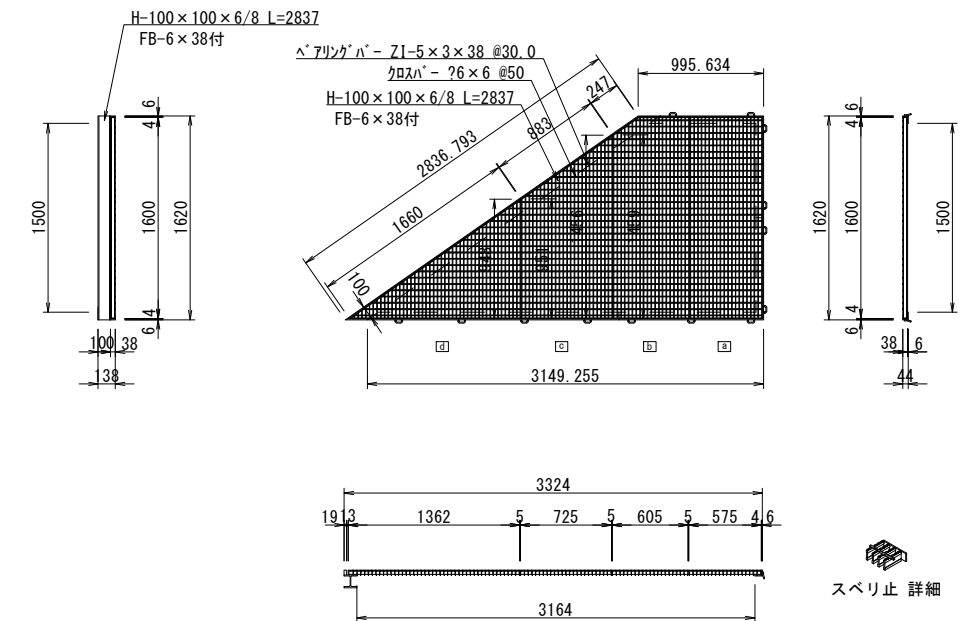
令和 8 年度 図番	19 葉 2
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
横断面図 1 葉 1	
縮尺	S=1:100 鶴岡市

S=1:30

Technical drawing of a box culvert structure. The drawing shows a cross-section of the culvert with dimensions in millimeters. The total width is 3837 mm, and the total height is 1500 mm. The culvert is divided into three sections: a left section (B) with a width of 359 mm, a middle section (A) with a width of 3178 mm, and a right section (C) with a width of 300 mm. The culvert is shown with a red outline and a blue outline. The drawing includes section lines A-A and B-B. The section line A-A is a horizontal line passing through the center of the culvert. The section line B-B is a vertical line passing through the center of the culvert. The drawing also includes a label 'No. 0+3.24' and 'No. 0+5.64' indicating specific points along the culvert. A note 'ボックスカルバート1500?1200' is present, indicating the culvert size. The drawing is a technical drawing of a box culvert structure, showing dimensions and section lines.

Figure 1: Foundation cross-section drawing. The drawing shows a rectangular foundation with a total width of 2000mm and a total height of 2000mm. The top slab is 1700mm wide and 38mm thick. The main body is 1662mm high. The bottom slab is 300mm thick. The foundation is made of RC-80 concrete. The drawing includes dimensions for the top slab, main body, and bottom slab, as well as the overall dimensions and material specifications.

(仕様: 500kg/m²)



Technical drawing of a rectangular structure, likely a foundation or base, showing dimensions and elevations.

Dimensions:

- Overall width: 2400
- Overall height: 2000
- Top horizontal offset: 5
- Top horizontal offset (inner): 300
- Left vertical offset (top): 38
- Left vertical offset (middle): 1700
- Left vertical offset (bottom): 1662
- Bottom horizontal offset (left): 175
- Bottom horizontal offset (right): 100
- Bottom horizontal offset (inner): 2400
- Bottom horizontal offset (total): 2675

Elevations:

- Top right corner: $\nabla 12.086$
- Bottom left corner: $\nabla 12.082$

Labels:

- グレーチング (Grating)
- 均しコンクリート (18-8-40BB) (Leveling concrete)
- 基礎砕石 (RC-80) (Foundation gravel)

Technical drawing of a square foundation with a central octagonal column. The drawing includes top and side views with dimensions in millimeters.

Top View Dimensions:

- Overall square width: 2000 mm
- Margin from outer edge to inner octagon: 250 mm (left and right)
- Inner octagonal column width: 150 mm
- Inner octagonal column height: 150 mm

Side View Dimensions:

- Overall square height: 2000 mm
- Column height: 1200 mm
- Base height: 300 mm
- Foundation height: 100 mm
- Foundation width: 2000 mm
- Margin from outer edge to foundation: 100 mm (left and right)

Material Specifications:

- 均しコンクリート (18-8-40BB)
- 基礎碎石 (RC-80)

材質：SS400
表面処理：グレーチング 溶融亜鉛メッキ
四面枠 黒ペイント

番 号	蓋 重 量
a	42.9kg
b	44.4kg
c	40.7kg
d	30.1kg

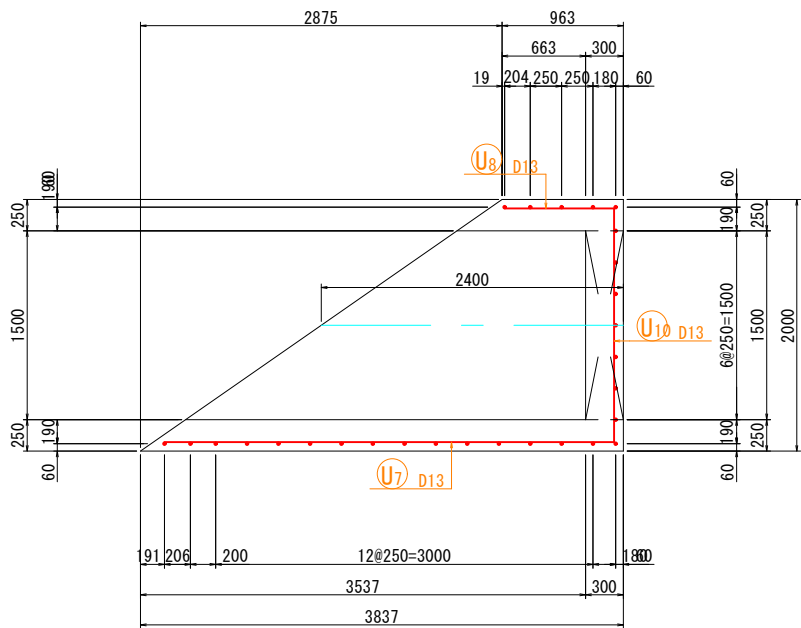
総重量	243.5kg
-----	---------

实施

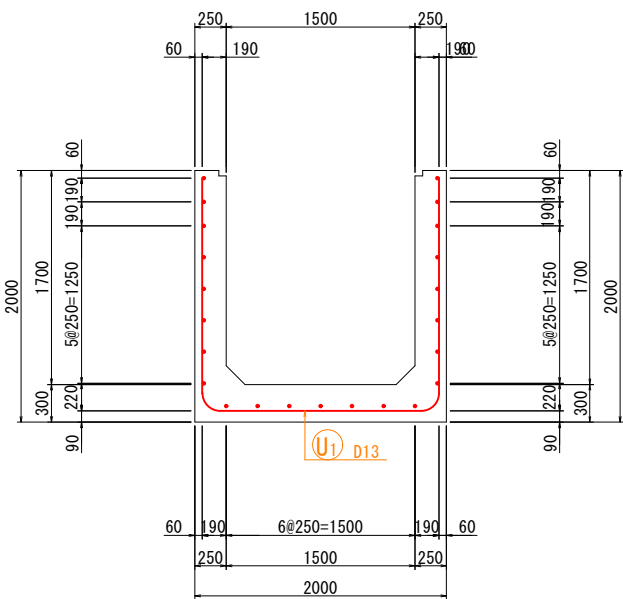
令 和	8 年 度	図 番	19 葉 3
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区		
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事		
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内		
現場打U形水路一般図 1 葉 1			
縮 尺 図 示		鶴 岡 市	

現場打U形水路配筋図(1) 縮尺 1:30

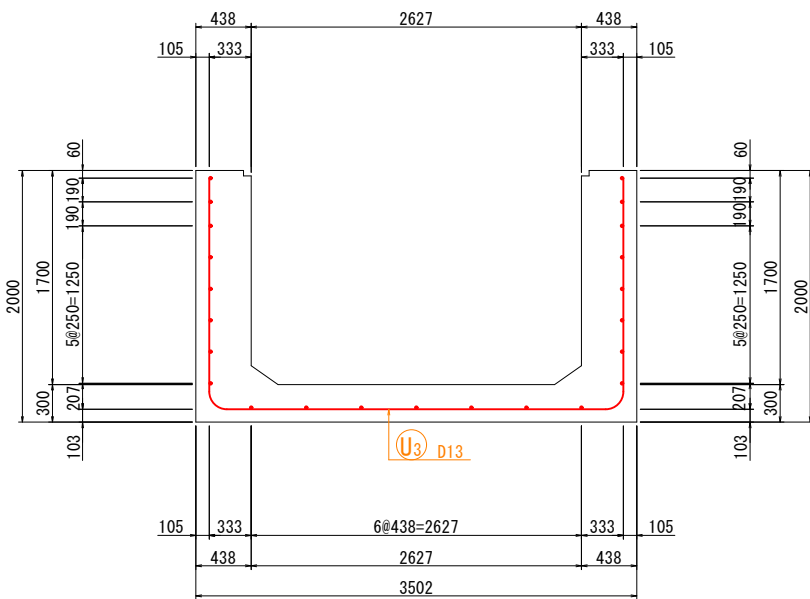
A-A断面図
(平断面図)



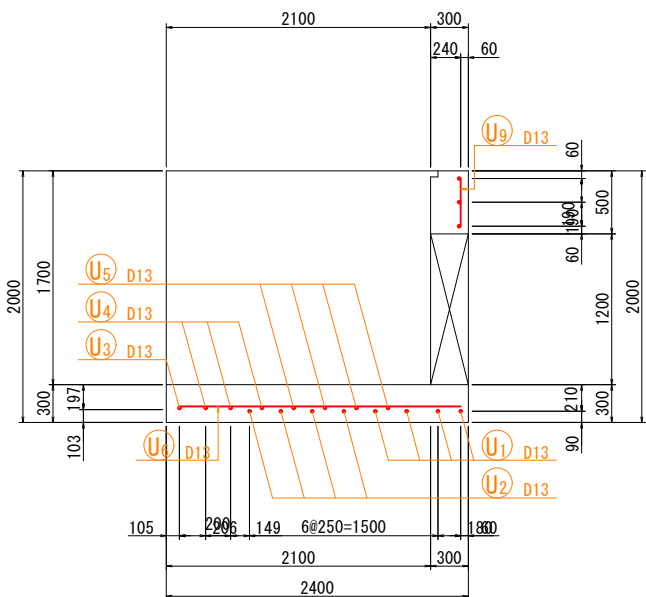
C-C断面図
(標準部横断面図)



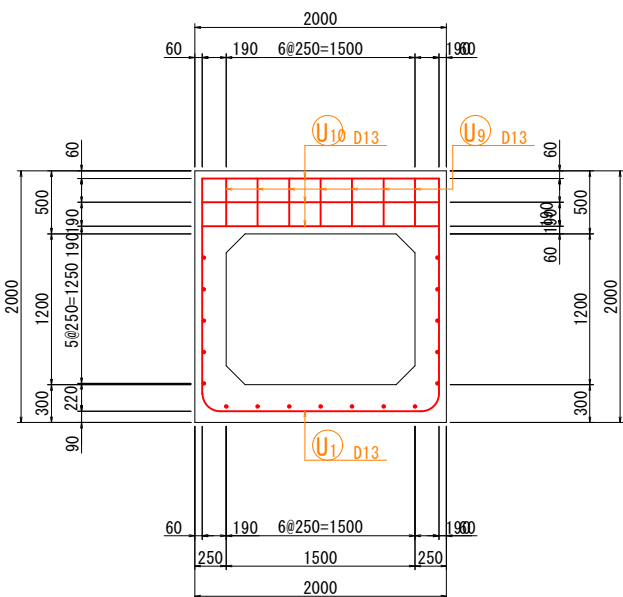
E-E断面図
(斜部横断面図)



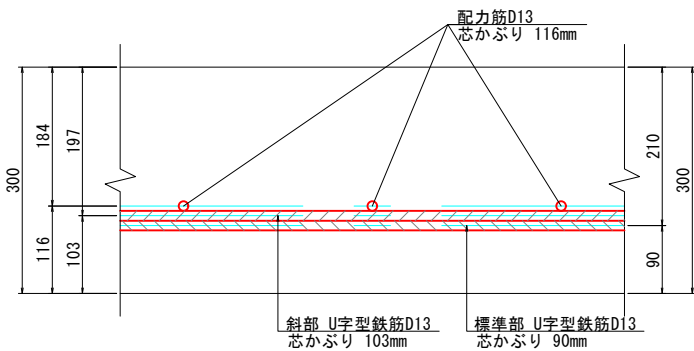
B-B断面図
(縦断面図)



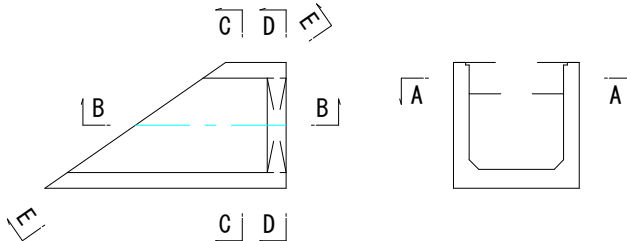
D-D断面図
(妻部展開図)



底板鉄筋組立図 縮尺 1:5



位置図

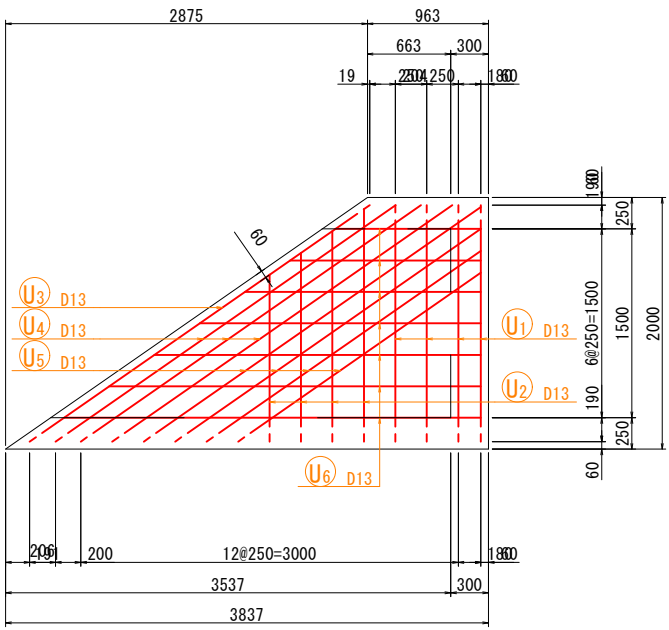


実 施				
令 和	8	年 度	図 番	19 葉 4
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区			
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事			
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内			
現場打U形水路配筋図(1) 2 葉 1				
縮 尺	S=1:30		鶴 岡 市	

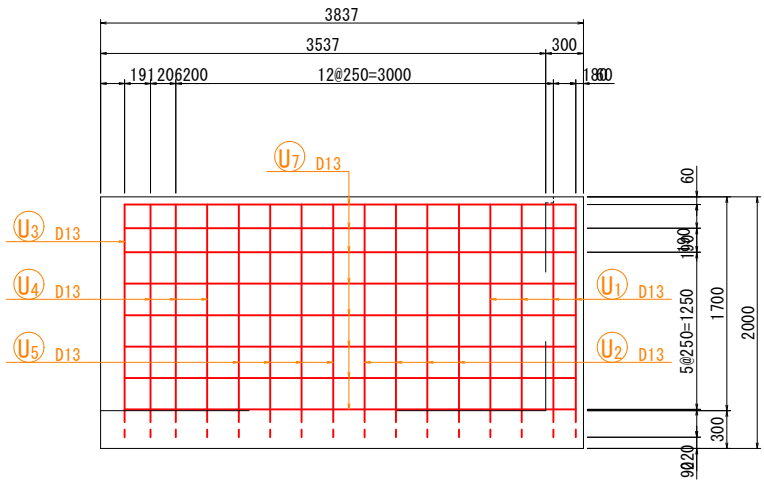
現場打U形水路配筋図(2)

S=1:30

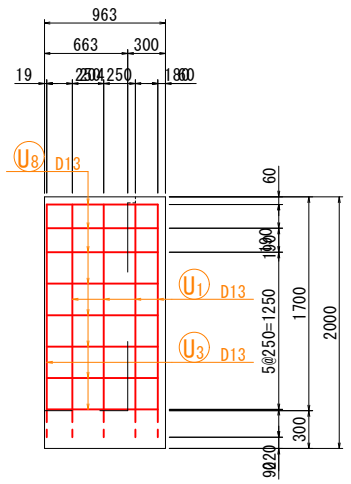
F-F断面図
(底版展開図)



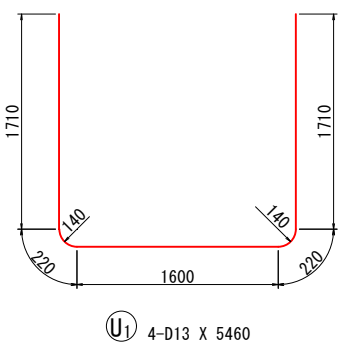
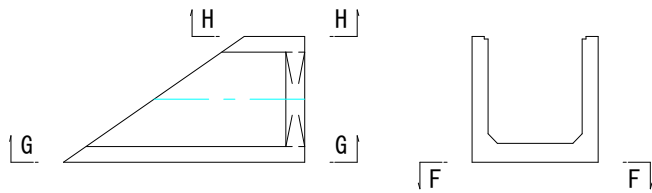
G-G断面図
(側壁展開図)



H-H断面図
(側壁展開図)



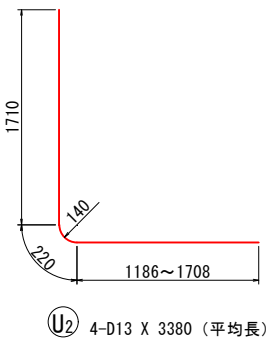
位置図



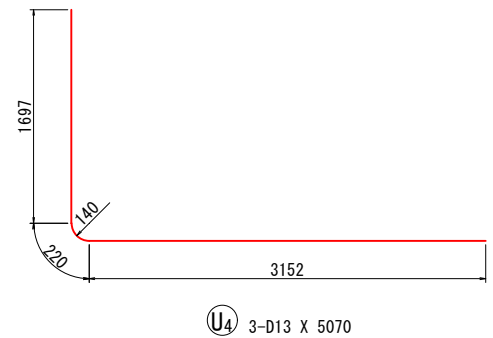
U1 4-D13 X 5460



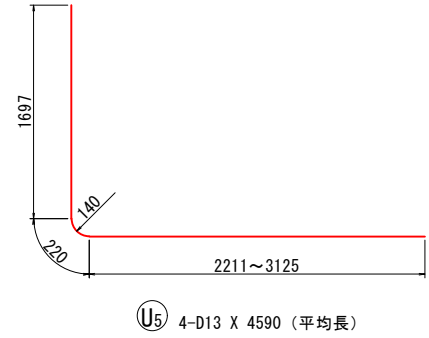
U3 1-D13 X 6850



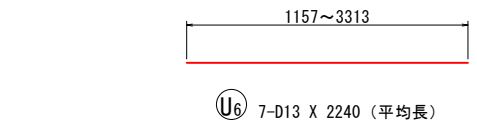
U2 4-D13 X 3380 (平均長)



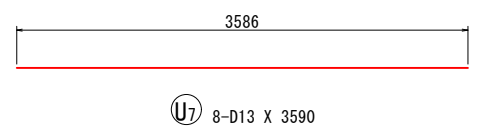
U4 3-D13 X 5070



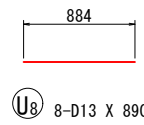
U5 4-D13 X 4590 (平均長)



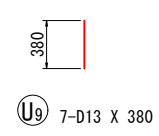
U6 7-D13 X 2240 (平均長)



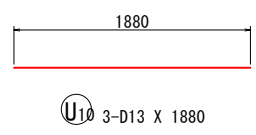
U7 8-D13 X 3590



U8 8-D13 X 890



U9 7-D13 X 380



U10 3-D13 X 1880

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
U 1	D13	5460	4	0.995	5.43	22	┐
U 2	D13	3380	4	0.995	3.36	13	└ (平均長)
U 3	D13	6880	1	0.995	6.85	7	┐
U 4	D13	5090	3	0.995	5.06	15	└
U 5	D13	4600	4	0.995	4.58	18	└ (平均長)
U 6	D13	2240	7	0.995	2.23	16	— (平均長)
U 7	D13	3590	8	0.995	3.57	29	—
U 8	D13	890	8	0.995	0.89	7	—
U 9	D13	380	7	0.995	0.38	3	└
U 10	D13	1880	3	0.995	1.87	6	—
136 kg							
合計 SD345 D13 136 kg							
総質量 136 kg							

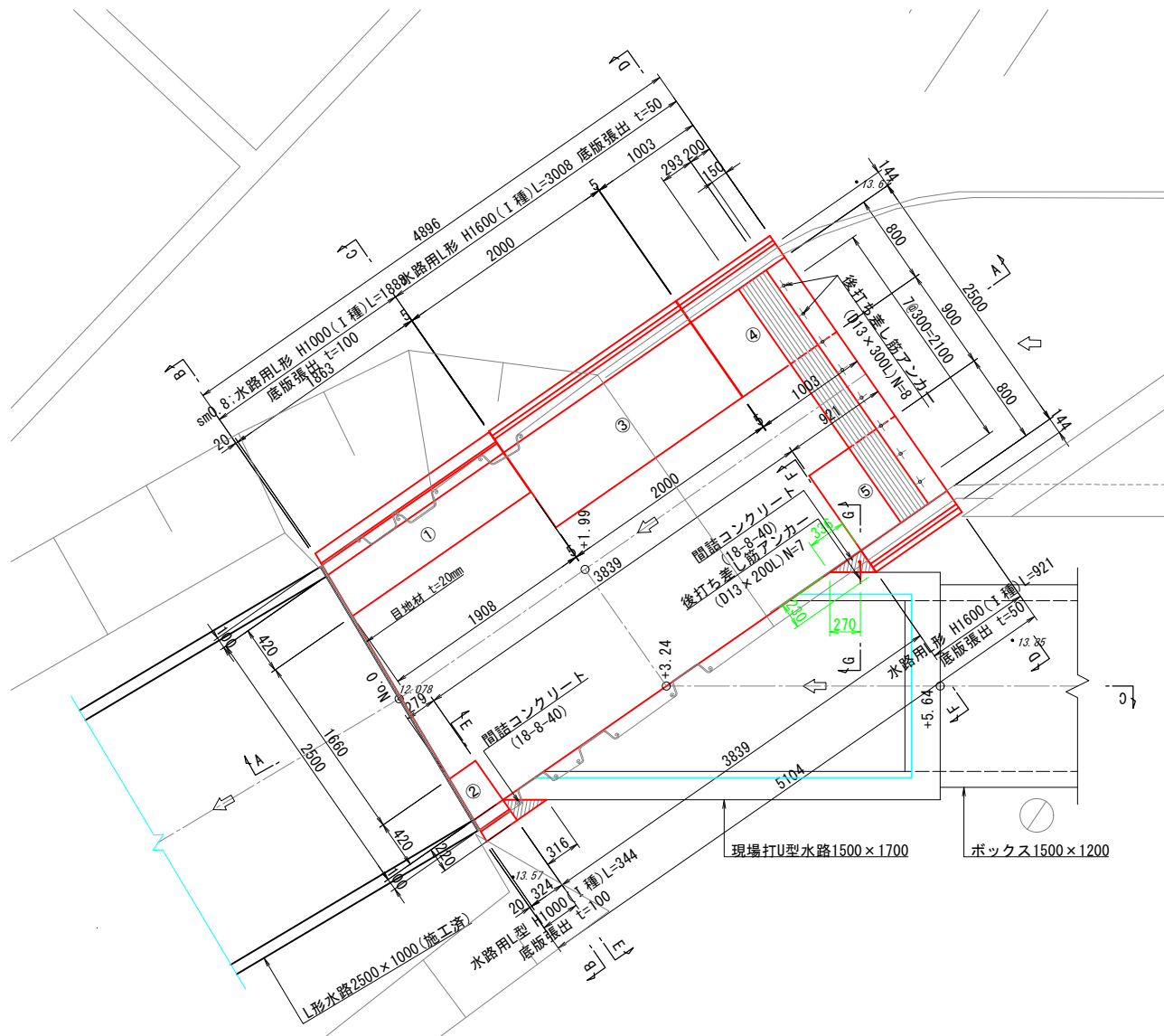
実施

令 和	8 年 度	図 番	19 葉 5
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区		
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事		
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内		
現場打U形水路配筋図(2) 2 葉 2			
縮 尺	S=1:30	鶴 岡 市	

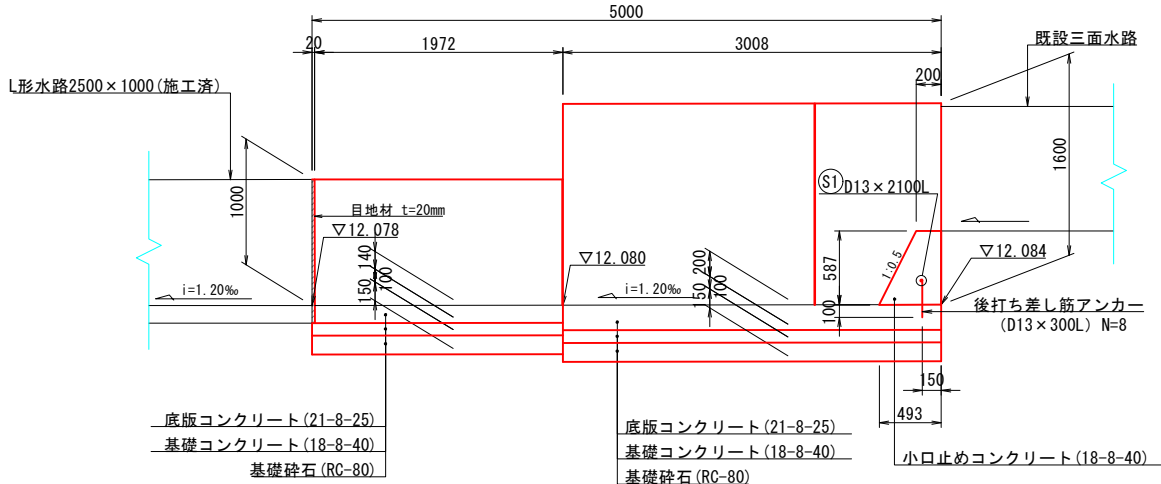
接続工一般図

S=1:30

平面図



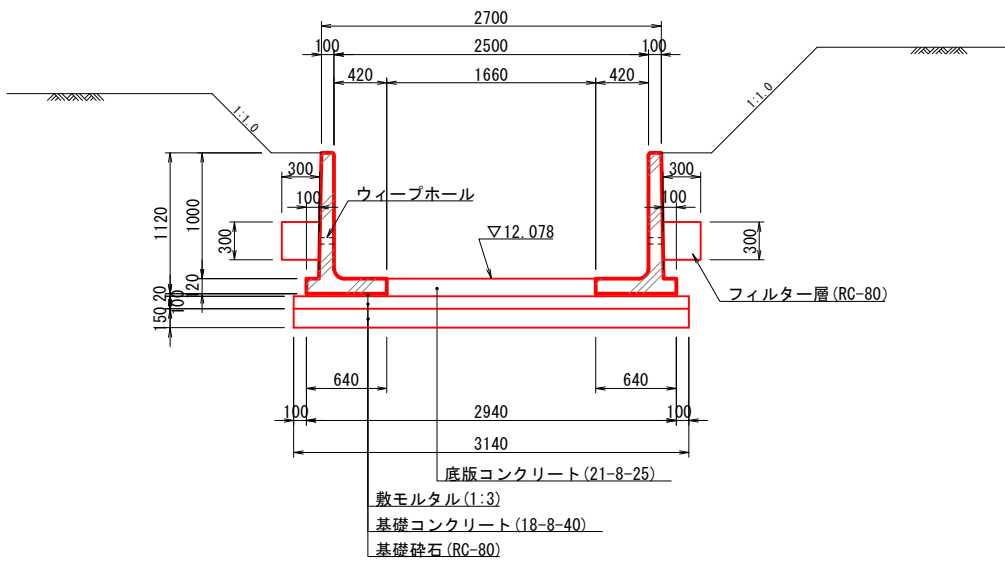
A-A断面図



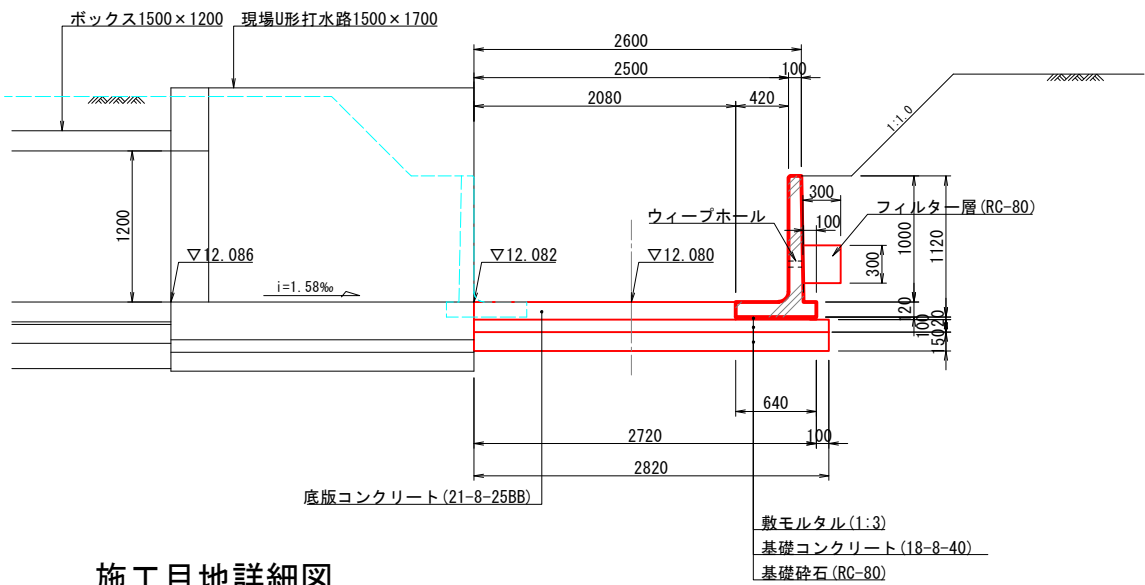
水路用L形数量表

種別	製品長(mm)	個数	参考重量(kg)	割付No.	摘要
H1000 I種 底版張出 t=100 (ウィーブホール付)	1908/1863	1	850	①	片斜用
	279/324	1	140	②	片斜用
H1600 I種 底版張出 t=50 (ウィーブホール付)	2000	1	2070	③	標準用
	1003	1	1040	④	調整用
	921	1	960	⑤	調整用
合計		5個			

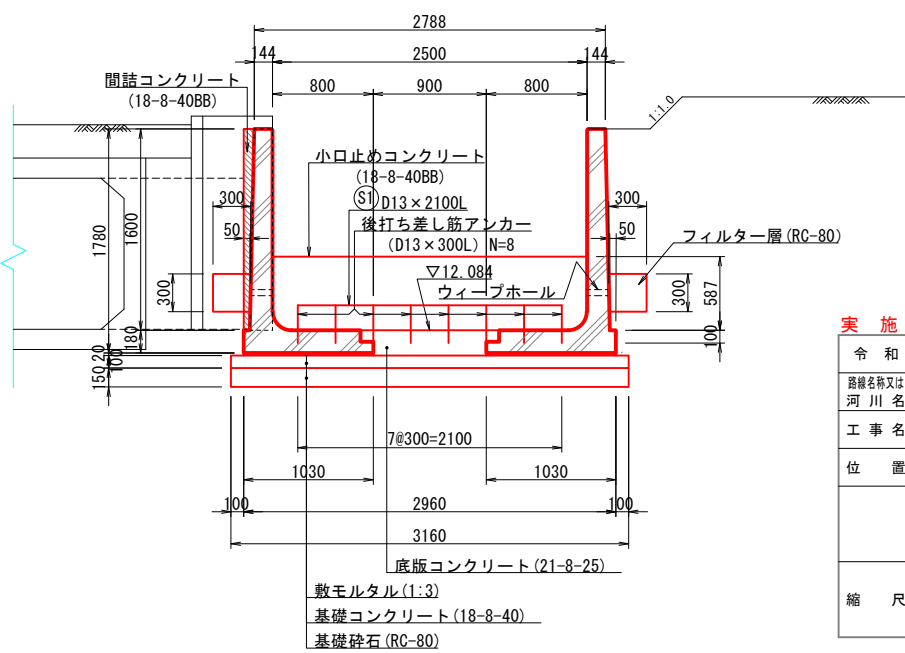
B-B断面図



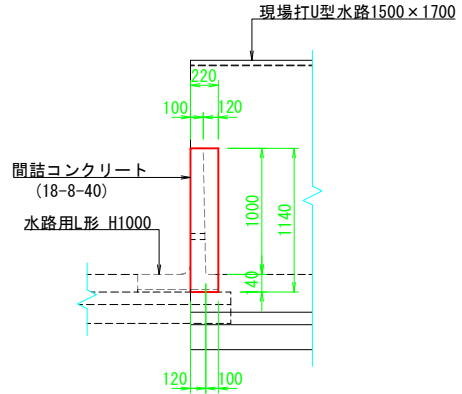
C-C断面図



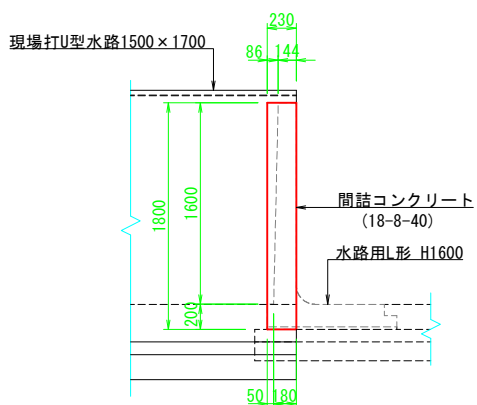
D-D断面図



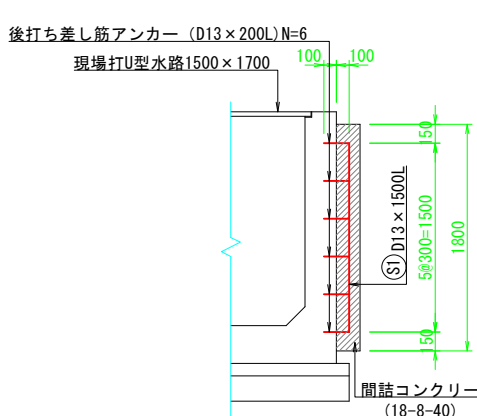
E-E断面図



F-F断面図

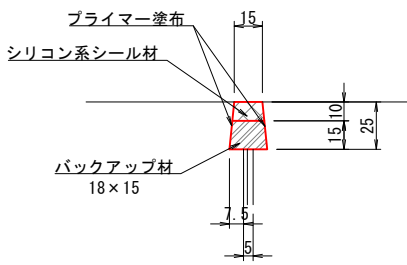


G-G断面図



施工目地詳細図

S=1:2



目地数量 (製品片側1箇所当り)

種別	シーラ材 (?/1目地)	バックアップ材 (m/1目地)	プライマー (?/1目地)
H1000	0.222	1.385	0.010
H1600	0.385	2.235	0.015

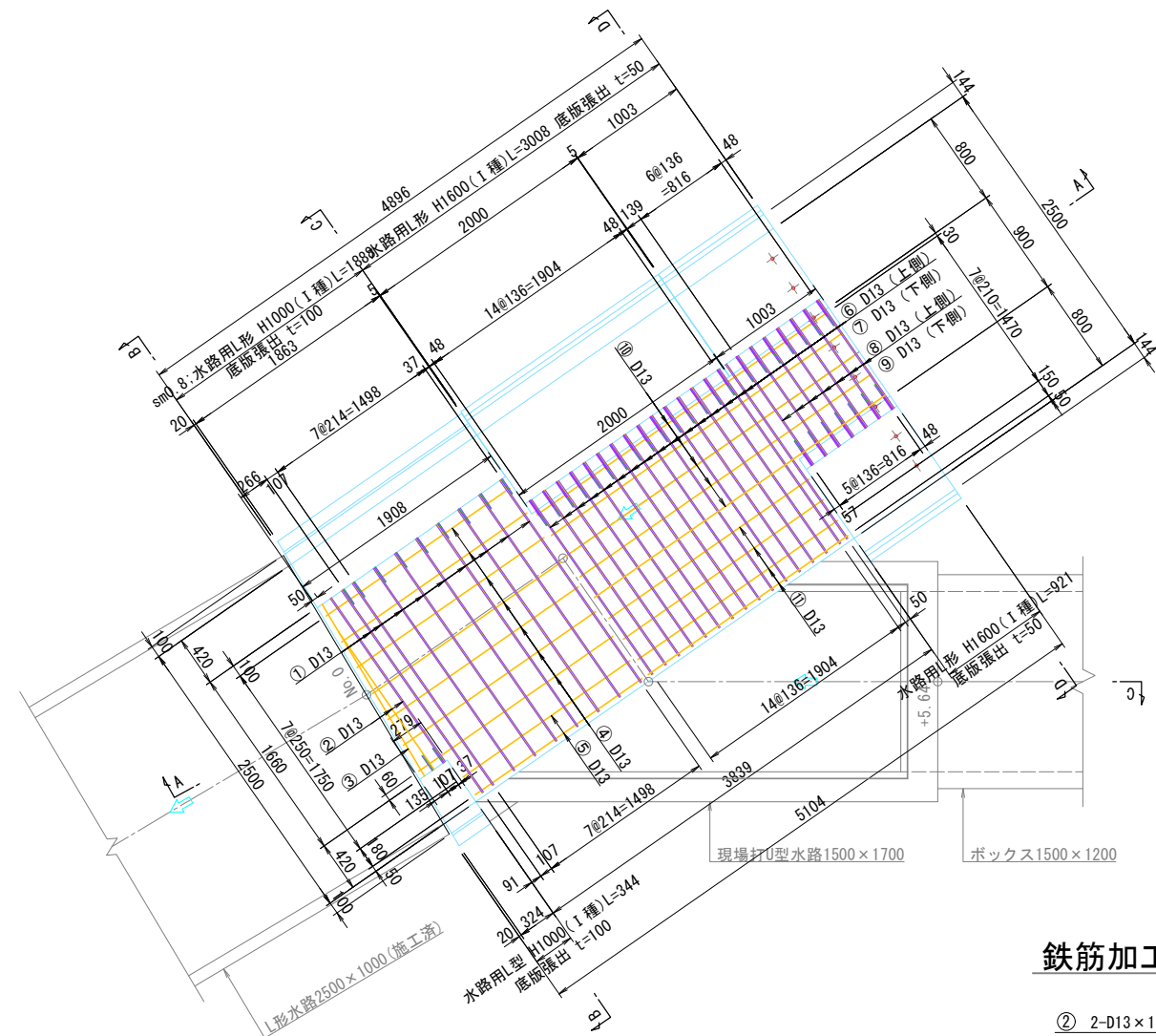
注)表内数値はロス考慮なし数量

実施

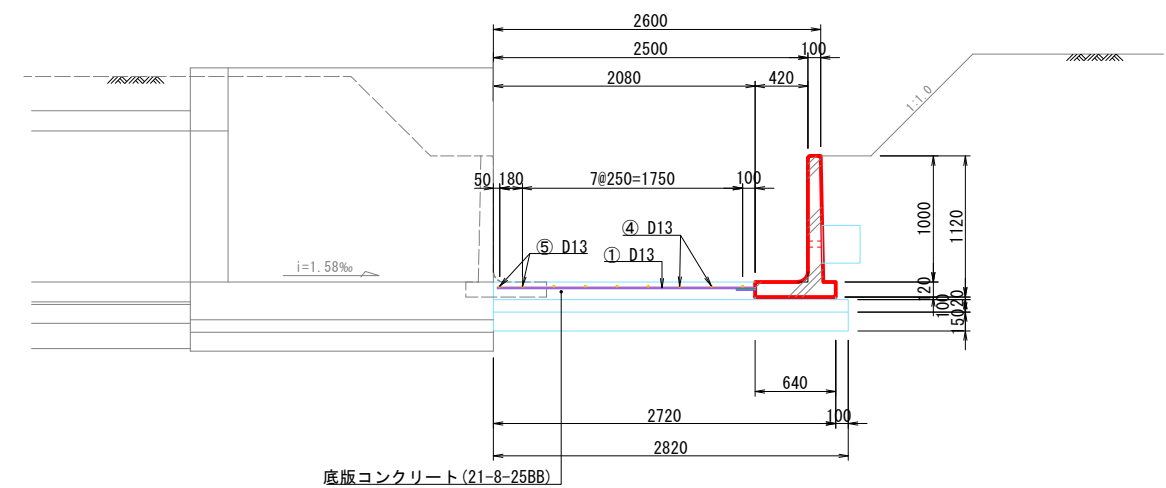
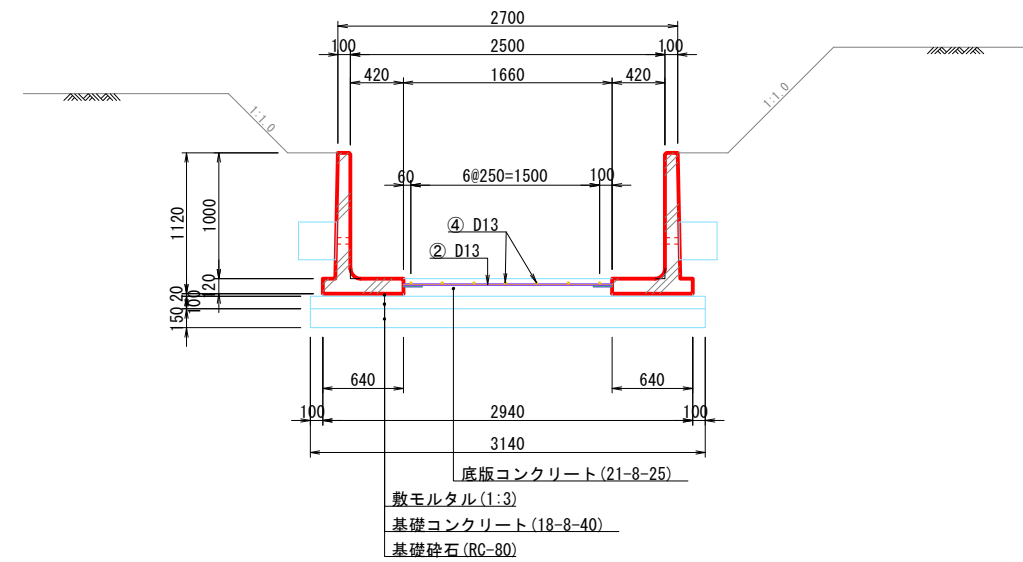
令和8年度	図番	19葉6
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区	
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
接続工一般図		1葉1
縮尺図示	鶴岡市	

S=1 : 30

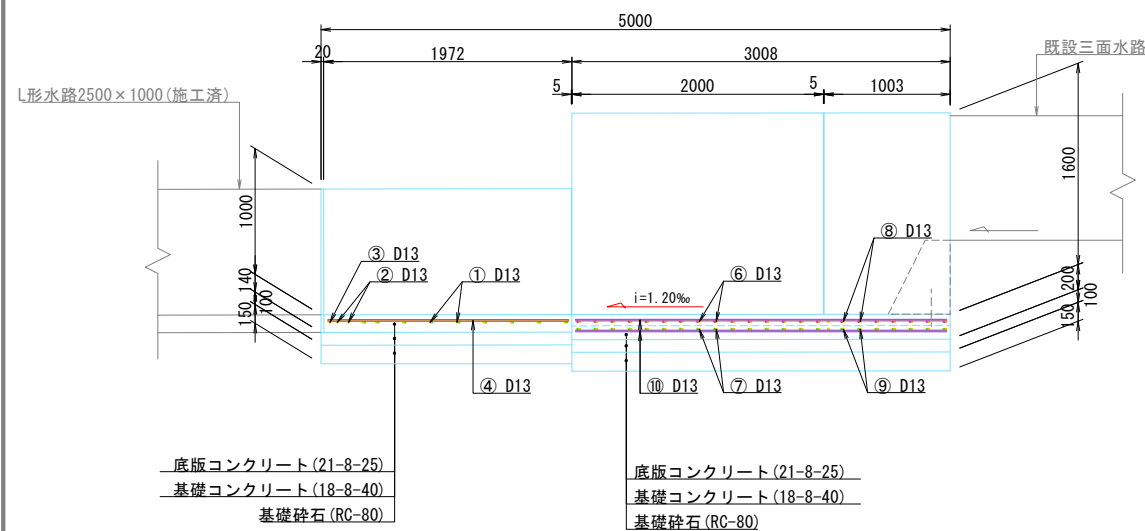
平面图



B-B 断面図



A-A 断面図



鉄筋数量表

No.	径	本数	長さ(m)	単位質量 (kg/m)	1本当りの質量 (kg/本)	質量(kg)	形 状	備 考
①	13	9	2.050	0.995	2.040	18.358	———	
②	13	2	1.525	0.995	1.517	3.035	———	平均長
③	13	1	1.664	0.995	1.656	1.656	———	
④	13	7	1.913	0.995	1.903	13.324	———	平均長
⑤	13	2	1.690	0.995	1.682	3.363	———	
⑥	13	16	1.770	0.995	1.761	28.178	———	
⑦	13	16	1.670	0.995	1.662	26.586	———	
⑧	13	7	1.100	0.995	1.095	7.662	———	
⑨	13	7	0.900	0.995	0.896	6.269	———	
⑩	13	10	2.950	0.995	2.935	29.353	———	
⑪	13	8	2.030	0.995	2.020	16.159	———	

SD345 D13 = 153.9 kg

※ 寸法値は設計値であり実寸法とは異なる場合がある為、施工にあたっては現場測量を行い 実寸法を確認して寸法値を決定すること。

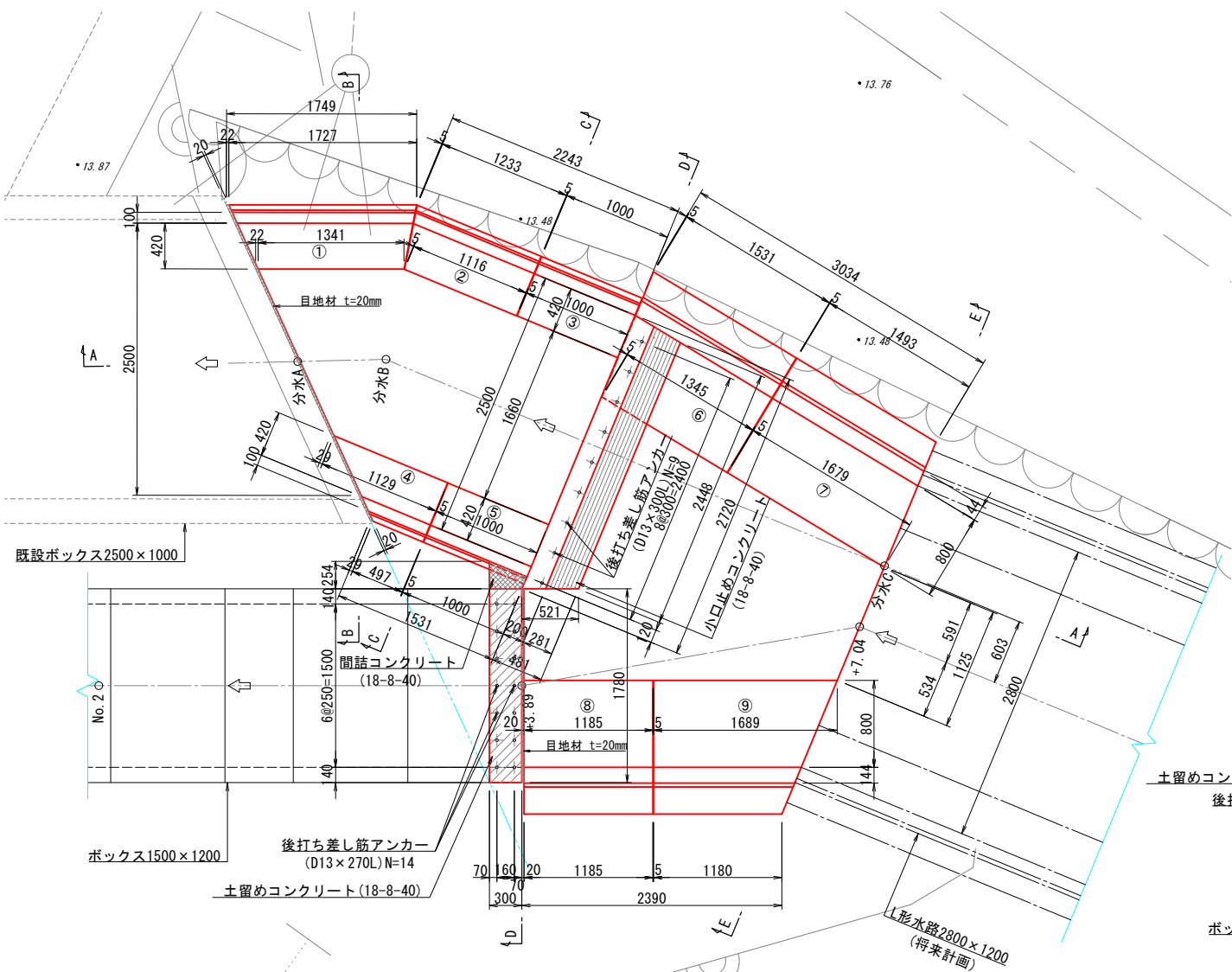
实施

令 和	8 年 度	図 番	19 葉 7
路線名市又は 河 川 名	雨水道形第1排水区		
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事		
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内		
接続工底版配筋図			1 葉 1
縮 尺	S=1:30	鶴 岡 市	

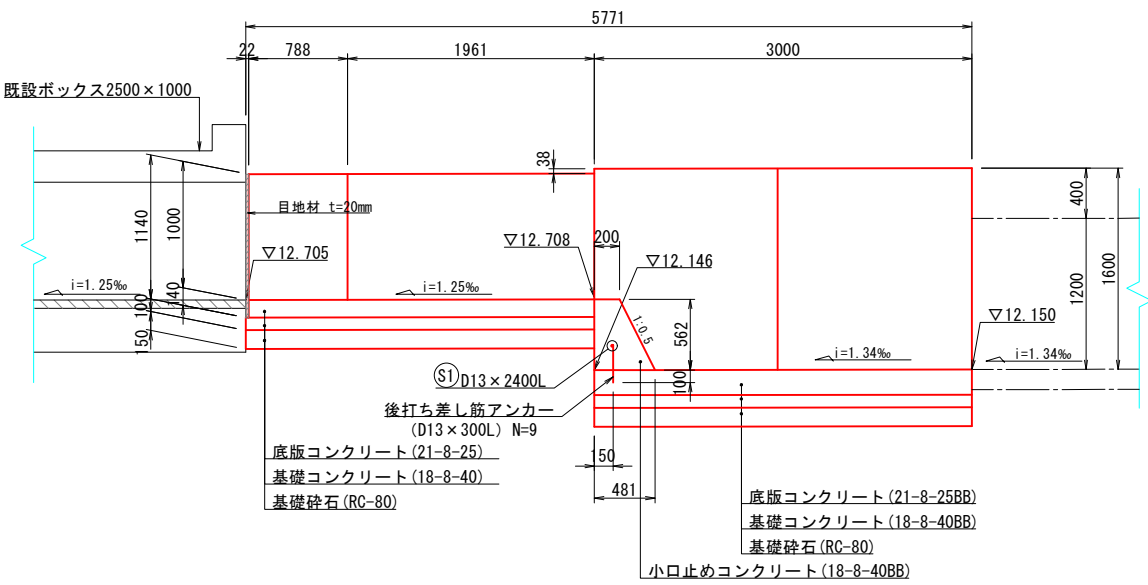
分水工一般図

S=1:30

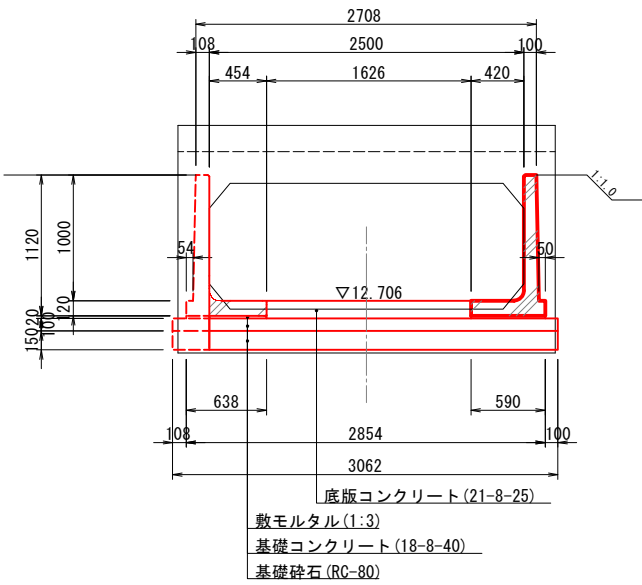
平面図



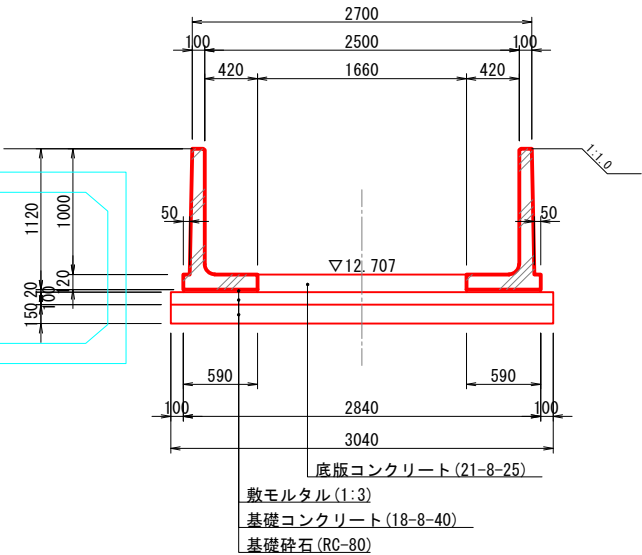
A-A断面図



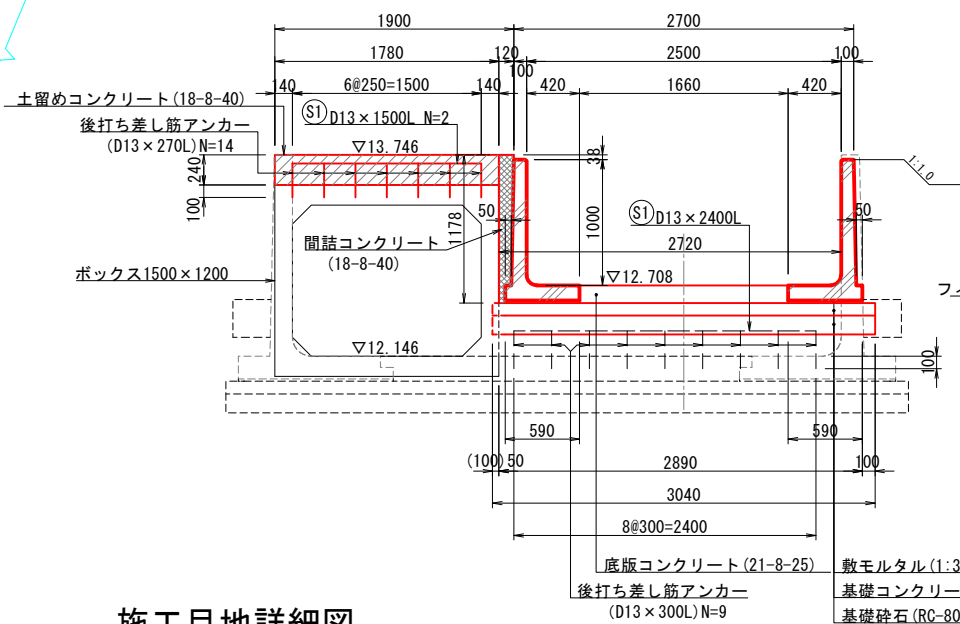
B-B断面図



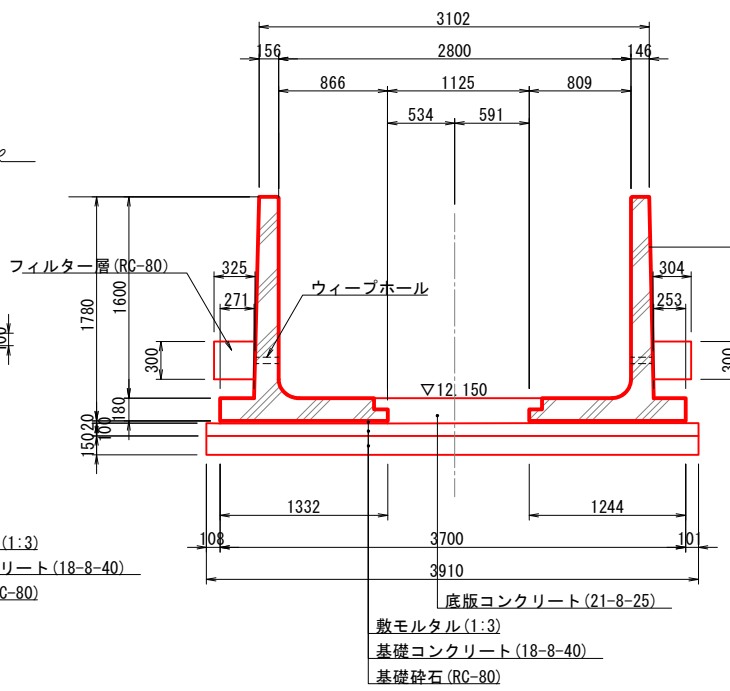
C-C断面図



D-D断面図

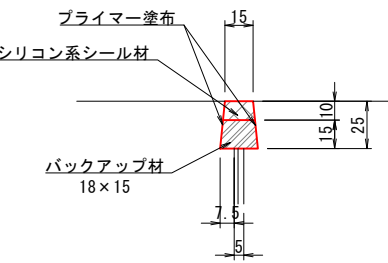


E-E断面図



施工目地詳細図

S=1:2



目地数量 (製品片側1箇所当り)

種別	シーリング材 (?/1目地)	バックアップ材 (m/1目地)	プライマー (?/1目地)
H1000	0.222	1.385	0.010
H1600	0.385	2.235	0.015

注) 表内数値はロス考慮なし数量

水路用L形数量表

種別	製品長(mm)	個数	参考重量(kg)	割付No.	摘要
H1000 I種 底版張出 t=50	1341/1727	1	670	①	片斜用
	1116/1233	1	510	②	片斜用
	1000	2	430	③、⑤	調整用
	1129/497	1	370	④	片斜用
H1600 I種 底版張出 t=250 (ウィーブホール付)	1345/1531	1	1620	⑥	片斜用
	1679/1493	1	1780	⑦	片斜用
	1185	1	1350	⑧	調整用
	1689/1180	1	1610	⑨	片斜用
合計		9	個		

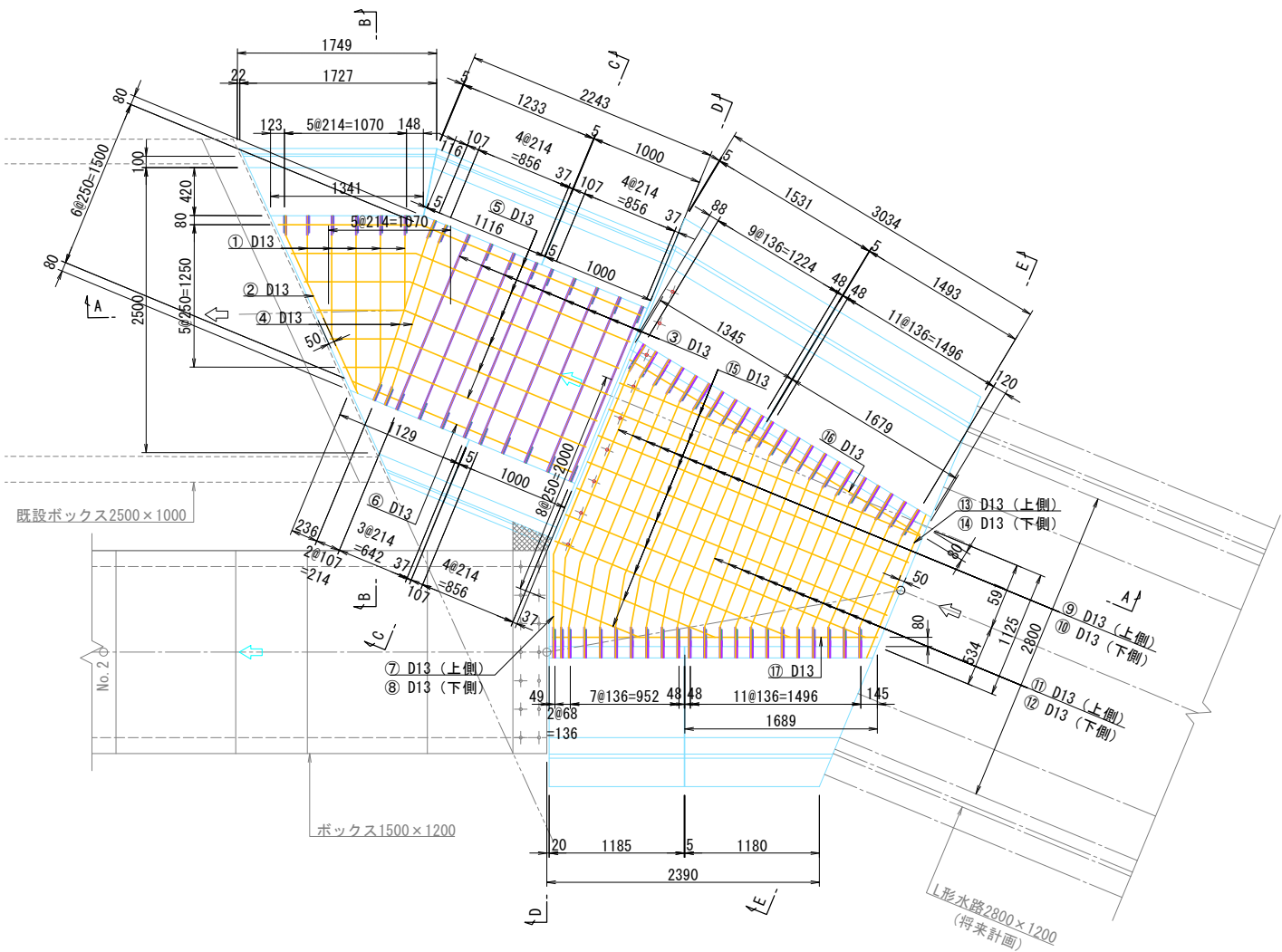
実施

令和 8 年度 図番 19 葉 8	
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
分水工一般図 1 葉 1	
縮尺図示	鶴岡市

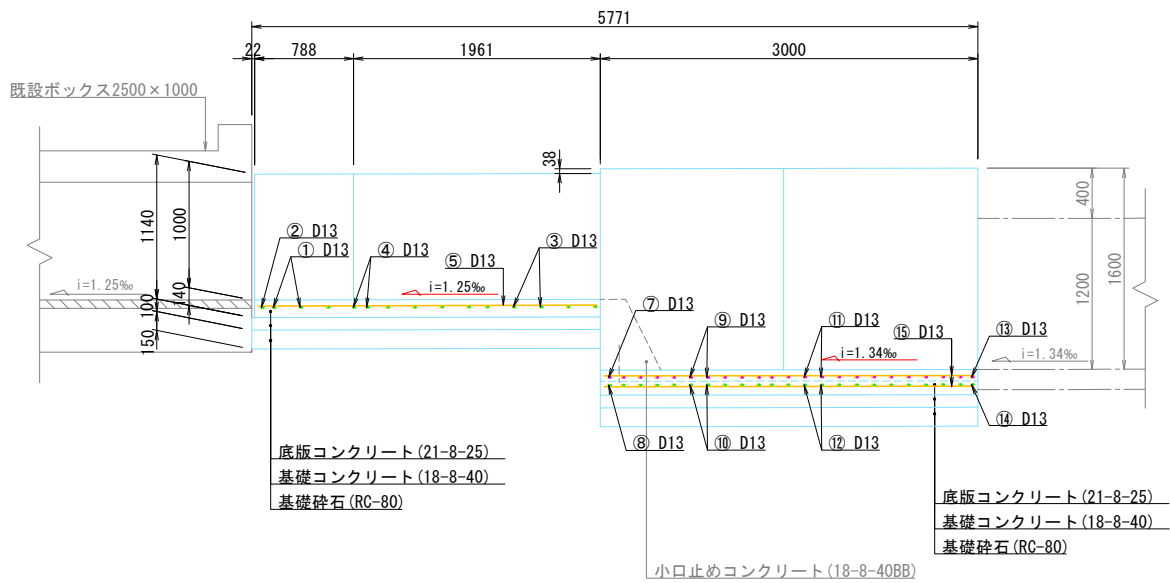
分土工底版配筋図(1)

S=1:30

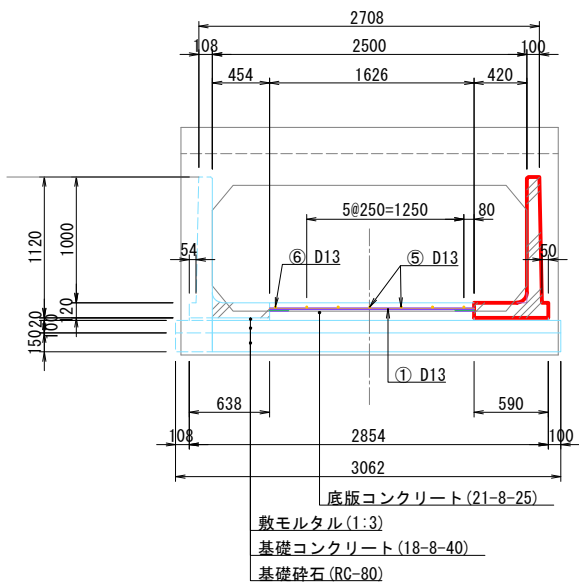
平面図



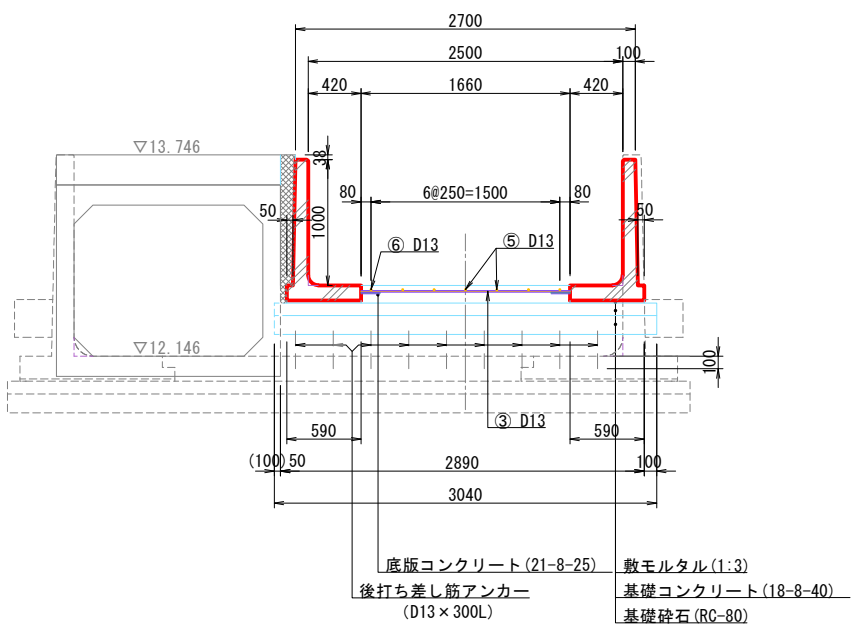
A-A断面図



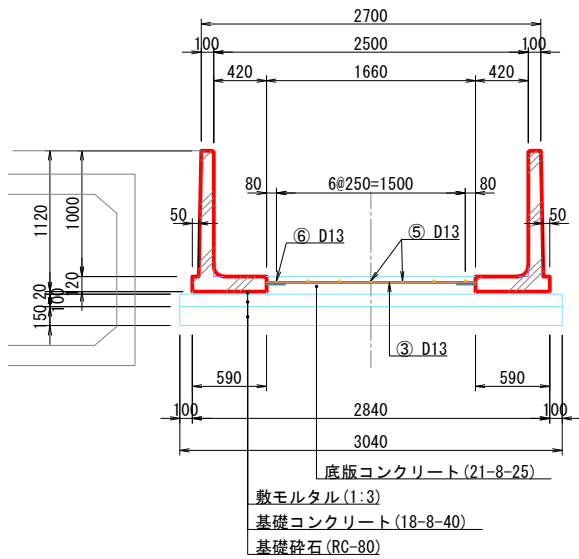
B-B断面図



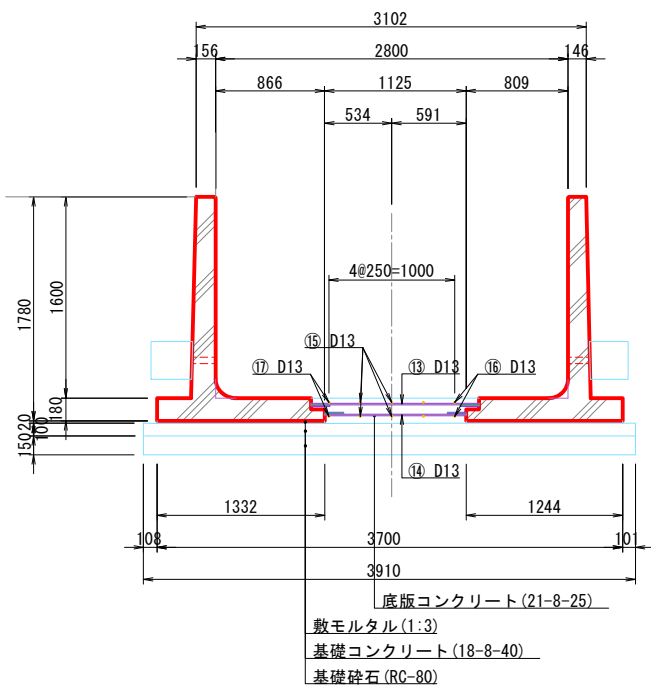
D-D断面図



C-C断面図



E-E断面図



実施

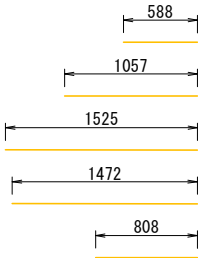
令和 8 年度		図 番	19 葉 9
路線名称又は河川名		雨水道形第1排水区	
工 事 名		鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事	
位 置		鶴岡市宝田一丁目地内	
分水土底版配筋図(1) 2 葉 1			
縮 尺		S=1:30	鶴 岡 市

分水工底版配筋図(2)

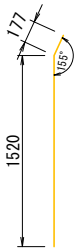
S=1:30

鉄筋加工図

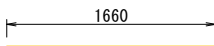
① 5-D13×1090(平均長)



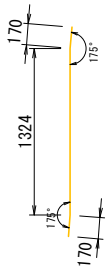
② 1-D13×1697



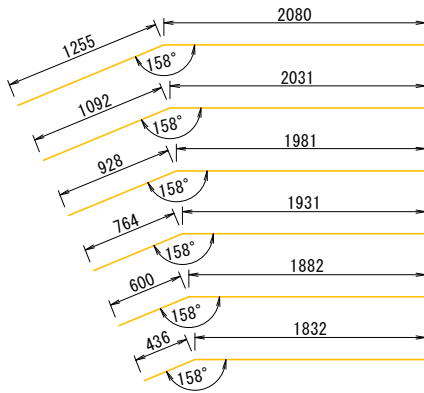
③ 9-D13×1660



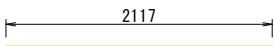
④ 2-D13×1664



⑤ 6-D13×2797(平均長)

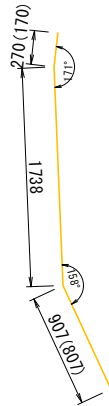


⑥ 1-D13×2117



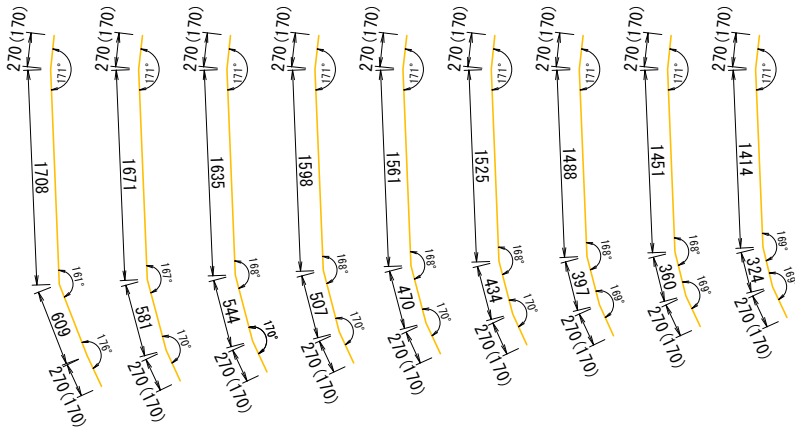
⑦ 1-D13×2915

⑧ 1-D13×2715



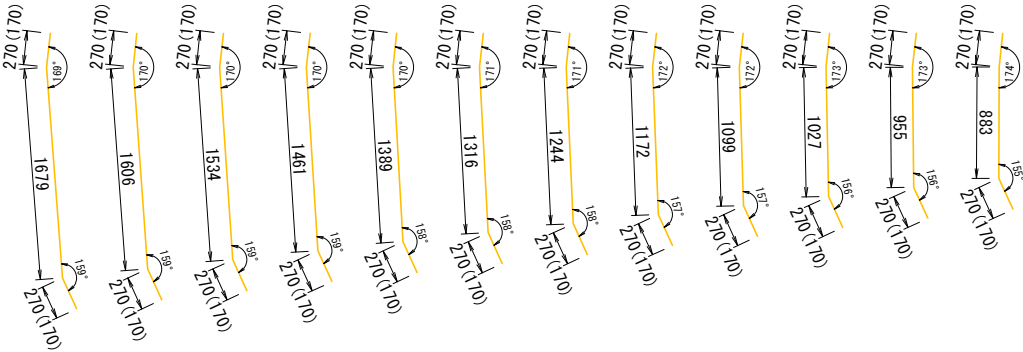
⑨ 9-D13×2570(平均長)

⑩ 9-D13×2370(平均長)



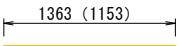
⑪ 12-D13×1820(平均長)

⑫ 12-D13×1620(平均長)

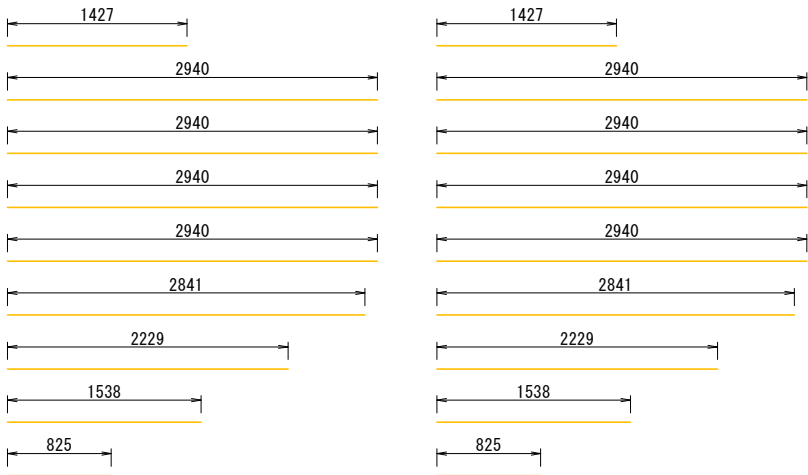


⑬ 1-D13×1363

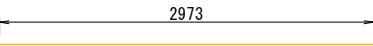
⑭ 1-D13×1153



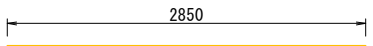
⑮ 18-D13×2290(平均長)



⑯ 2-D13×2973



⑰ 2-D13×2850



鉄筋数量表

No.	径	本数	長さ(m)	単位質量(kg/m)	1本当りの質量(kg/本)	質量(kg)	形状	備考
①	13	5	1.090	0.995	1.085	5.423	—	平均長
②	13	1	1.697	0.995	1.689	1.689	—	
③	13	9	1.660	0.995	1.652	14.865	—	
④	13	2	1.664	0.995	1.656	3.311	—	
⑤	13	6	2.797	0.995	2.783	16.698	—	平均長
⑥	13	1	2.117	0.995	2.106	2.106	—	
⑦	13	1	2.915	0.995	2.900	2.900	—	
⑧	13	1	2.715	0.995	2.701	2.701	—	
⑨	13	9	2.570	0.995	2.557	23.014	—	平均長
⑩	13	9	2.370	0.995	2.358	21.223	—	平均長
⑪	13	12	1.820	0.995	1.811	21.731	—	平均長
⑫	13	12	1.620	0.995	1.612	19.343	—	平均長
⑬	13	1	1.363	0.995	1.356	1.356	—	
⑭	13	1	1.153	0.995	1.147	1.147	—	
⑮	13	18	2.290	0.995	2.279	41.014	—	平均長
⑯	13	2	2.973	0.995	2.958	5.916	—	
⑰	13	2	2.850	0.995	2.836	5.672	—	

D13 = 190.1 kg

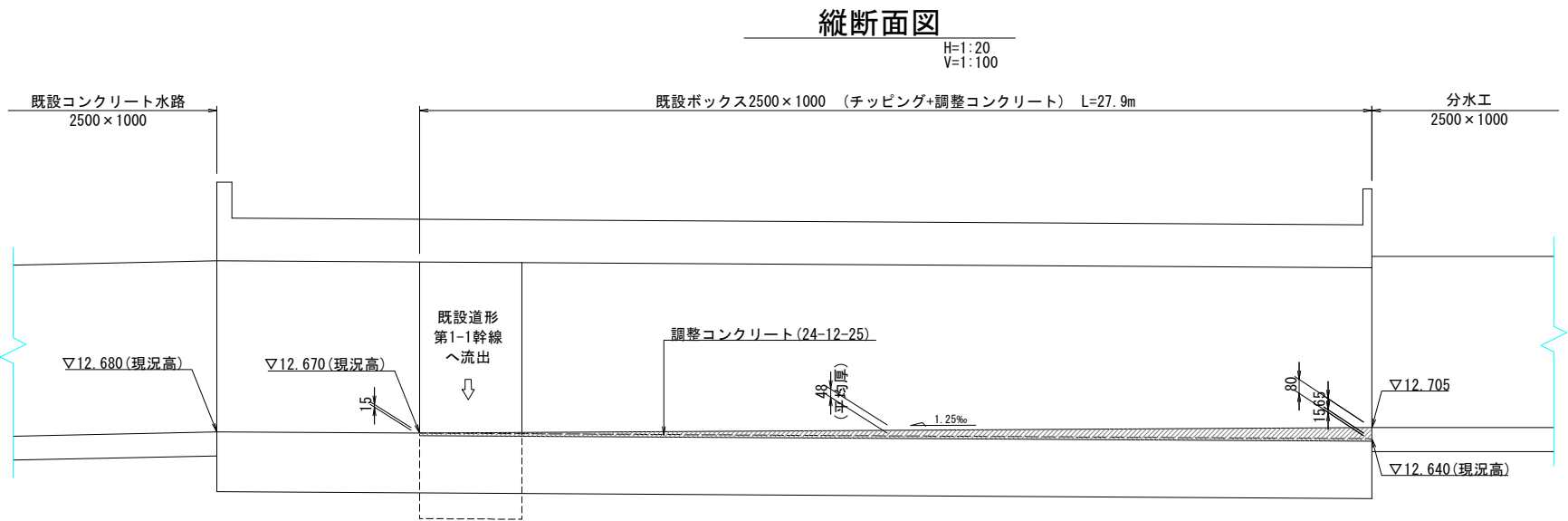
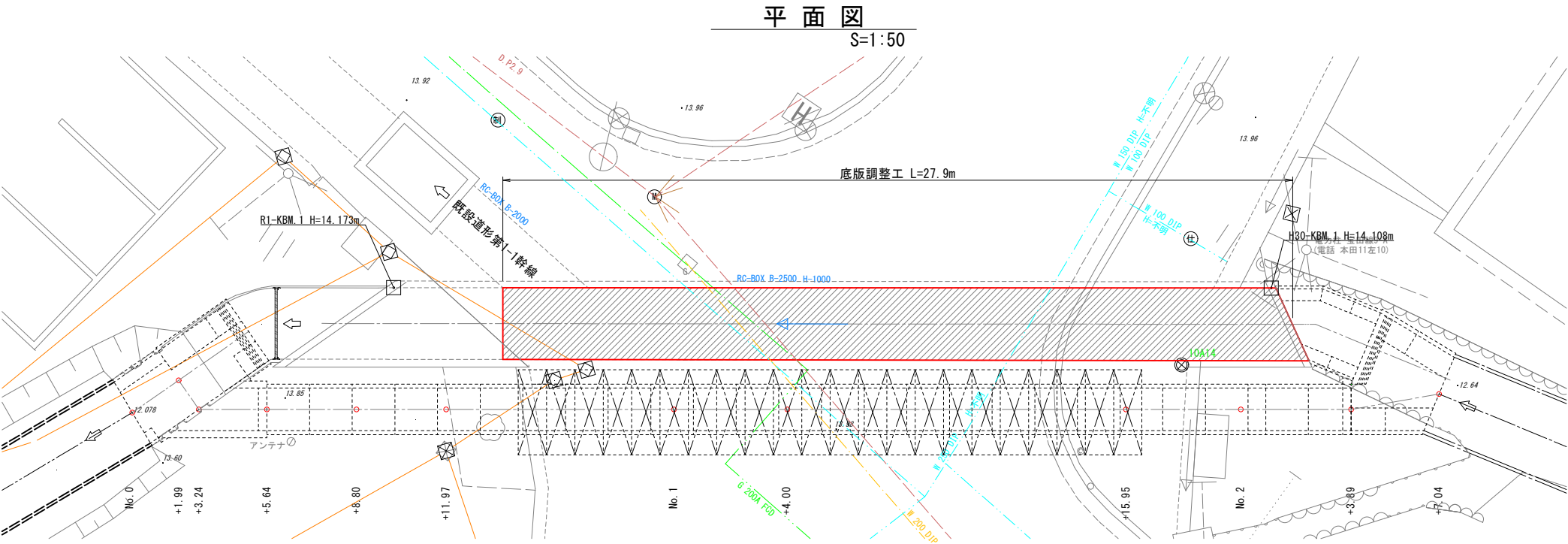
合計質量 = 190.1 kg

※ 寸法値は設計値であり実寸法とは異なる場合がある為、施工にあたっては現場測量を行い実寸法を確認して寸法値を決定すること。

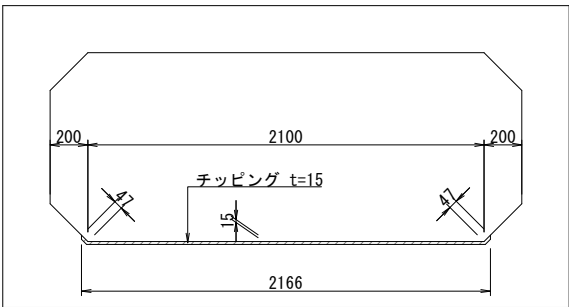
実施

令和 8 年度		図 番	19 葉 10
路線名称又は河川名		雨水道形第1排水区	
工事名		鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事	
位 置		鶴岡市宝田一丁目地内	
分水工底版配筋図(2) 2 葉 2			
縮 尺		S=1:30	鶴 岡 市

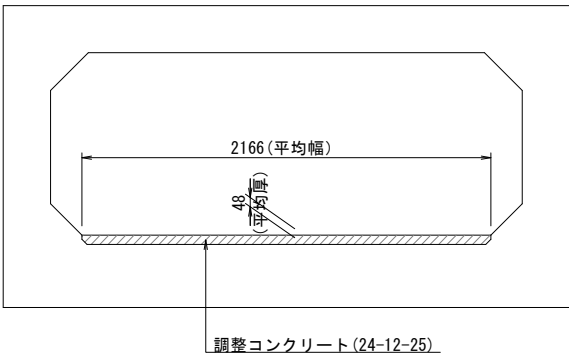
既設ボックス底版調整計画図



断面図 縮尺 1:20
(チップング)



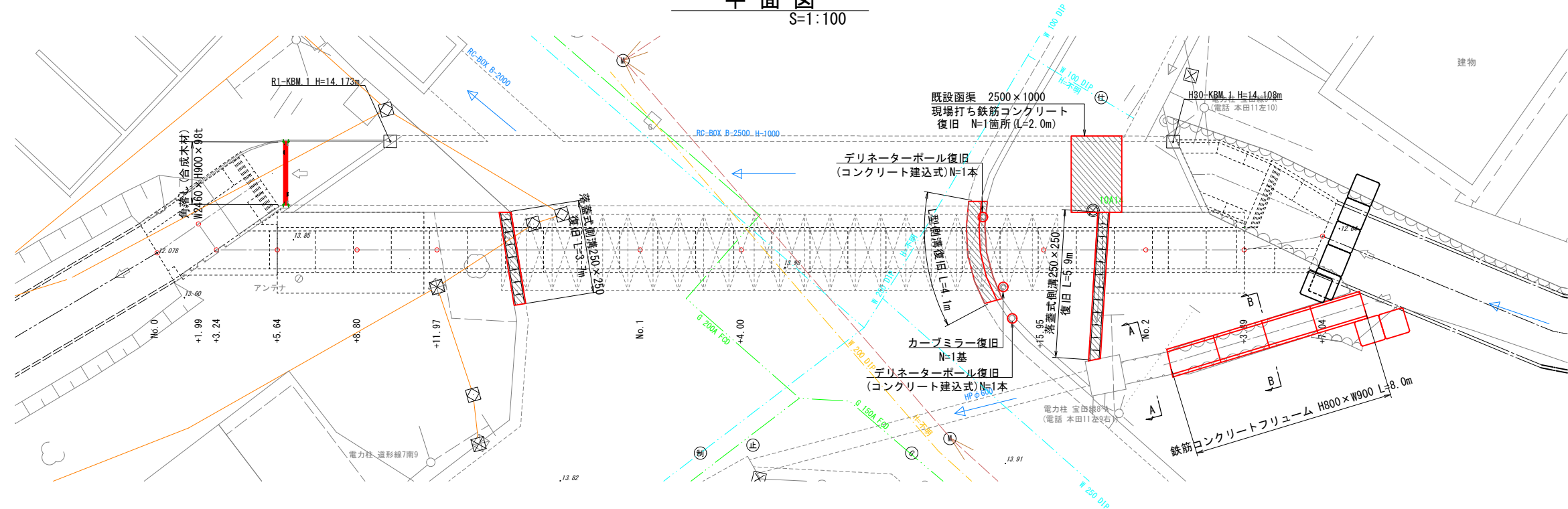
断面図 縮尺 1:20
(調整コンクリート)



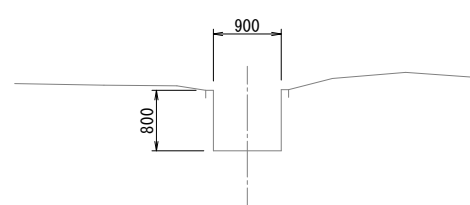
実 施				
令 和	8	年 度	図 番	19 葉 11
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区			
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事			
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内			
既設ボックス底版調整計画図 1 葉 1				
縮 尺	S=1:50		鶴 岡 市	

構造物復旧工及び付帯工計画図

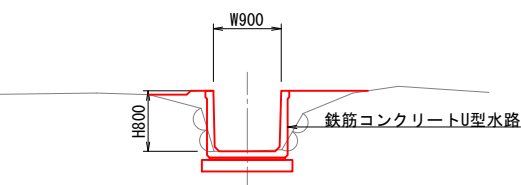
平面图
S=1:100



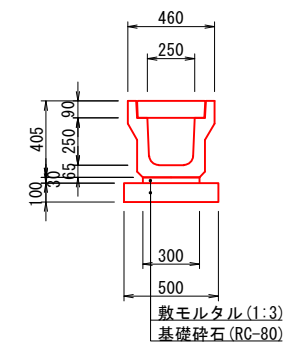
鉄筋コンクリートフリューム
S=1:20



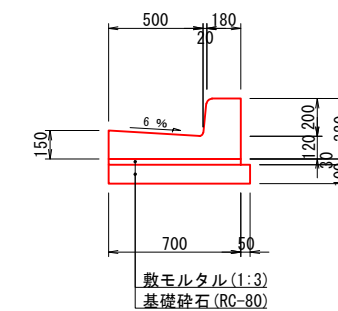
B-B 断面図
S=1:50



落ち蓋式側溝250×250
(現場発生品再利用) S=1:20



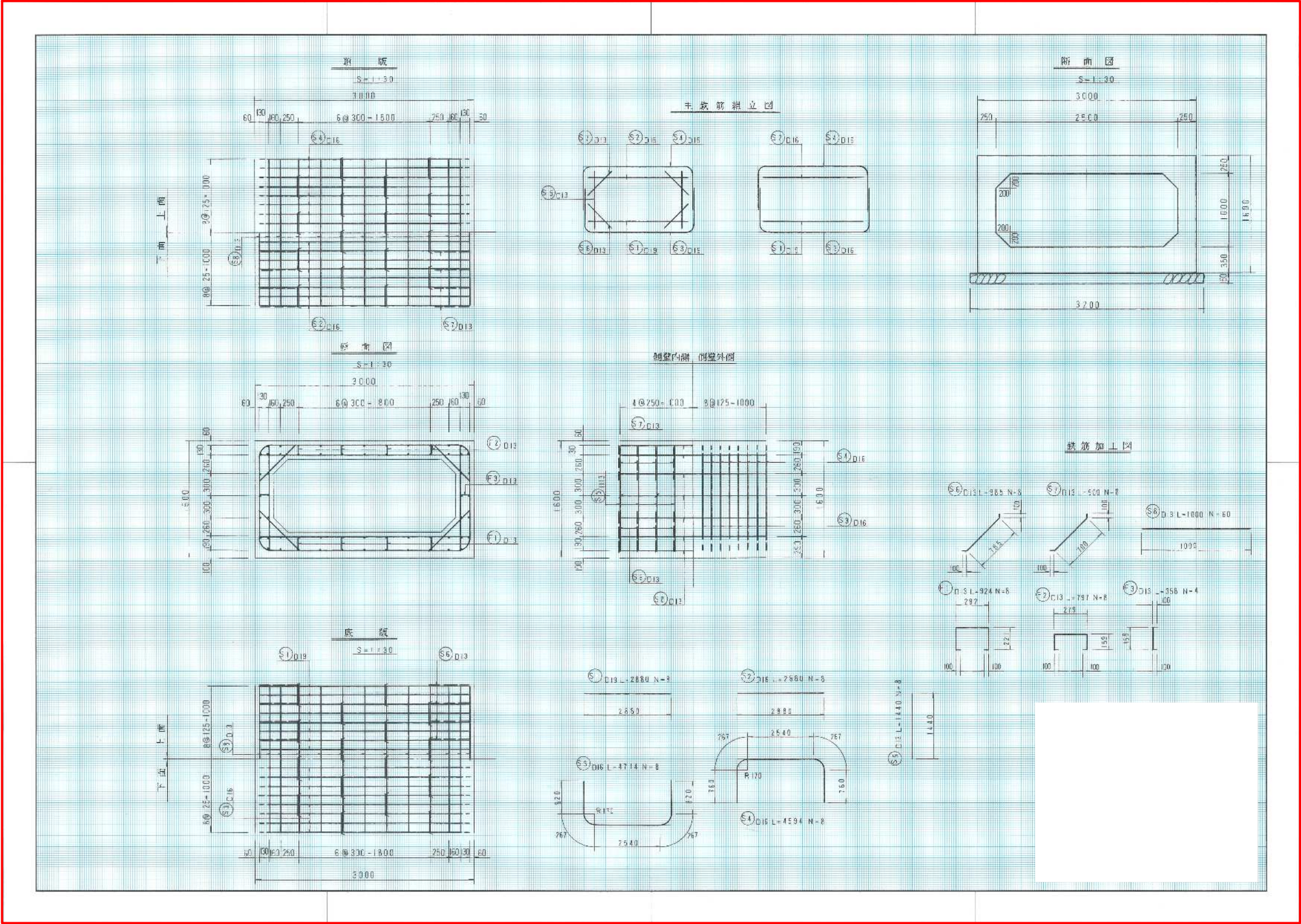
L 型 側 溝
(現場発生品再利用) S=1:20



实施

令 和	8 年 度	図 番	19 葉 12
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区		
工 事 名	鶴岡市公共有下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事		
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内		
構造物復旧及び付帯工計画図 1 葉 1			
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

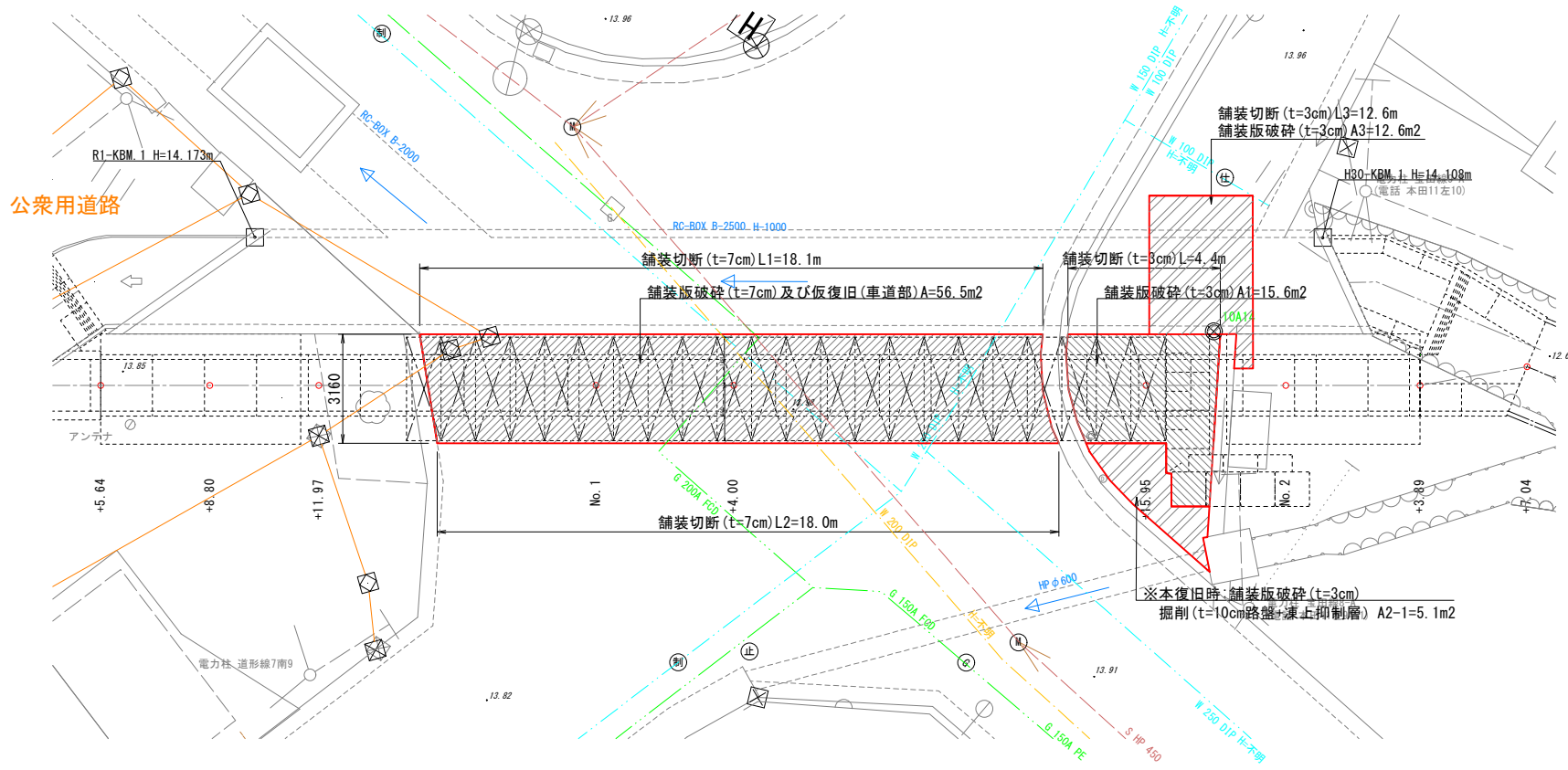
既設函渠復旧構造図



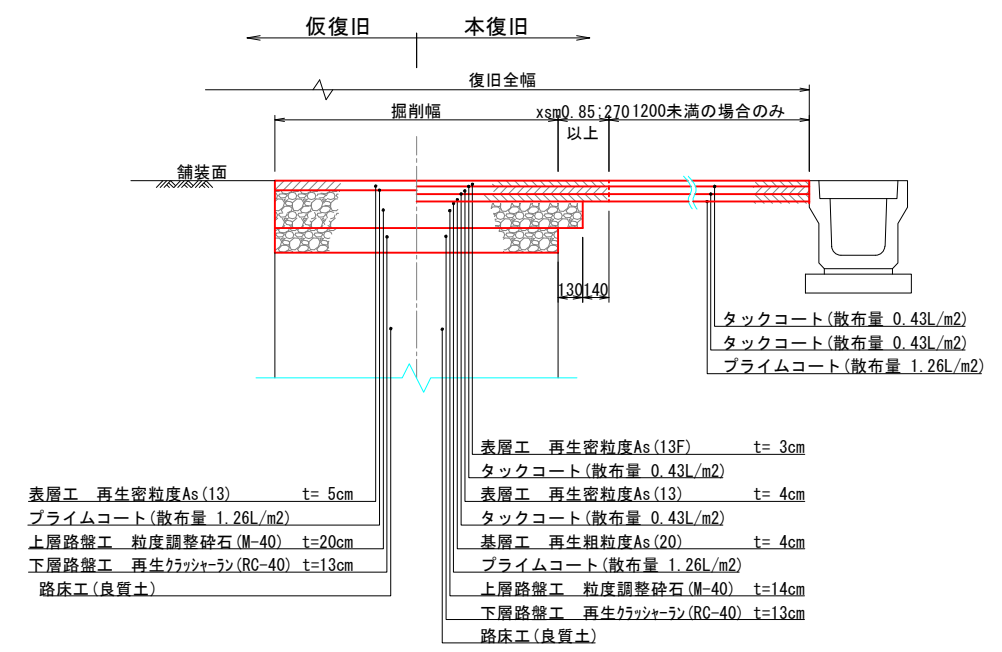
実 施				
令 和	8	年 度	図 番	19 葉 13
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区			
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事			
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内			
既設函渠復旧構造図				1 葉 1
縮 尺	図 示		鶴 岡 市	

舗装取壊し及び復旧計画図

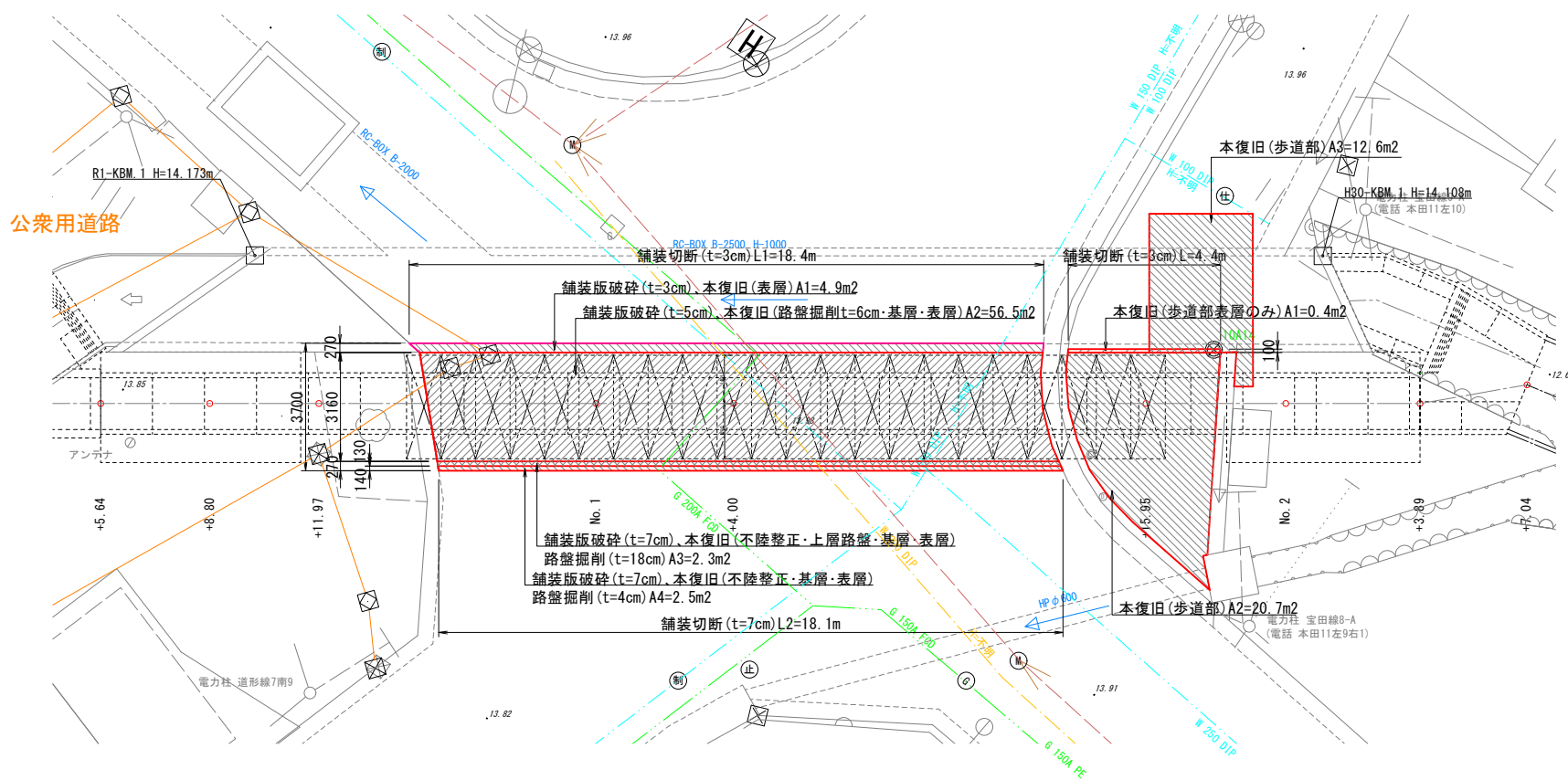
平面図
(掘削時) S=1:100



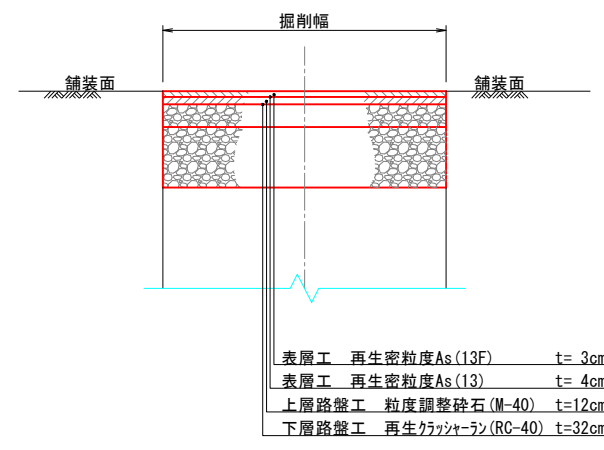
舗装復旧標準断面図
S=1:20
車道部(N4交通):代替



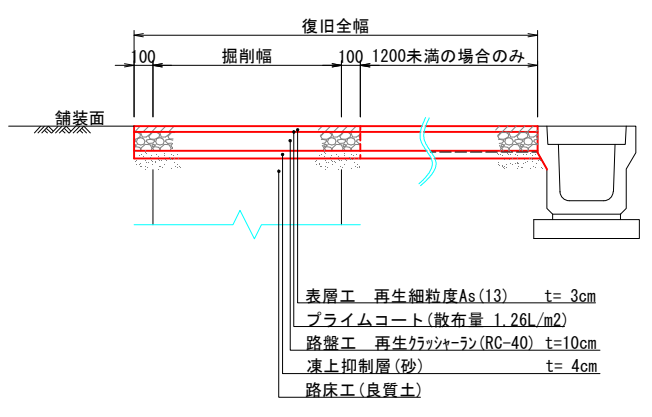
平面図
(本復旧時) S=1:100



車道部(N4交通):現況



歩道部

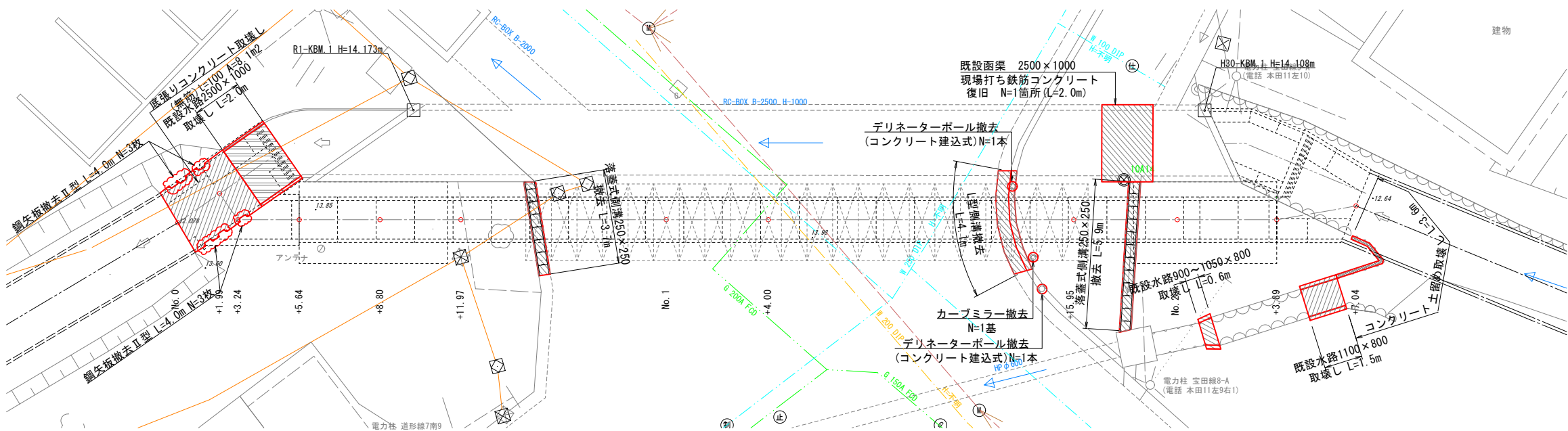


実 施				
令 和	8	年 度	図 番	19 葉 14
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区			
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事			
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内			
舗装取壊し及び復旧計画図				1 葉 1
縮 尺		図 示		
		鶴 岡 市		

構造物撤去計画図

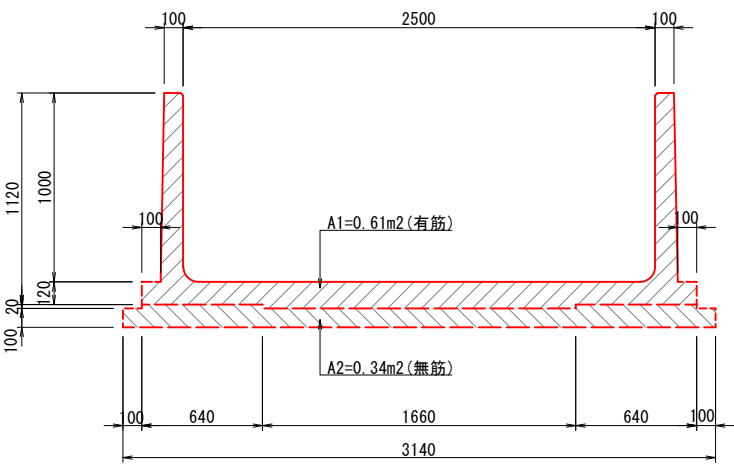
平面図

S=1:100



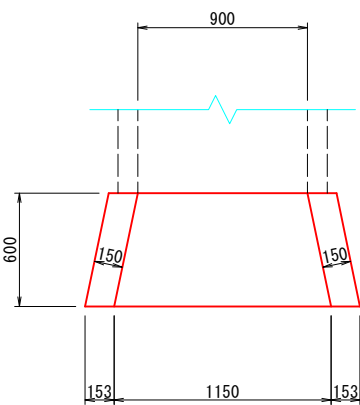
既設水路2500×1000

S=1:20



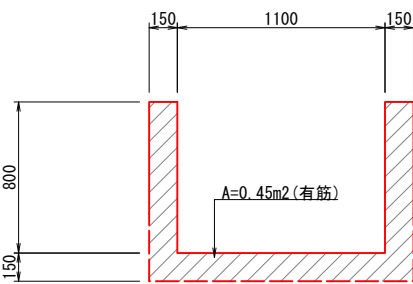
既設水路900～1050×800

S=1:20



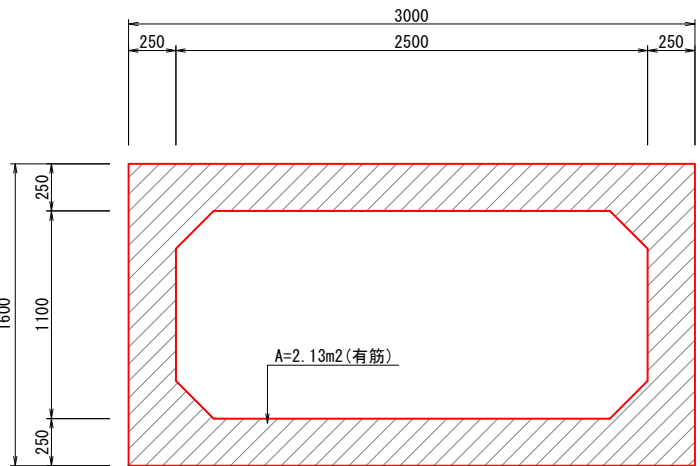
既設水路1100×800

S=1:20



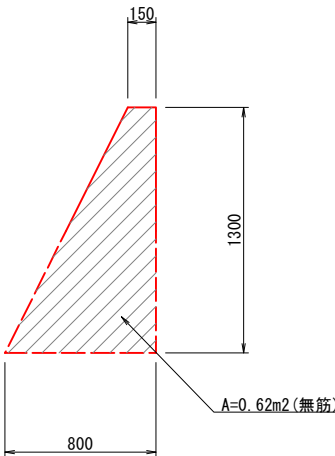
既設函渠2500×1000

S=1:20



コンクリート土留め

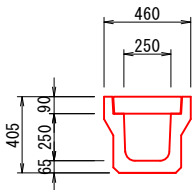
S=1:20



落ち蓋式側溝250×250

(再利用)

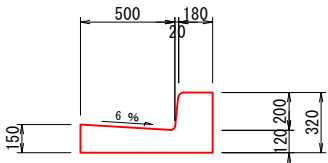
S=1:20



L型側溝

(再利用)

S=1:20



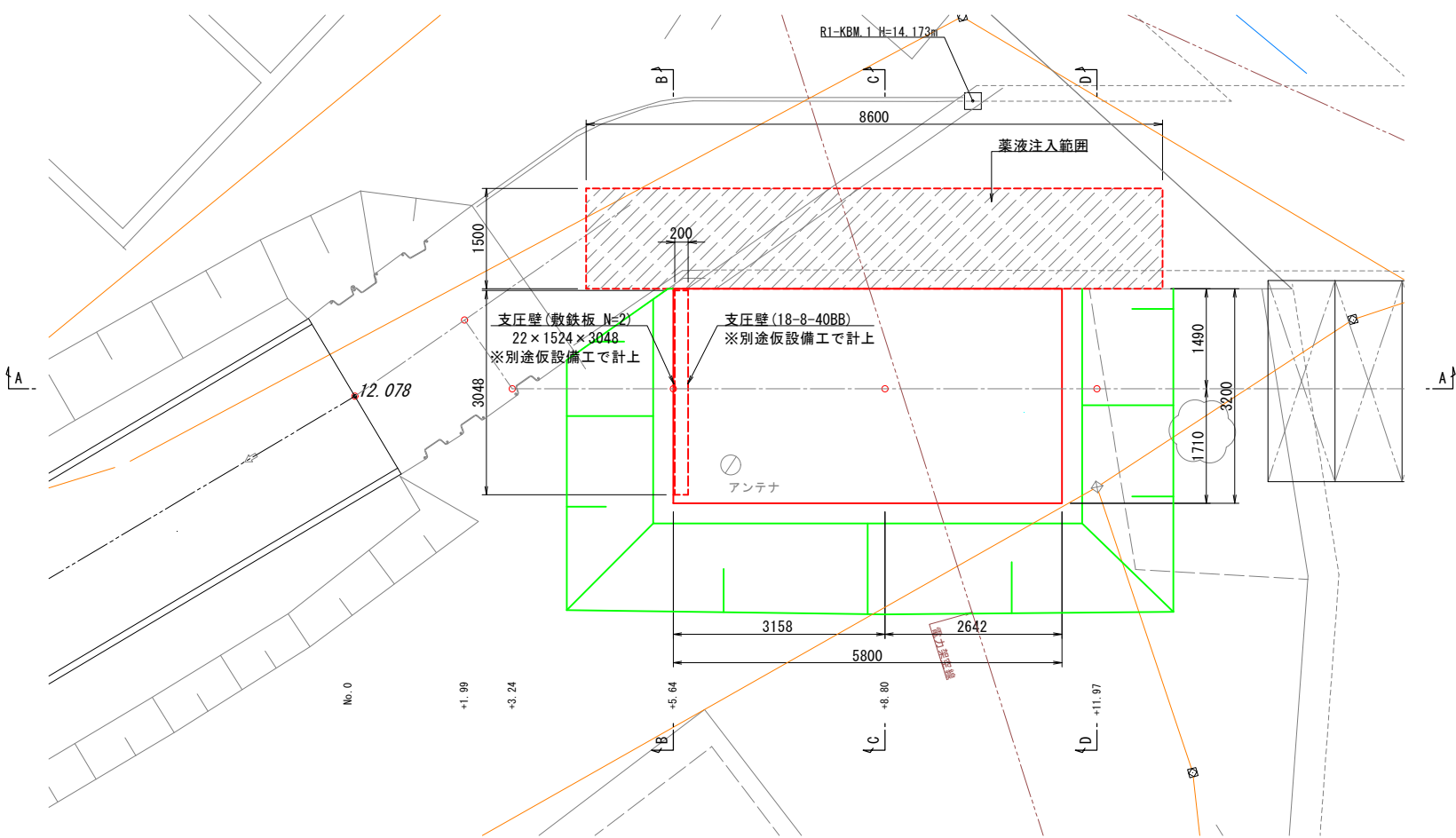
実施

令和 8 年度 図番	19 葉 15
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
構造物撤去計画図 1 葉 1	
縮尺図示	鶴岡市

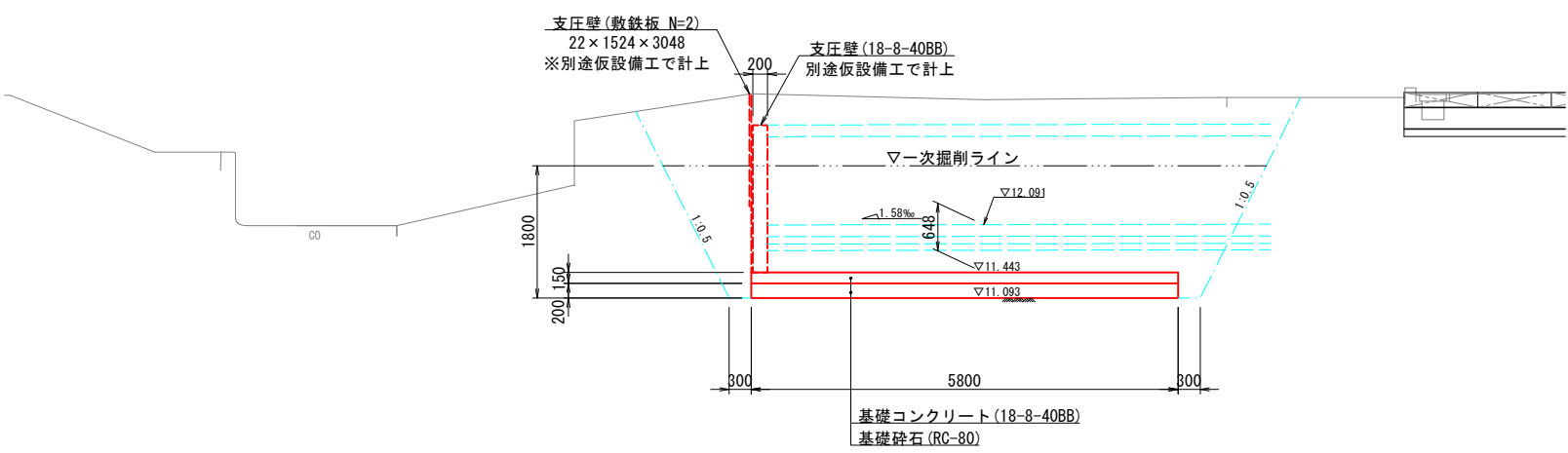
発進立坑構造図

S=1:50

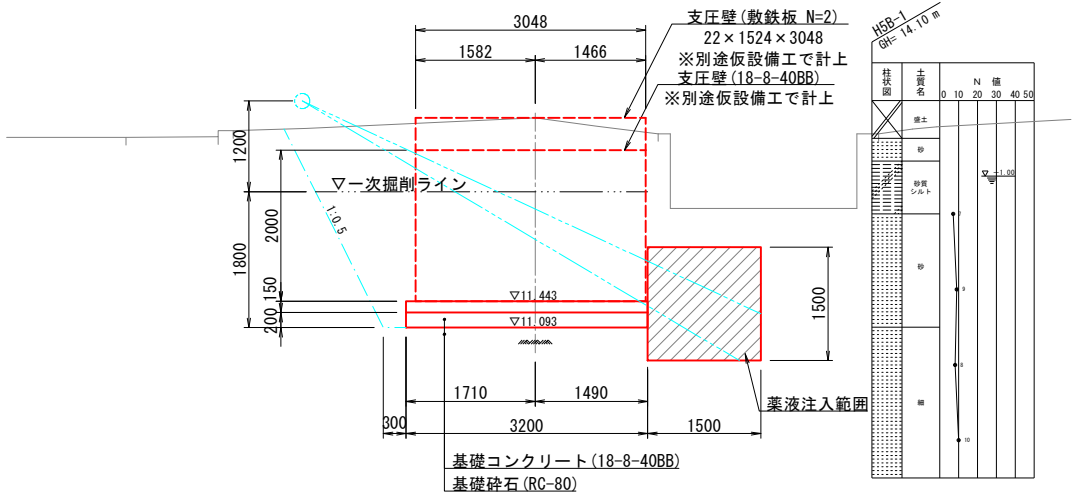
平面図



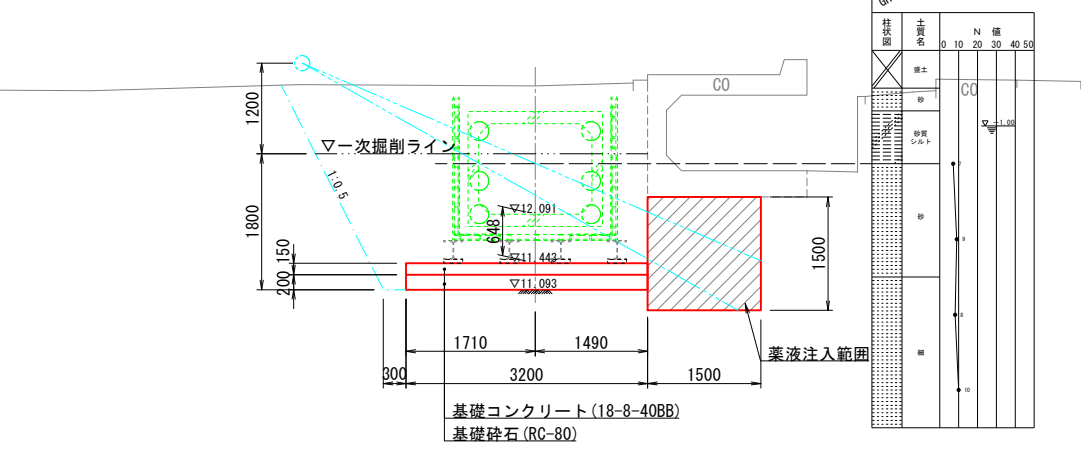
A-A断面図



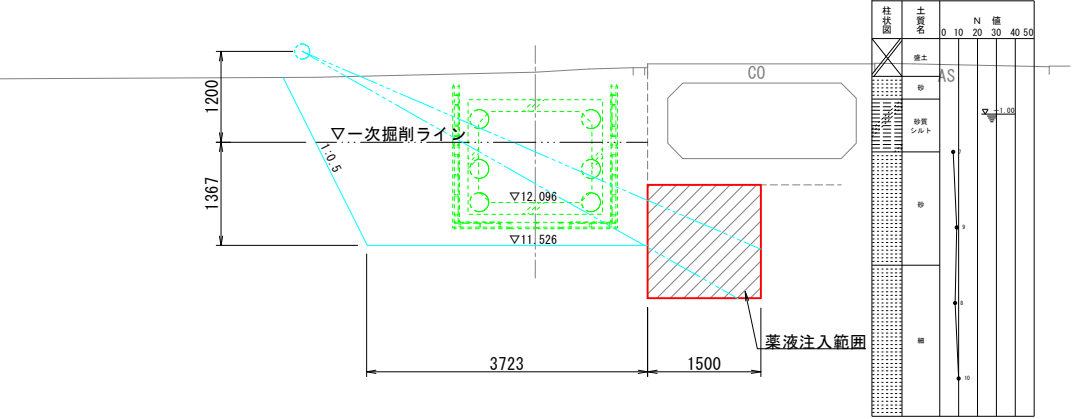
B-B断面図



C-C断面図



D-D断面図



令和 8 年度 図 番	19 葉 16
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
発進立坑構造図 1 葉 1	
縮 尺	S=1:50 鶴 岡 市

S=1:50

Technical drawing of a foundation cross-section. The drawing shows a rectangular foundation with a width of 6000mm and a height of 1100mm. The foundation is made of concrete (基礎コンクリート) and is surrounded by gravel (基礎砕石). The drawing includes various dimensions and elevations: a total width of 6000mm, a height of 1100mm, and a depth of 300mm. The foundation is labeled "基礎コンクリート (18-8-40BB)" and "基礎砕石 (RC-80)". The drawing also shows a cross-section of the foundation with a width of 200mm and a height of 150mm. The drawing includes a scale bar and a north arrow.

H5B-1
幅=14.10m

柱状土質名	土質名	N値	備考
砂	砂	0 10 20 30 40 50	
砂質シルト	砂質シルト		

基礎コンクリート (18-8-40BB)
基礎砕石 (RC-80)

仮排水管φ600

1:0.5

▽112.146

▽111.392

1:0.5

大型土のう

3000

1710 1490

3200

基礎コンクリート (18-8-40BB)

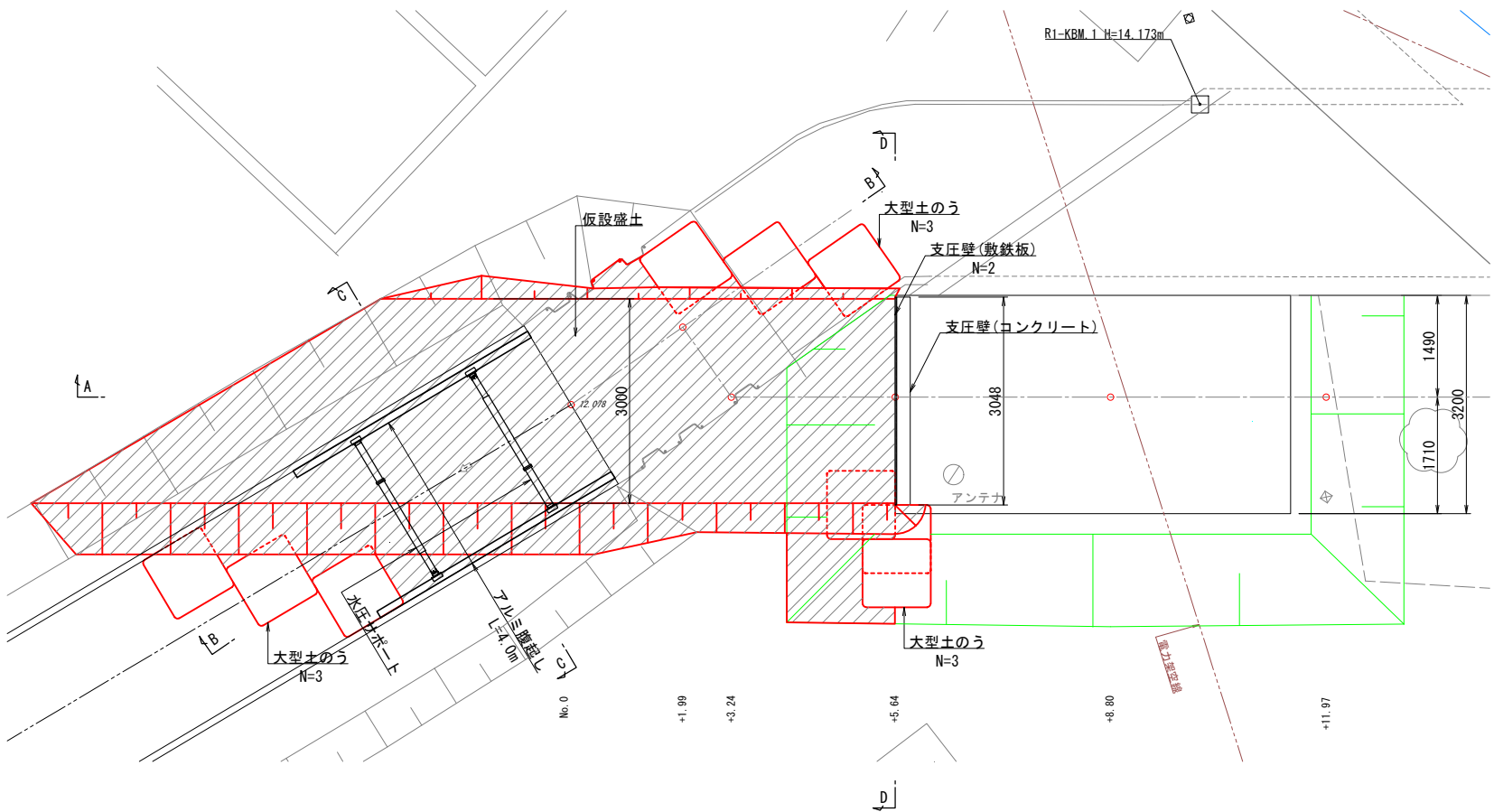
基礎砕石 (RC-80)

令 和	8	年 度	図 番	19 葉 17
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区			
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事			
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内			
到達立坑構造図				1 葉 1
縮 尺	S=1:50		鶴 岡 市	

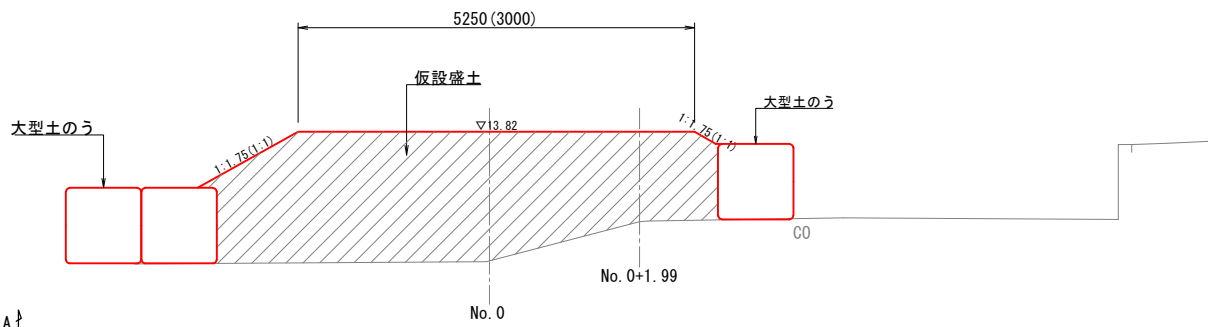
発進立坑仮設盛土計画図

S=1:50

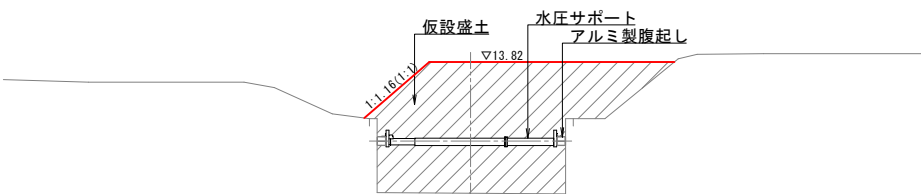
平面図



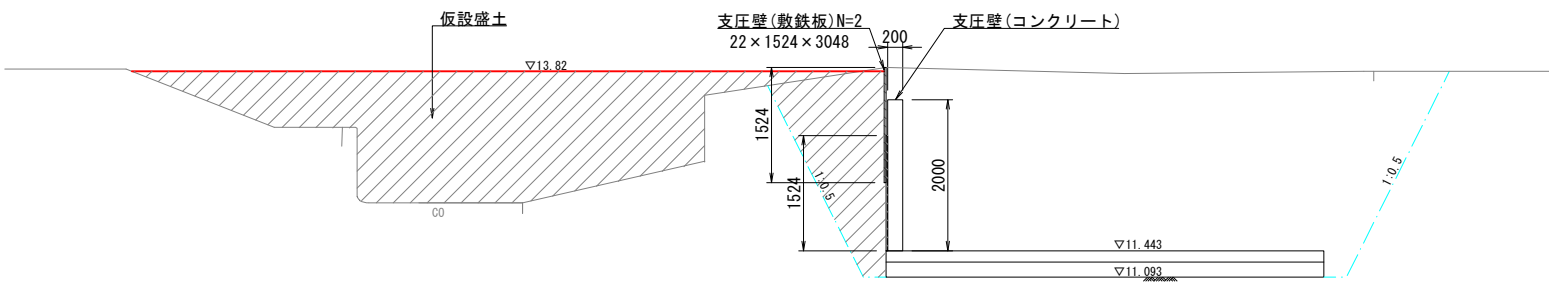
B-B断面図



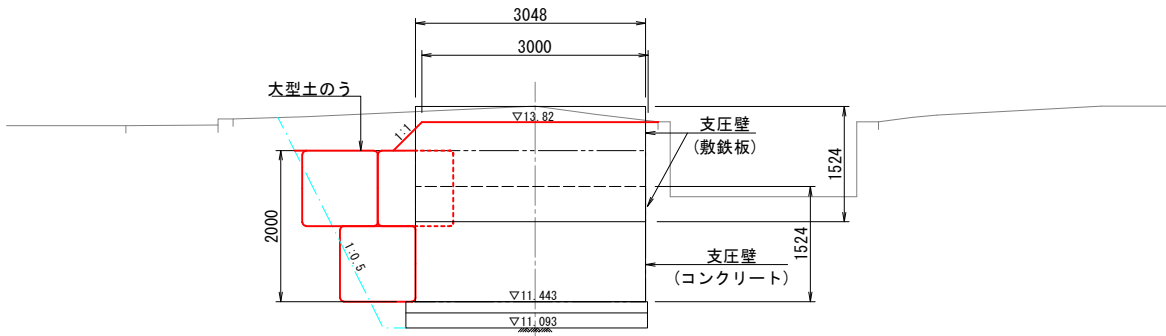
C-C断面図



A-A断面図



D-D断面図



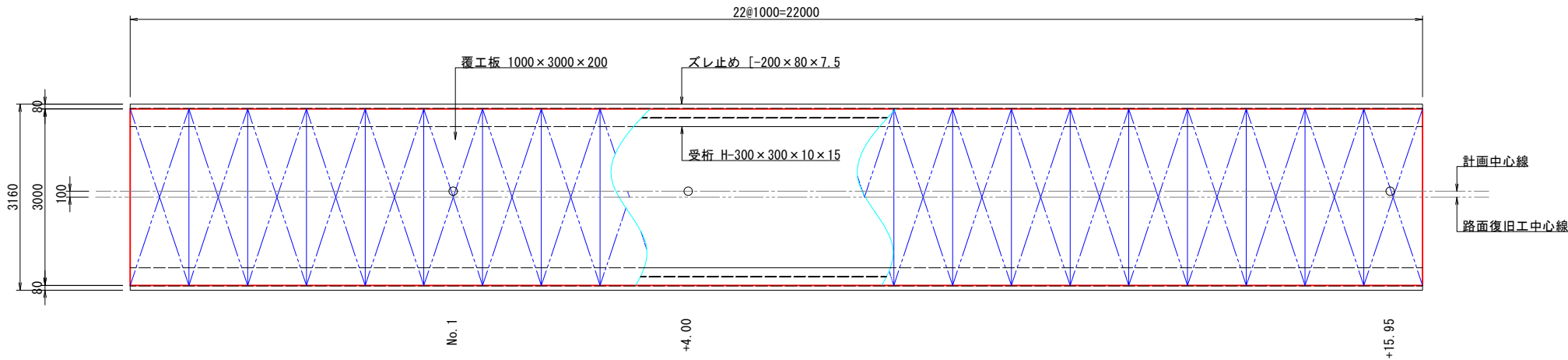
実施

令和 8 年度 図 番	19 葉 18
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
発進立坑仮設盛土計画図 1 葉 1	
縮 尺	S=1:50 鶴 岡 市

路面覆工構造図

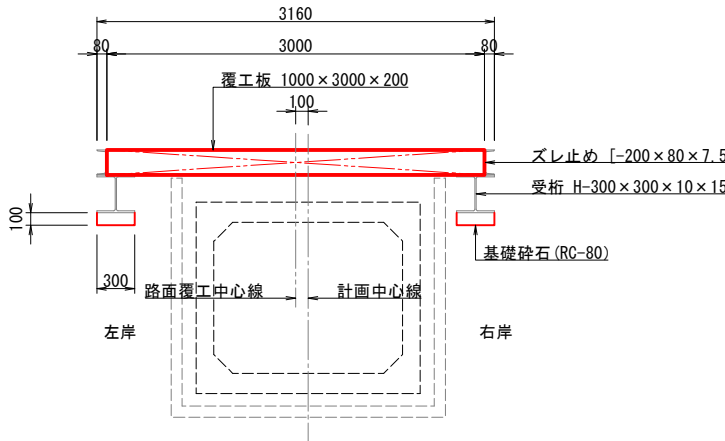
平面図

S=1:50



断面図

S=1:30



実施

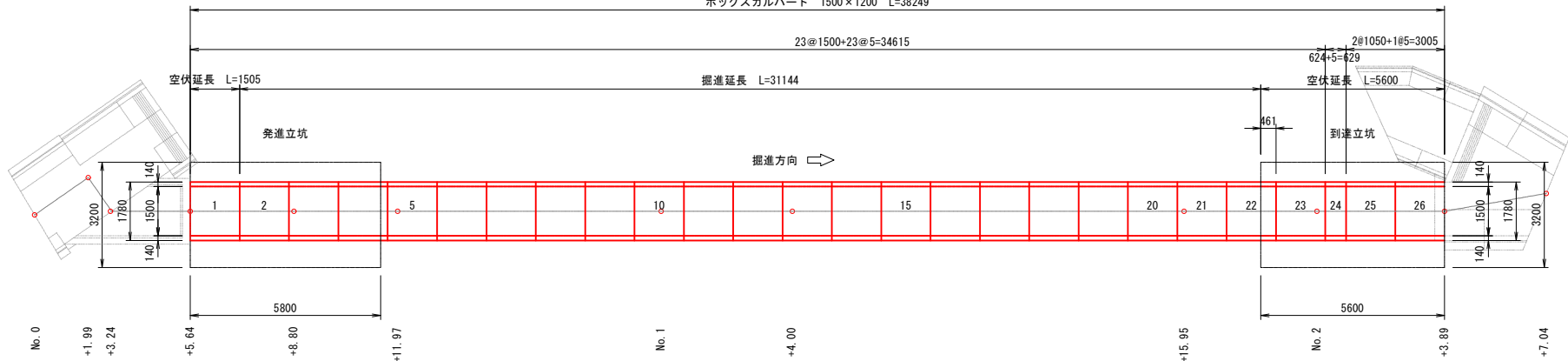
令和8年度	図番	19 葉 19
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区	
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
路面覆工構造図		1 葉 1
縮尺図示	鶴岡市	

ボックスカルバート割付図
(参考図)

平面図

S=1:100

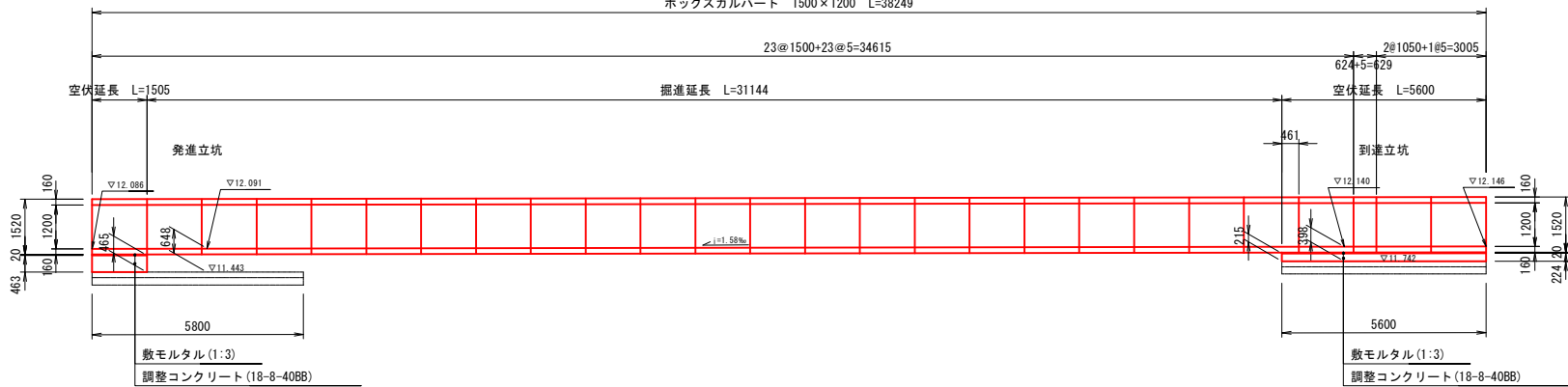
ボックスカルバート 1500×1200 L=38249



縦断面図

S=1:100

ボックスカルバート 1500×1200 L=38249

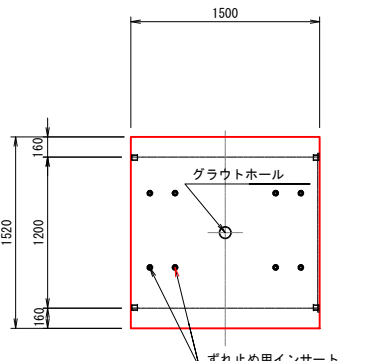
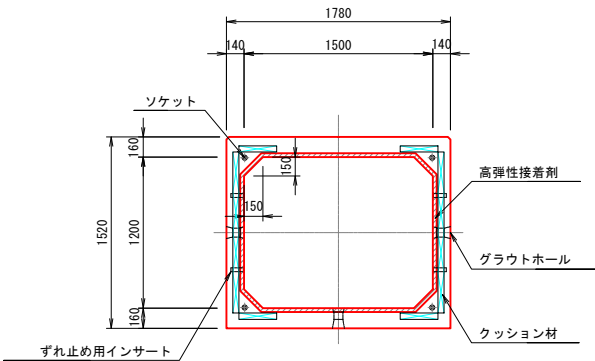


ボックス標準断面図

(オープンシールド工法用) S=1:30

〔断面図〕

〔側面図〕

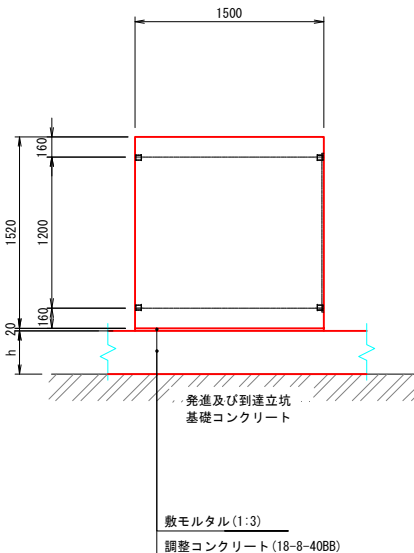
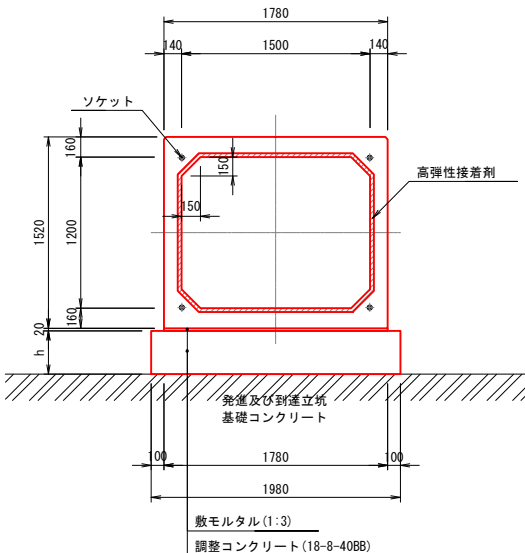


ボックス標準断面図

(空伏工用) S=1:30

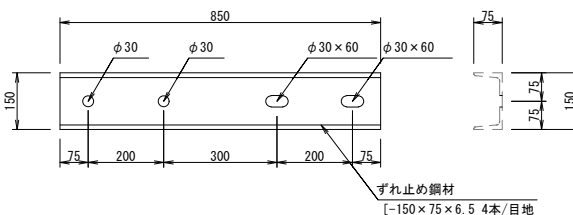
〔断面図〕

〔側面図〕



ずれ止め鋼材 参考図

S=1:10



(参考図)

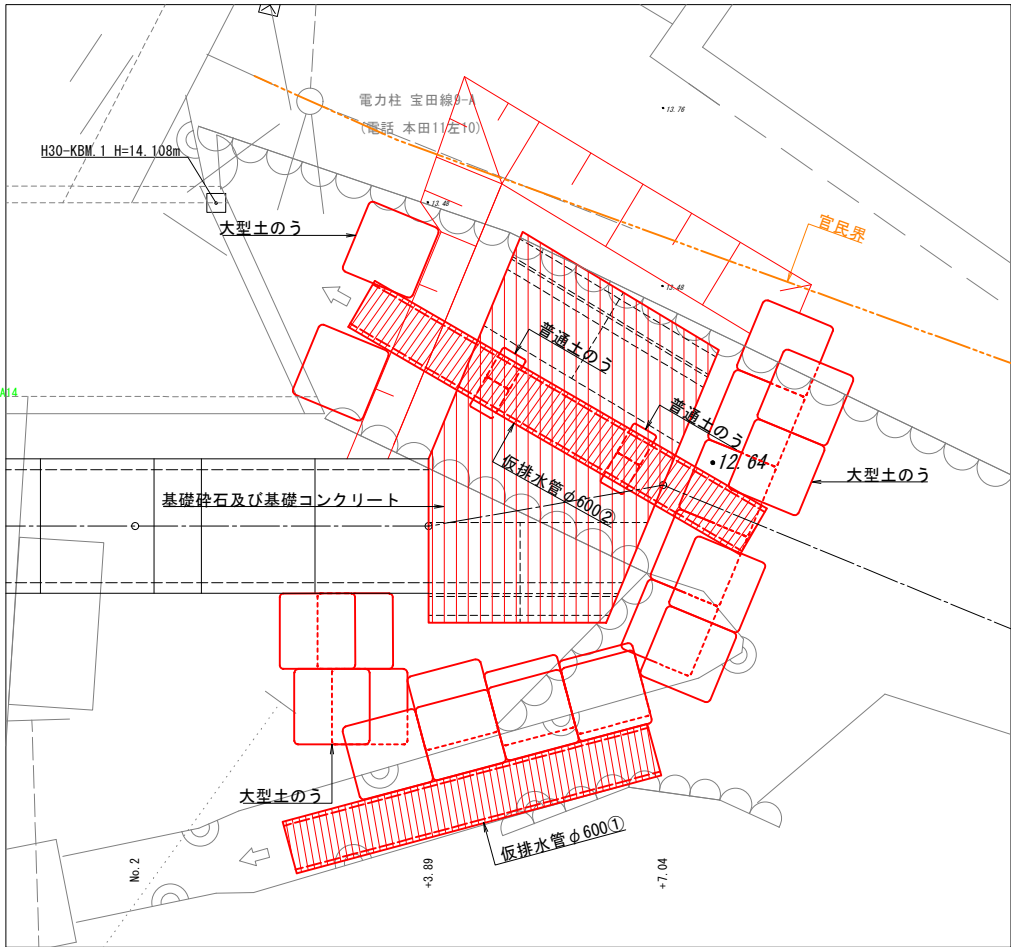
令和 8 年度 図 番	8 葉 1
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
ボックスカルバート割付図 1 葉 1	
縮 尺	S=1:50 鶴 岡 市

分水工施工ステップ参考図

S=1:50

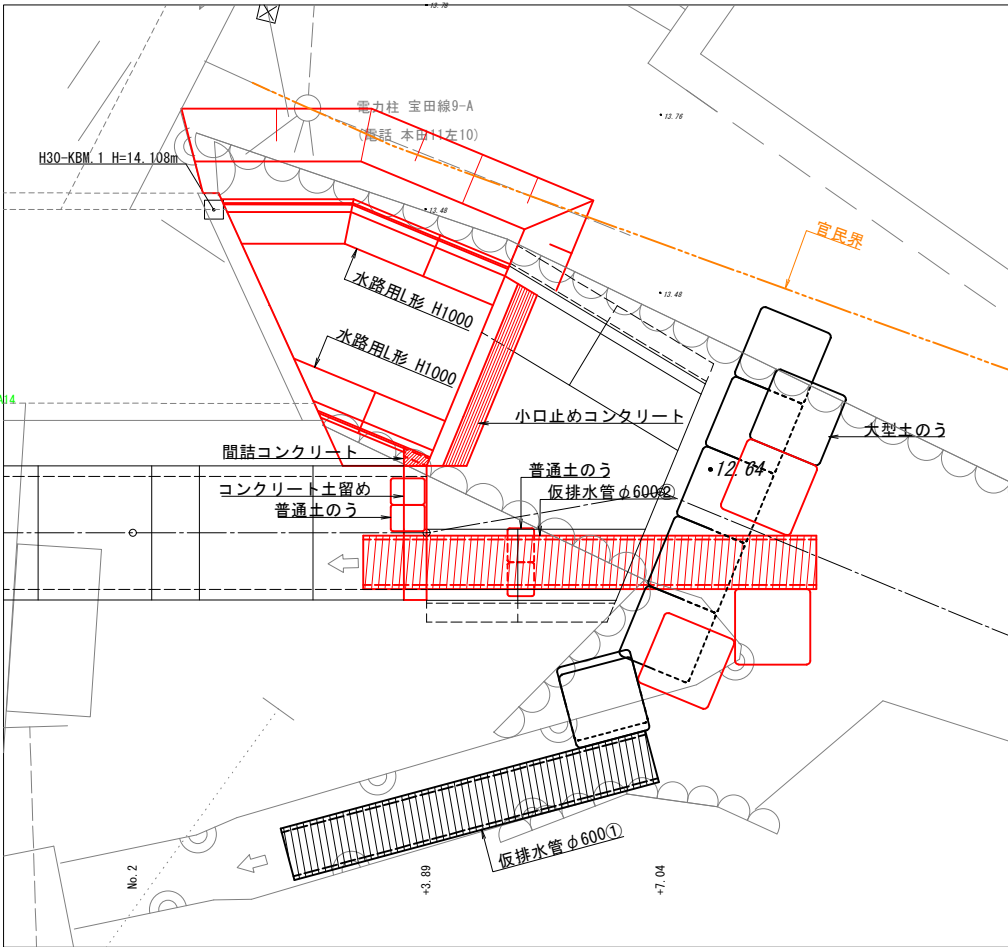
ステップⅠ

- 1. 到達立坑築造時に設置した仮排水管①をそのままに上流既設水路を大型土のうで締切る。
- 2. 既設水路と既設ボックス2500×1000との間に仮排水管②を設置する。その際、既設水路渠底と分水工床付け面には90cm程度の段差が有ることから、普通土のうで台座を設ける。
- 3. 分水工の基礎砕石及び基礎コンクリートを打設する。



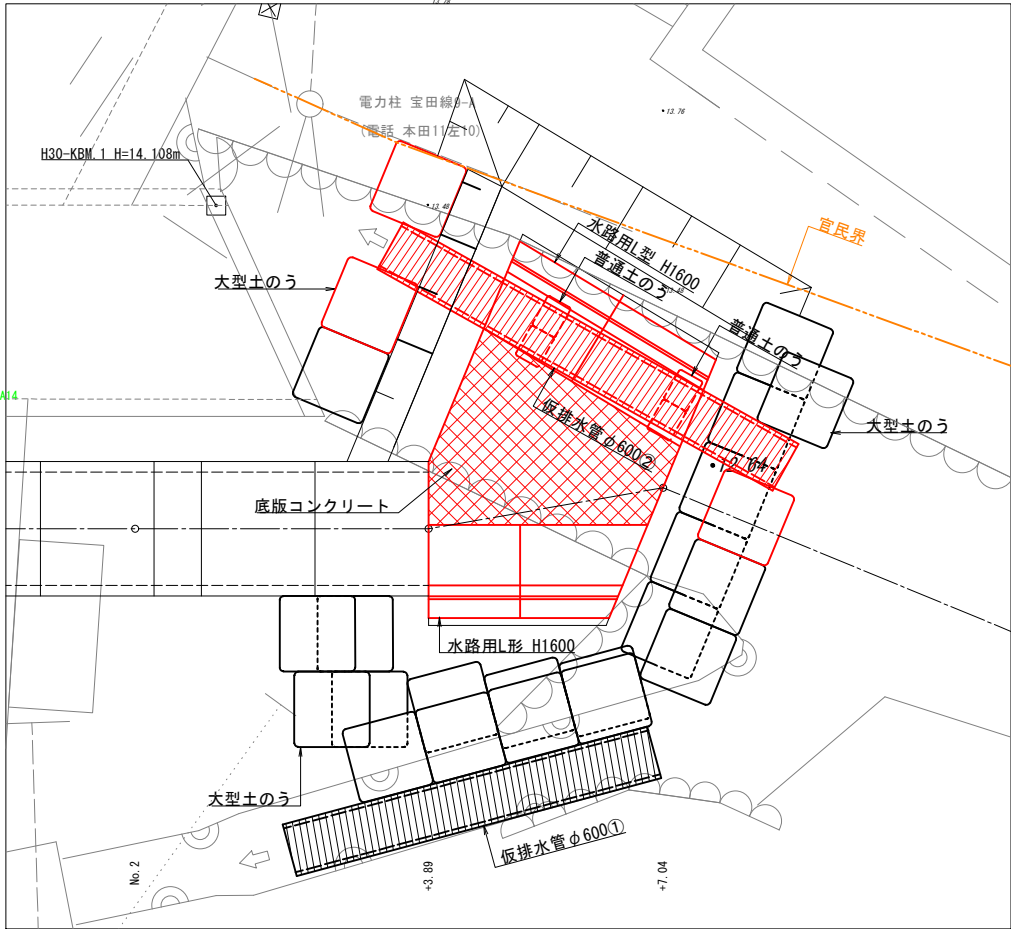
ステップⅢ

- 1. 埋戻し可能な部分を埋戻す。
 - 2. 仮排水管②を既設水路と布設済みボックス1500×1200との間に移設する。
 - 3. 水路用L形 (H1600) の底版コンクリート上に小口止めコンクリートを打設する。
 - 4. 水路用L形 (H1000) 設置個所の床掘、基礎、L形据付底版コンクリート打設を行う。
 - 5. 施工済みボックス1500×1200の頂版にコンクリート土留めを設置し、ボックスと水路用L形との隙間に間詰コンクリートを打設する。
- 注) 床掘作業にあたっては、電力(電話)柱の防護が必要と思われる。



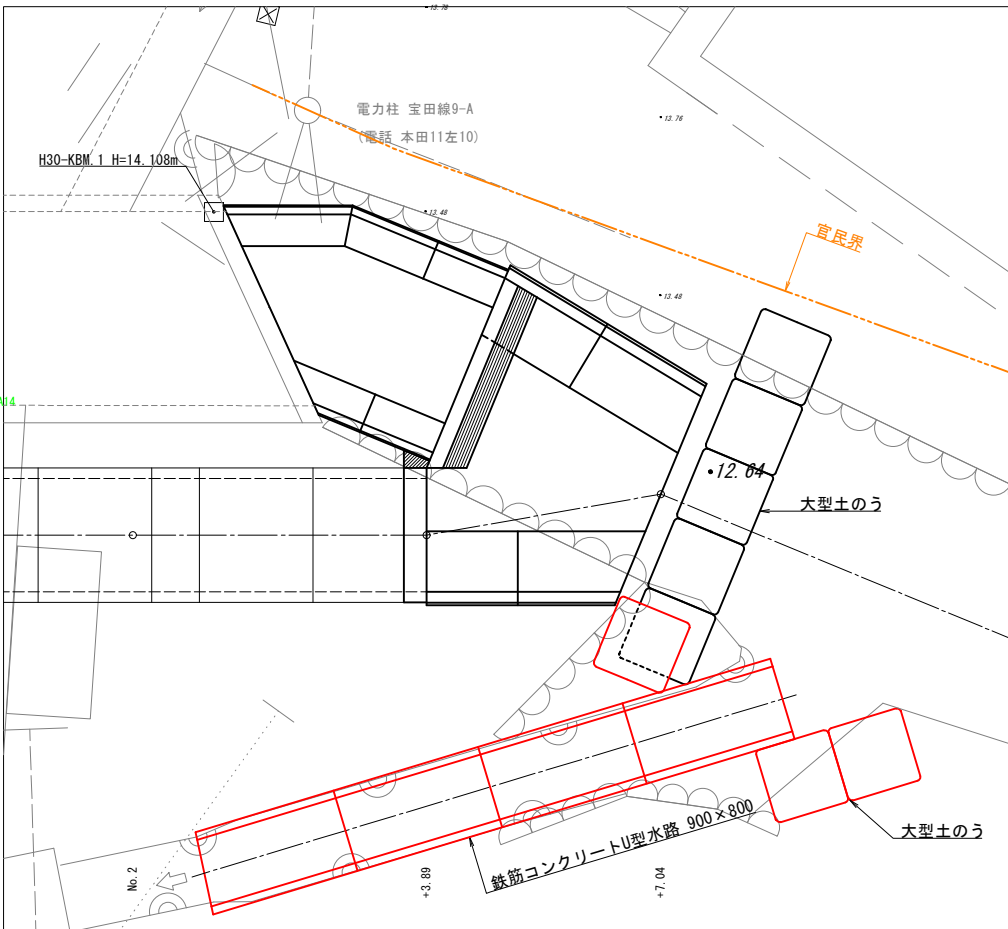
ステップⅡ

- 1. 水路用L形 (H1600) を据え付け底版上に仮排水管②を移設する。
- 2. 水路用L形の底版コンクリートを打設する。



ステップⅣ

- 1. 仮排水管①を撤去し鉄筋コンクリート水路900×800を敷設する。
 - 2. 仮排水管②及び大型土のうの一部を除き撤去する。
 - 3. 埋戻しを行う。
- 注) 分水工底版上面と上流側既設水路渠底との段差が50cm程度有ることから、上流既設水路の大型土のうについては残置する。



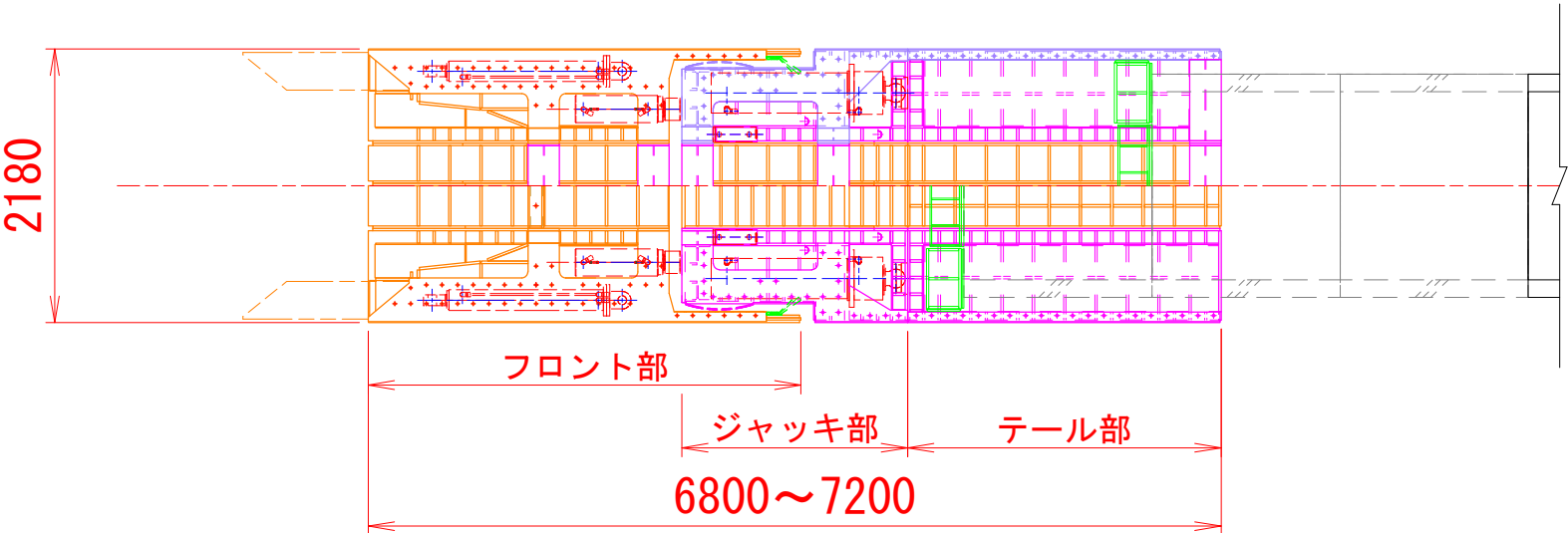
(参考図)

令和 8 年度 図 番	8 葉 2
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
分水工施工ステップ図 1 葉 1	
縮 尺	S=1:30 鶴 岡 市

オープンシールド機残体計画図(参考図)

□- 1.5×1.2×1.5(標準長) S=1:30
(NOS I 型：裏込注入タイプ)

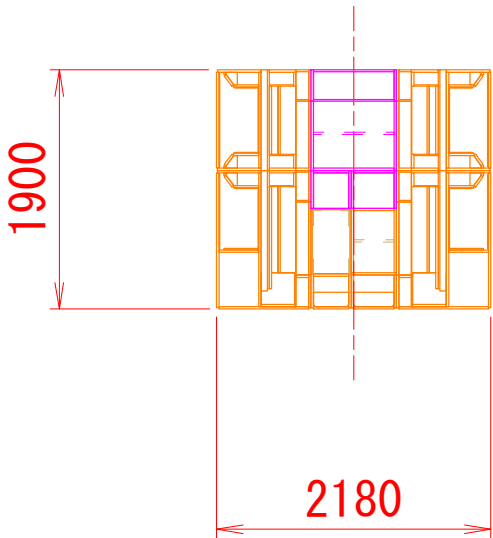
平面図



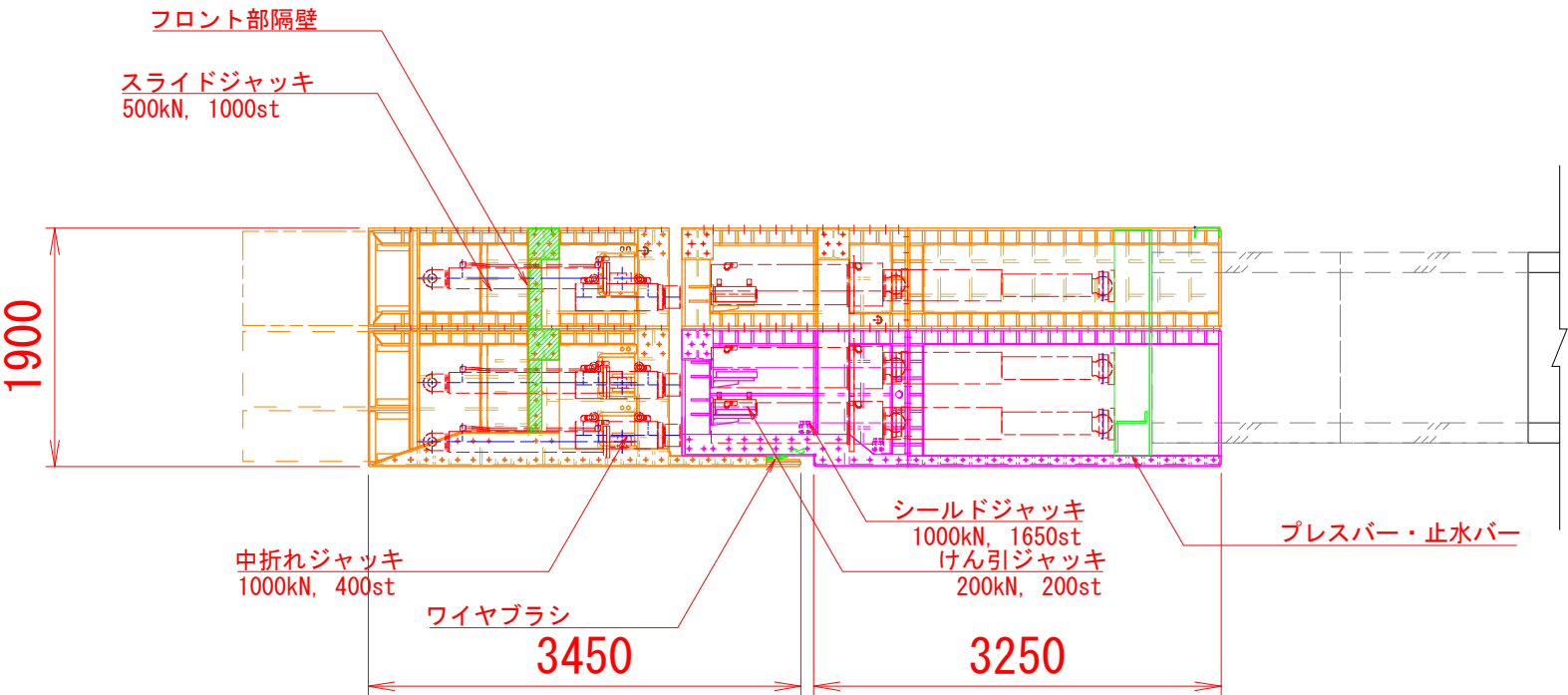
油圧機器表

名 称	仕 様	数量	備 考
シールドジャッキ	1000kN, 1650st	6台	
中折れジャッキ	1000kN, 400st	6台	
スライドジャッキ	500kN, 1000st	6台	
けん引ジャッキ	200kN, 200st	4台	
油圧ポンプ	11kW	2台	
操作盤	6S	2台	
操作盤	4S	5台	

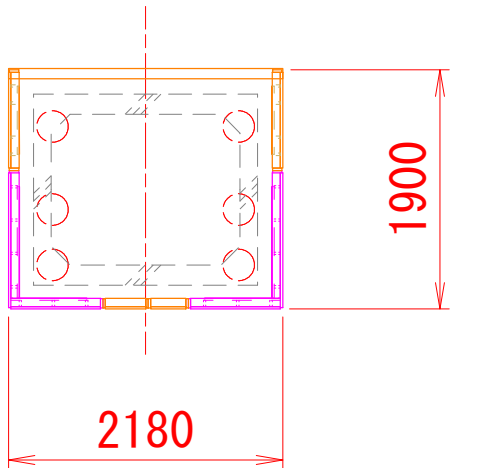
正面図
(フロント部)



側面図



背面図
(テール部)



※プレスバー高さが合わない場合は、新規準備となります。

(参考図)

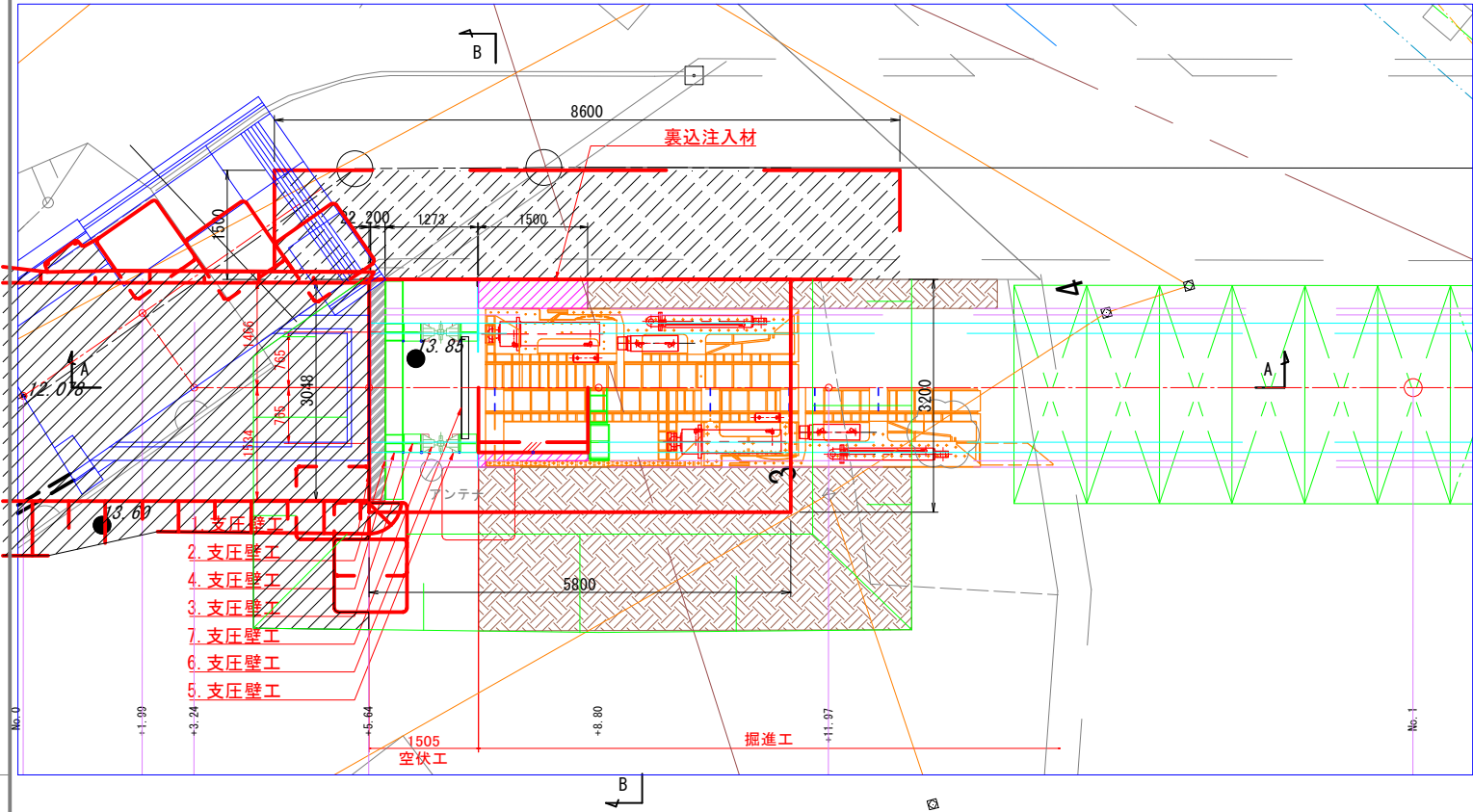
令和 8 年度 図 番	8 葉 3
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内
オープンシールド機全体計画図 1 葉 1	
縮 尺	S=1:30 鶴 岡 市

オープンシールド工法 (NOS) 発進立坑仮設備図 (参考図)

□- (B) 1500 × (H) 1200 × (L) 1500
(NOS I 型: 裏込注入タイプ)

S=1:50

平面図



仮設備鋼材表

番号	名称	規格	寸法	単位	数量	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (t)	備考	スラッグ
1	支圧壁工 (敷鉄板)	22 × 1524 × 3048	1524 × 3048	枚	2	802	802	1.604	賃料	-
2	支圧壁工 (支圧鋼材)	山留材H-250	3000	本	5	71.8	215.4	1.077	賃料	-
3	支圧壁工 (支圧鋼材)	山留材H-250	2000	本	4	71.8	143.6	0.574	賃料	-
4	支圧壁工 (スチフナー)	PL-12	121 × 222	枚	132	7.850 (kg/m ²)	2.530	0.334	全損	○
5	支圧壁工 (ブラケット)	L-100 × 100 × 10	250	本	12	14.9	3.725	0.045	全損	○
6	支圧壁工 (ブラケット)	L-100 × 100 × 10	1400	本	2	14.9	20.860	0.042	全損	○
7	支圧壁工 (支圧鋼材)	キリンジャッキ H-250用	450 ~ 600	本	6	80.0	80.0	0.480	賃料	-
1	受台工 (受台鋼材)	H-250 × 250 × 9 × 14	4200	本	4	71.8	301.56	1.206	全損	○
2	受台工 (高さ調整材)	PL-6 (t=50)	250 × 250	枚	96	7.850 (kg/m ²)	2.944	0.283	全損	○
3	受台工 (受台振れ止め鋼材)	L-100 × 100 × 10	600	本	9	14.9	8.940	0.080	全損	○
4	受台工 (ガイド鋼)	L-100 × 100 × 10	4200	本	2	14.9	62.580	0.125	全損	○

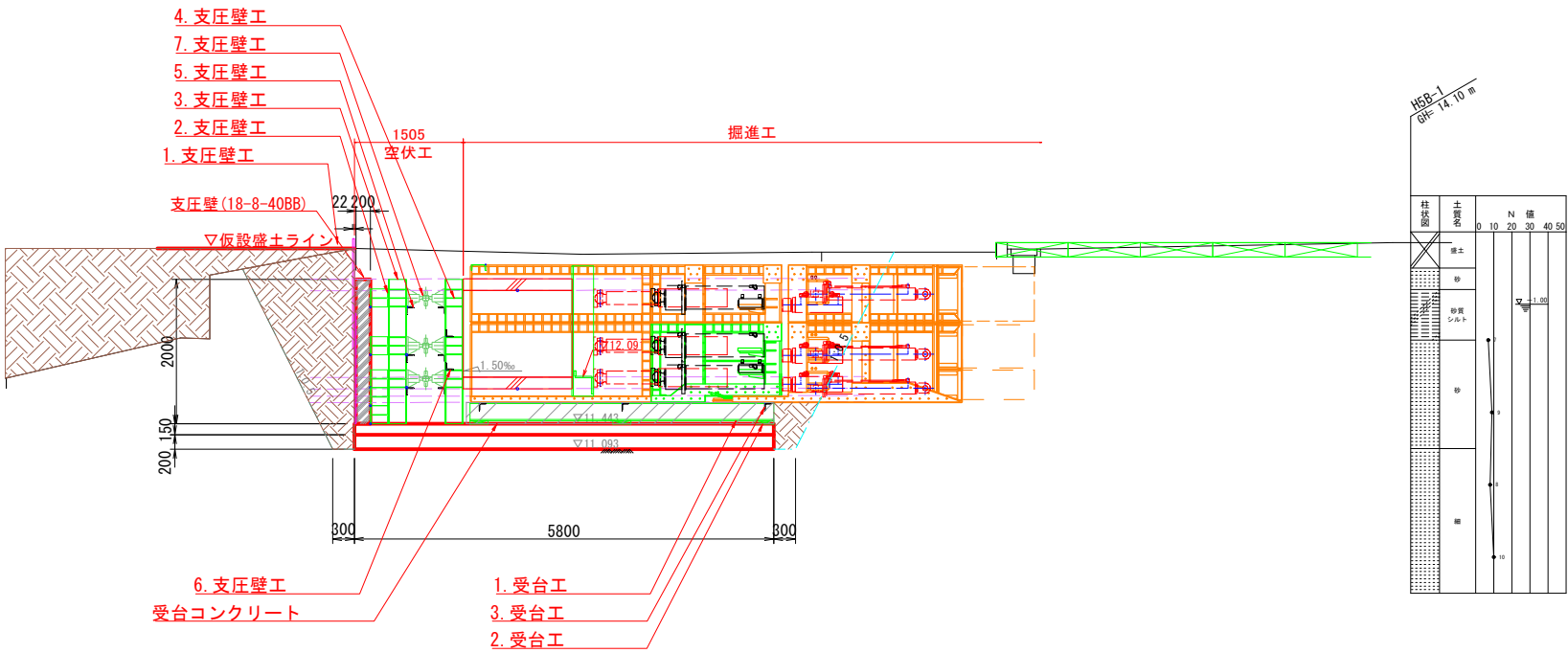
※支圧壁交差部は補強材 (スチフナー等) を設置すること。

材料表

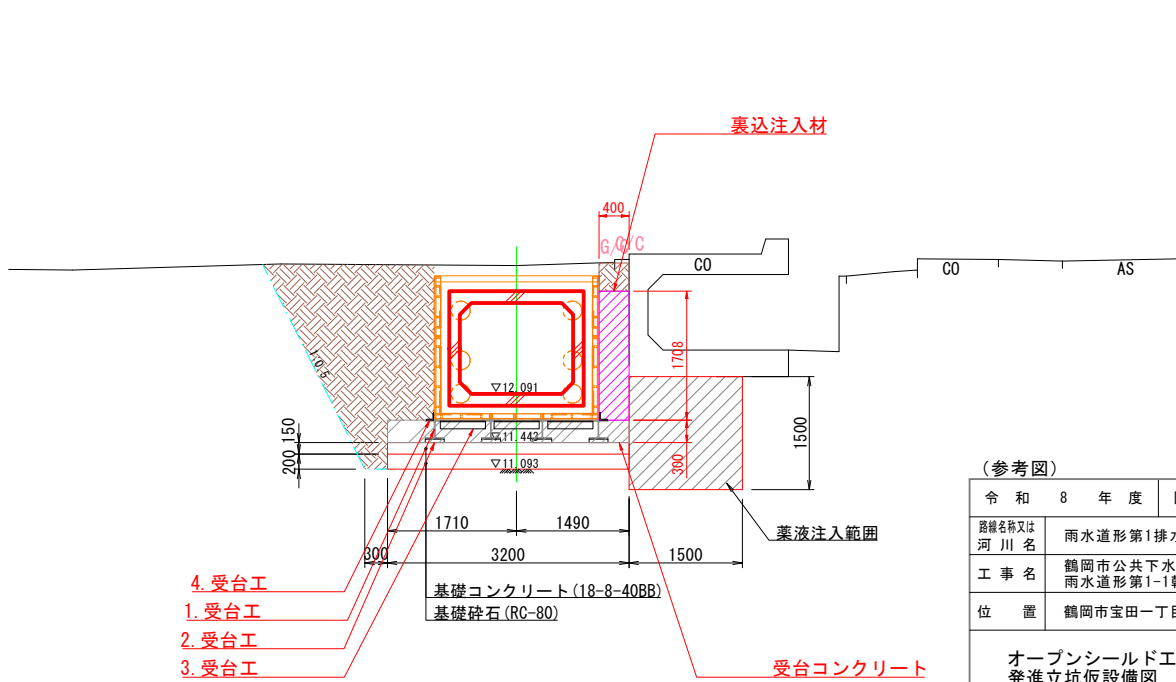
裏込注入材	発進立坑内支圧壁端部	1708 × 1500 × 400	m ³	1.02		
裏込注入型枠	発進立坑内支圧壁端部	1708 × 1000 × 2	m ²	3.42		
受台コンクリート	受台鋼間詰材	300 × 2450 × 3200	m ³	2.35		
支圧コンクリート	支圧壁	2000 × 200 × 3048	m ³	1.22		

※立坑内埋戻し工は別途とする。

A-A 側面図



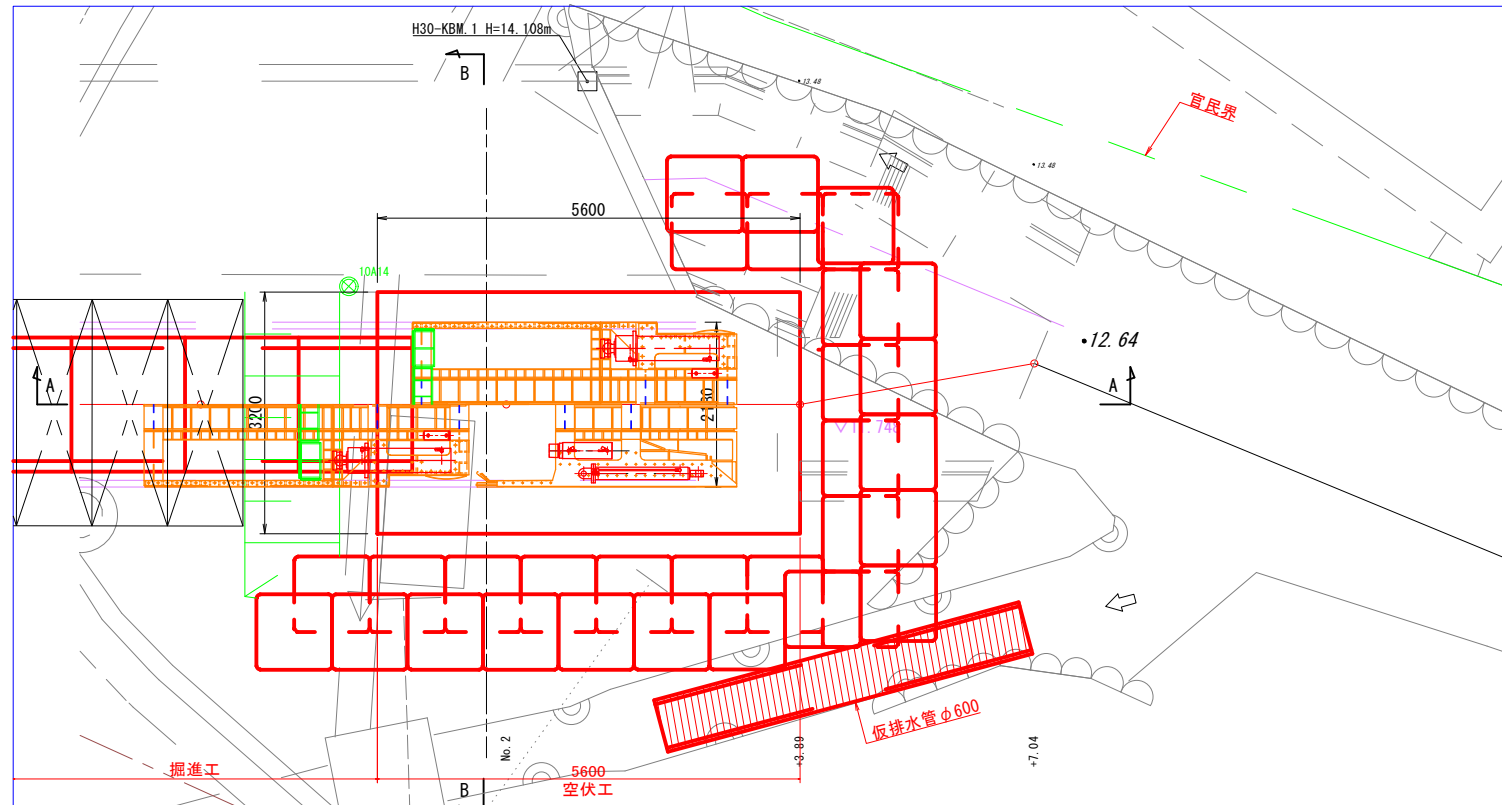
B-B 断面図



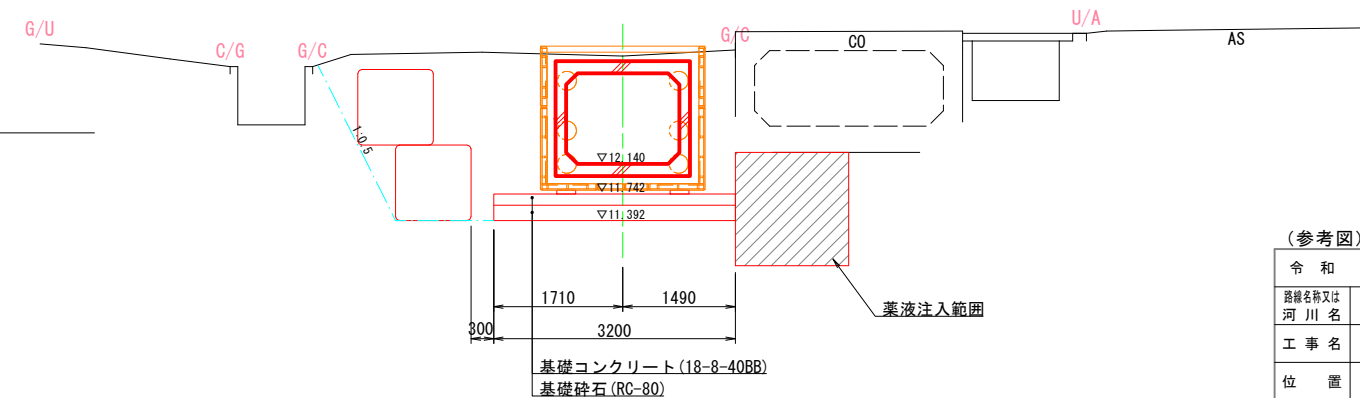
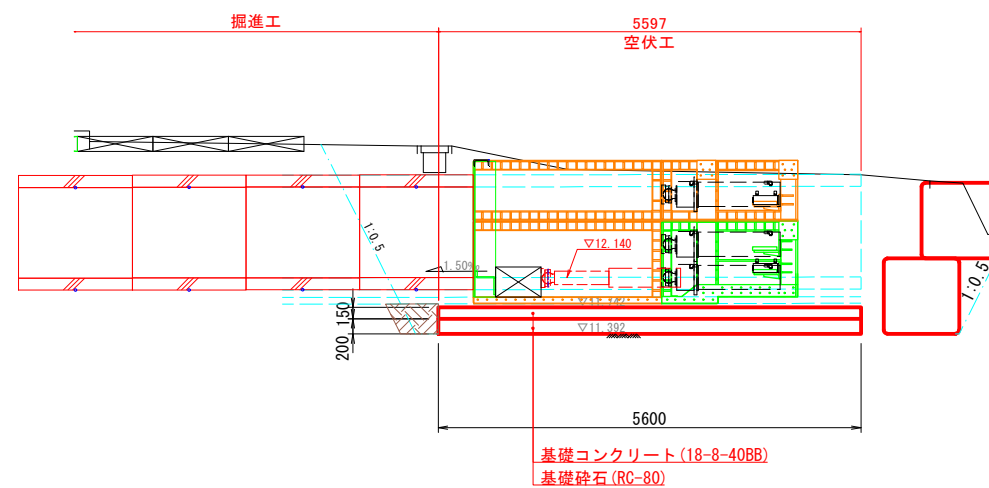
(参考図)			
令和 8 年度		図 番	8 葉 4
路線名称又は 河川名	雨水道形第1排水区		
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
オープンシールド工法(NOS) 発進立坑仮設備図			1 葉 1
縮 尺 S=1:50		鶴 岡 市	

□- (B) 1500 × (H) 1200 × (L) 1500
(NOS I 型：裏込注入タイプ)

平面图



B - B 断面图



令 和	8 年 度	図 番	8 葉 5
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区		
工 事 名	鶴岡市公共有下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事		
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内		

縮 尺 S=1:50	鶴 岡 市
------------	-------

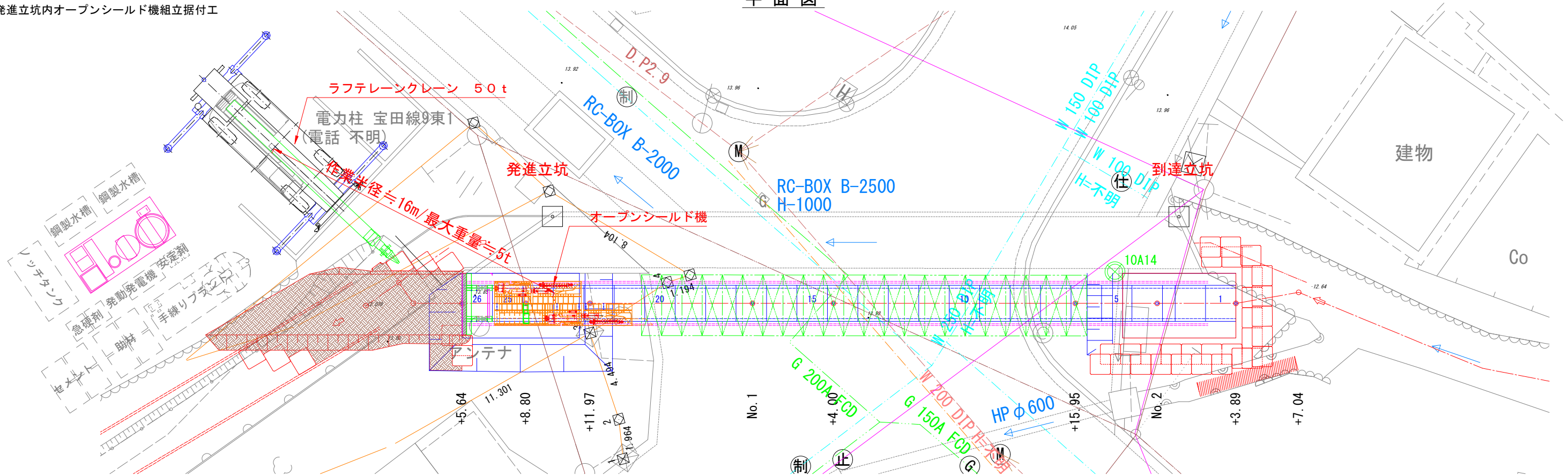
オープンシールド工法 (NOS) 施工状況図 (参考図)

□-1.5×1.2×1.5
(NOS I 型:裏込注入タイプ)

S=1:100

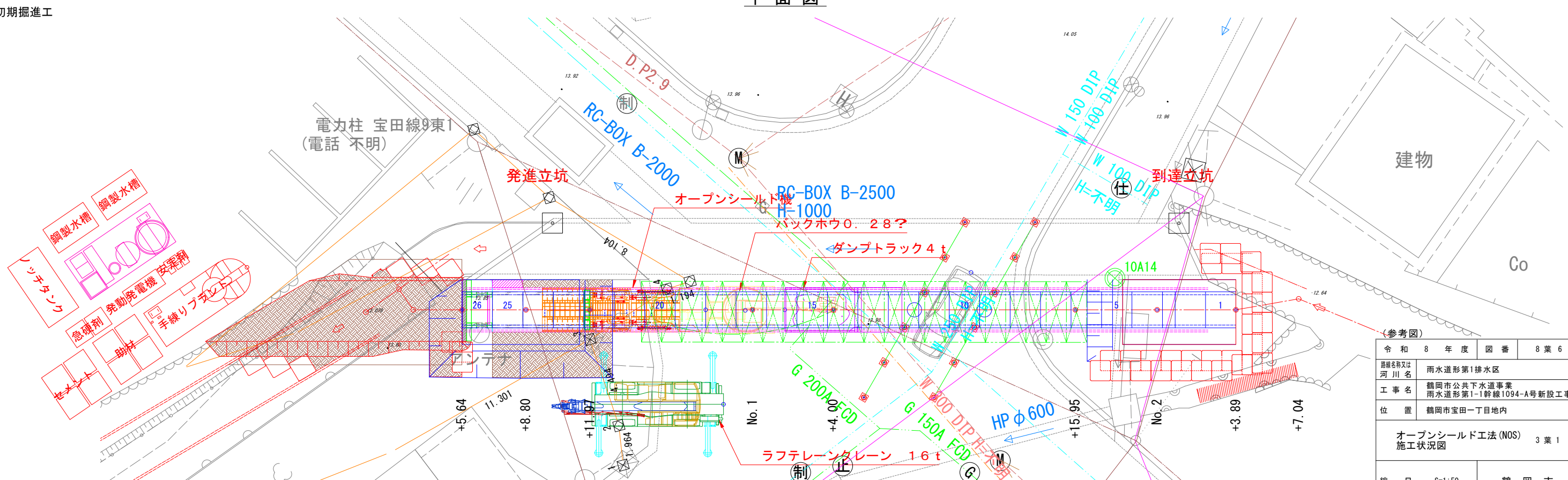
平面図

①発進立坑内オープンシールド機組立据付工



平面図

②初期掘進工



(参考図)

令和 8 年度 図番	8 葉 6
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
オープンシールド工法 (NOS) 施工状況図 3 葉 1	
縮尺	S=1:50 鶴岡市

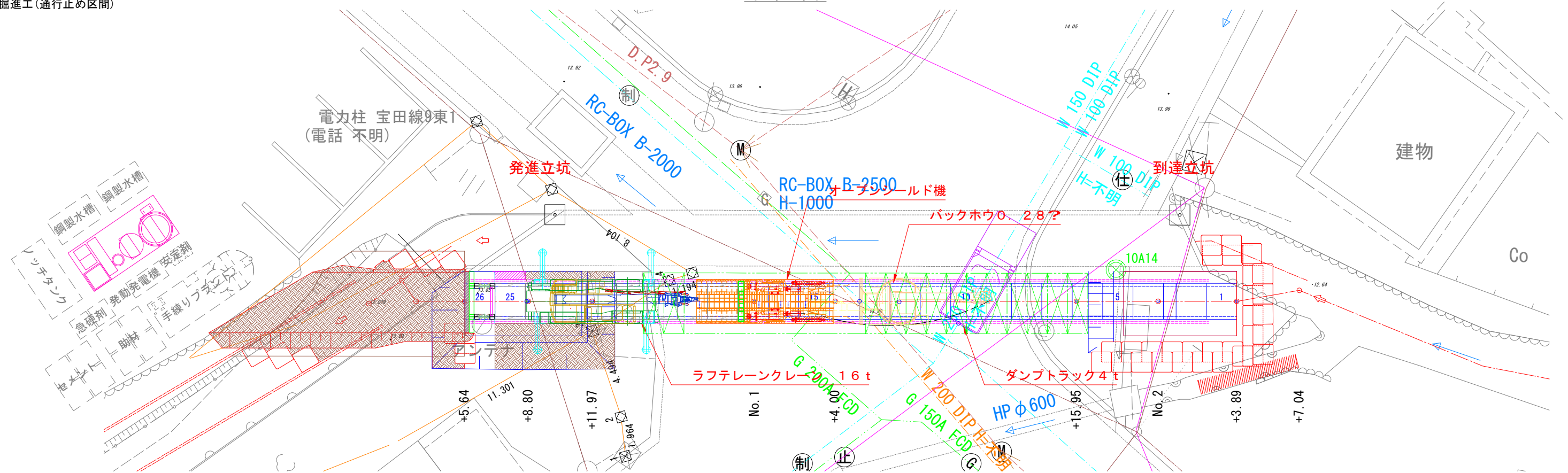
オープンシールド工法 (NOS) 施工状況図 (参考図)

□-1.5×1.2×1.5
(NOS I 型:裏込注入タイプ)

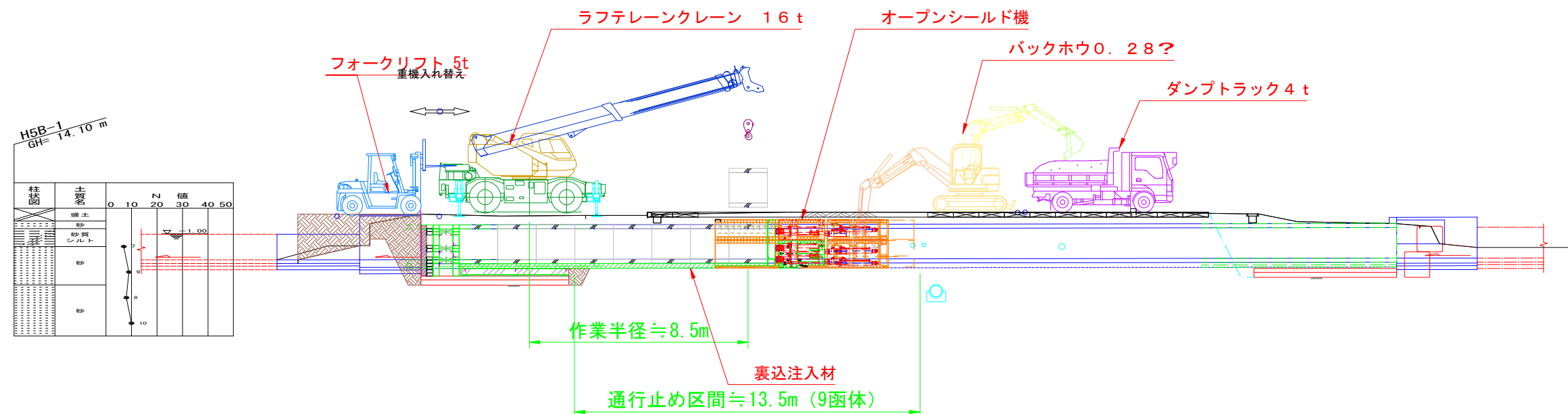
S=1:100

③掘進工 (通行止め区間)

平面図



側面図



(参考図)

令和 8 年度 図番	8 葉 7
路線名称又は河川名	雨水道形第1排水区
工事名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
オープンシールド工法 (NOS) 施工状況図 3 葉 2	
縮尺 S=1:100	鶴岡市

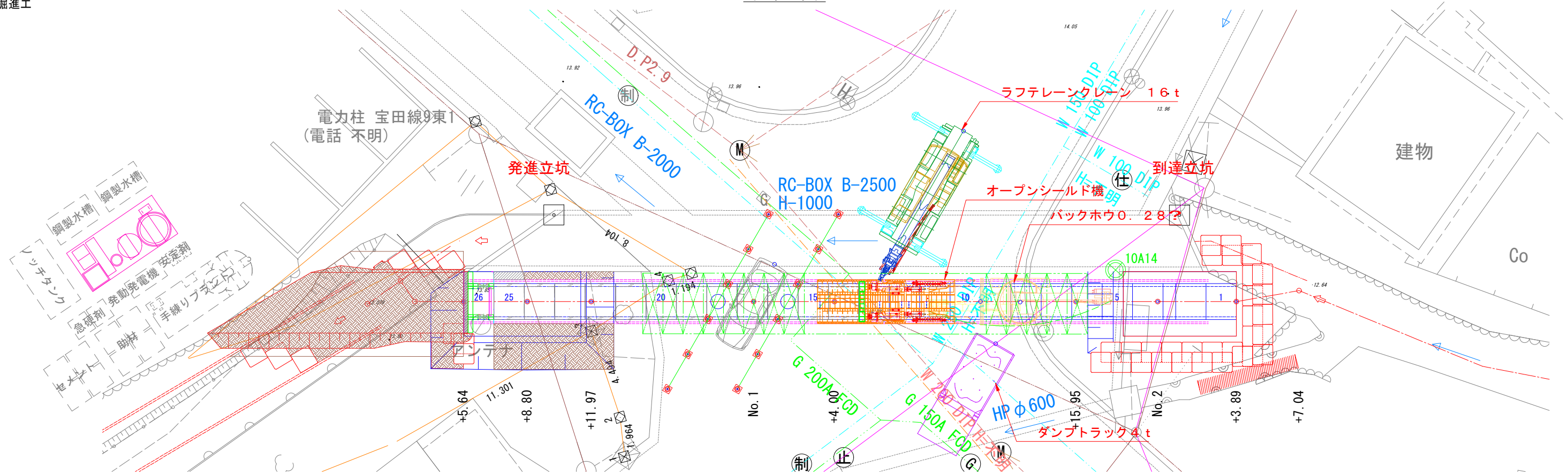
オープンシールド工法 (NOS) 施工状況図 (参考図)

□-1.5×1.2×1.5
(NOS I 型:裏込注入タイプ)

S=1:100

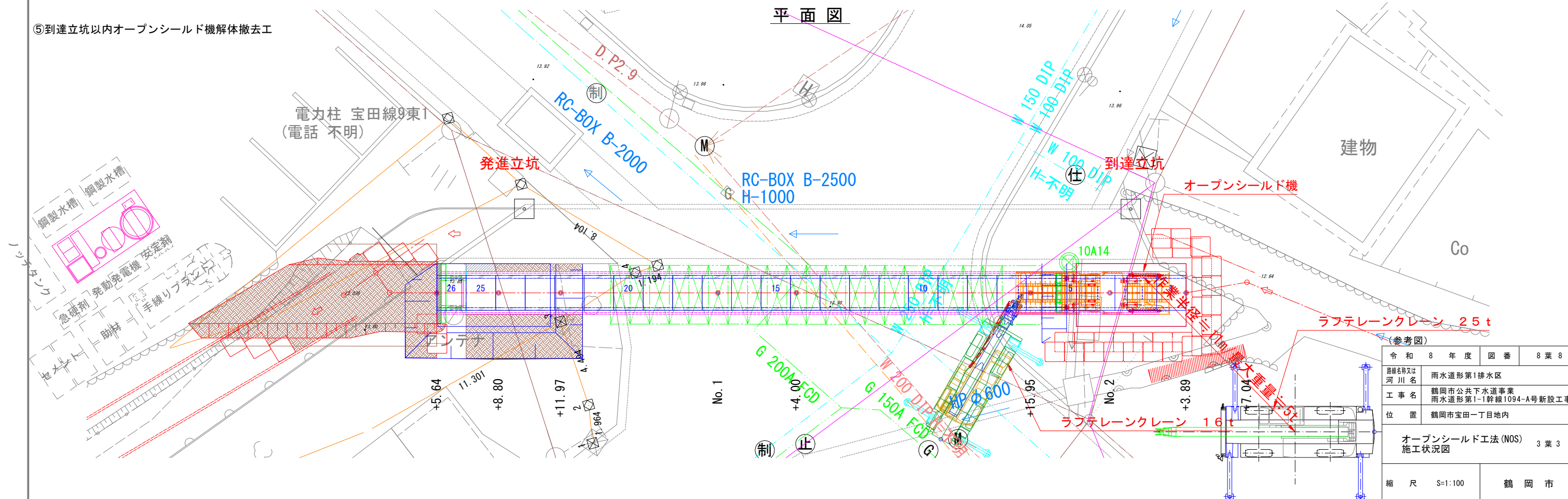
④掘進工

平面図



⑤到達立坑以内オープンシールド機解体撤去工

平面図



(参考図)			
令和 8 年度	図 番	8 葉 8	
路線名称又は 河 川 名	雨水道形第1排水区		
工 事 名	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1094-A号新設工事		
位 置	鶴岡市宝田一丁目地内		
オープンシールド工法 (NOS) 施工状況図		3 葉 3	
縮 尺	S=1:100	鶴 岡 市	